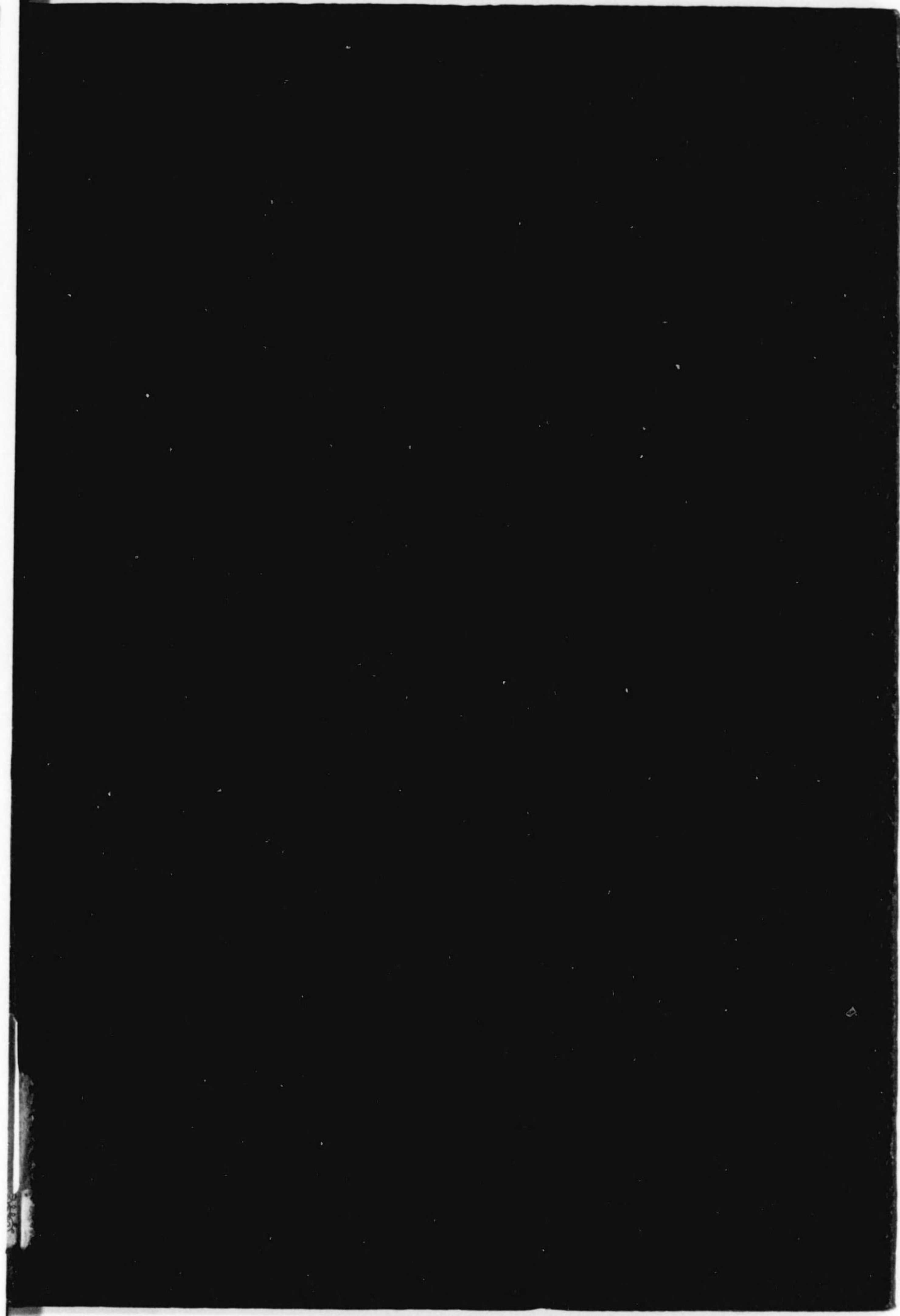




始





417  
510



待227  
736



アジヤ地理粹

東京府立第一中學校教諭

河田四郎

著





## 序 言

(1) 外國地理の學習に於て、特にアジアの部分に力を入れねばならぬのは、我が國が大東亞共榮圈の確立に滿全の努力を盡してゐる今日の情勢に鑑みて、誠に當然なことである。即ち吾等は先づ切實な關係をもつ近隣諸邦の地理的事情を明かに察知して置かなければならぬ。

(2) また一面に於て、各種學校の入學試験問題にアジアの地理が多く選ばれる。専檢の地理科問題を見ても、この傾向が強い。また高等學校の入試科目には東亞地理なるものが新に規定されたし、陸軍豫科士官學校に於ては外國地理の試験範圍をアジアだけに限定してゐる。

(3) 本書は簡略な地圖(約 60 個)を與へて、それによつて各項目に互る説明や考察の方法を示すことを眼目としてゐる。説明を一通り讀了したならば、練習問題によつて習得した事項の復習を行つて欲しい。

(4) 地理の學習は、地圖によるのが最も効果的である。答案にも略地圖を書き添へる方が、多くの場合有利となる。

(5) 教科書や地圖に掲げてある圖は、一般に精細ではあるが、一目して頭にピンと來ない場合が尠くない。本書の地圖は、その項目に必要な要素だけを選択して記載してあるから混雜を來さないであらう。

(6) 學習に當つて、本書の圖解を例として、必要に應じて各自各種の圖を作製して貰ひたい。書物をよく讀んで、適切にその内容が圖示出来るやうになれば、その個所の學習は完全に近いものになつてゐる筈である。

昭和十六年十月

著 者 識



# 目次

## 第一篇 アジャ洲通説

アジャの區分圖	頁1
アジャの地勢圖	2
アジャ大陸の南北断面圖	5
アジャの氣候圖	6
アジャの産業圖	8
アジャの交通圖	11
アジャの人種分布圖	13
アジャの宗教分布圖	14
アジャの政治圖	15
我が國とアジャ諸國	18

## 第二篇 東亞地理

滿洲國の地勢鳥瞰圖	23
滿洲國の氣候圖	24
滿洲國の農・林・畜・水産圖	27
滿洲國の鑛・工産圖	29
滿洲國の交通圖	32
滿洲國の住民圖	35
滿洲國の政治區劃圖	37
滿洲國の都邑圖	39
支那の地勢鳥瞰圖	42
支那の主要河川比較圖	44



支那の氣候圖	48
支那の農・畜・水産圖	49
支那の鑛産圖(附 工業都市)	52
支那の交通圖	54
支那の住民分布圖	57
支那の政治區劃圖	59
支那の都邑圖	61
蒙古地方と新疆省	64
西藏・青海省・西康省	68
印度支那	70
マレーの山系圖とジャヴァの火山分布圖	73
英領マレーとマレー諸島の産業圖(附 マレーのゴム分布圖)	74
マレー諸島に於ける邦人企業分布圖	78
英領マレーとマレー諸島の政治と都邑圖	79
シベリヤの地勢鳥瞰圖	83
シベリヤの四つの地帯	84
シベリヤの鑛・工業圖	87
シベリヤの交通圖	89
シベリヤの都邑圖	91

### 第三篇 東亞地理以外のアジア諸地域

中央アジアとコーカシヤ	94
印度の地勢鳥瞰圖	96
印度の氣候圖	97
印度の産業圖	100
印度の住民・政治圖	101
印度の都邑圖	103

西部アジアの地勢鳥瞰圖	104
西部アジア諸國	106
専檢の問題	110
後 記	112
(附録) 白地圖による練習	

—(目次了)—

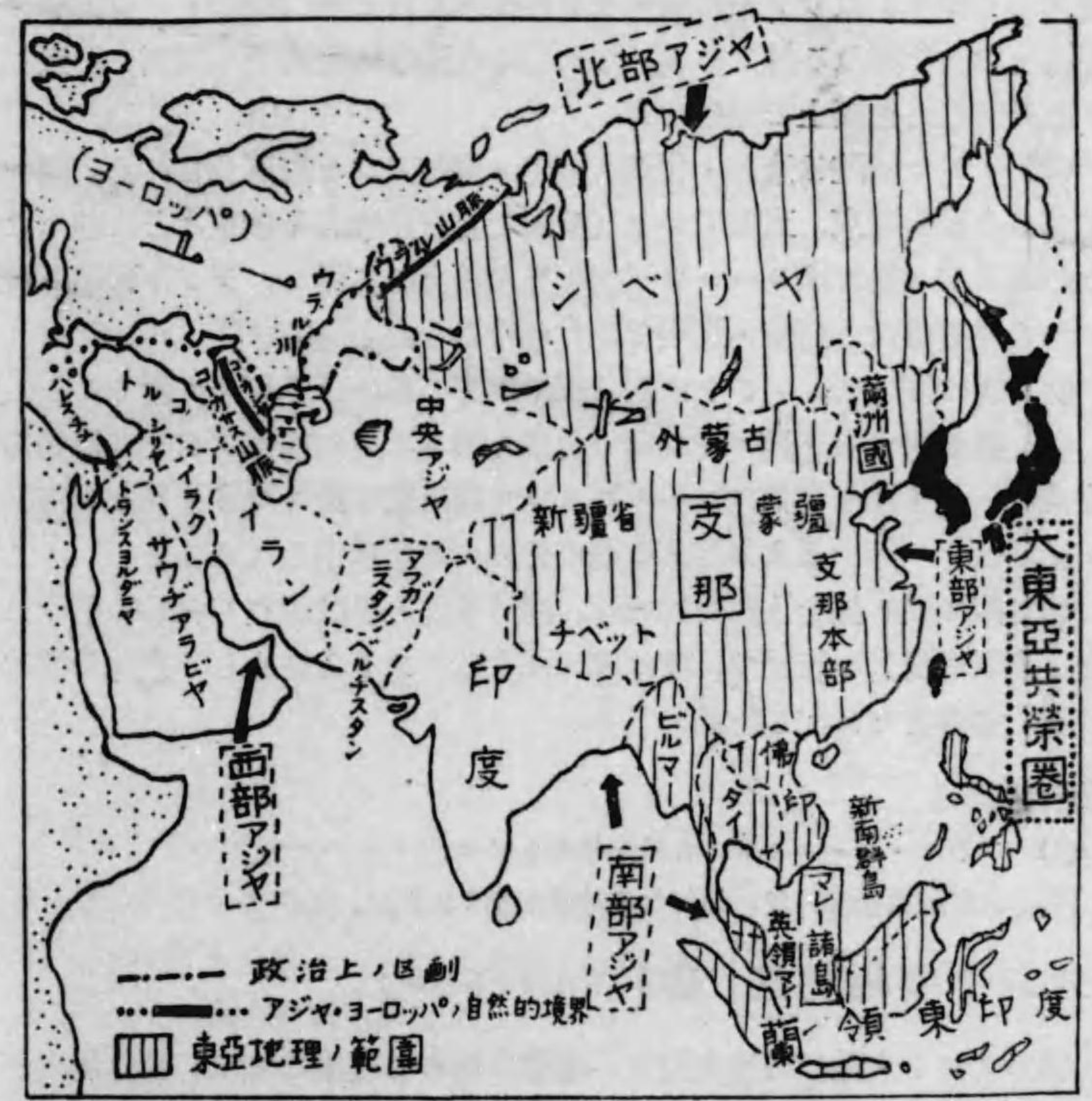






第一篇

アジヤ洲通説



アジヤの区分圖

(1) アジヤ大陸は世界最大の大陸で、その面積凡そ 4300 萬方呎で、



地球上の陸地の約三分の一に當る。アジアとヨーロッパ大陸は一続きの一大陸塊をなしてゐて、兩者を合せてユーラシア大陸と呼ぶことがある。ヨーロッパ大陸はこのユーラシア大陸の西方に突出する一半島に過ぎない。ヨーロッパとアジアの自然的境界（自然の地物…山脈・河川・海洋等による境界）はウラル山脈・ウラル川・カスピ海(裏海)・コーカサス山脈・黒海を連ねる線である。しかしこの境界は政治上の區劃と一致してゐないことを圖上で觀察せよ。

(2) アジア大陸は東部・北部・西部・南部アジアに區分される。西部アジア方面を近東、東部アジア(我國を含む)地方を極東などと呼ぶことがあるが、これはヨーロッパから見た場合の名稱で、アジアに居る我々から見る時は、西亞・東亞でなければならぬ。

(3) 圖に就いて、アジアにある國や地方の名をよく覚えて置くこと。

(4) 我が國は日・滿・支三國の提携を圖り、更に南部アジア(佛領印度支那・タイ國・英領マレー・ビルマ・蘭領東印度・フィリッピン等)の諸地域を一括する大東亞共榮圈の確立に鋭意邁進してゐる。

(5) 圖に縦の線を入れた區域は、高等學校入學試験科目として選ばれた「東亞地理」の範圍で、前に述べた東部アジアとは少しく意味を異にする。参考までに記した。

【練習問題】

- (1) アジア・ヨーロッパの自然的境界を示せ。
- (2) 大東亞共榮圈には、如何なる地域が含まれるか。

**アジアの地勢圖** 【註】 鳥瞰圖を参照せよ。

(1) アジア大陸は面積廣大で、地勢は極めて複雑である。世界最高の山岳(ヒマラヤ山脈のエヴェレスト山、8882米)も、世界最深の海底(フィリッピン諸島の東方、フィリッピン海溝中のエムデン海淵 10793米)も齊しくアジア洲にある。兩者の差は約 20 軒で、これが地球面の凹凸



の最大距離となる譯である。更にアジアには高大な高原(チベット高原のやうな)もあれば、盆地もあり、低平な大平原も横たはる。また大河もあるし、沙漠も廣く分布する。

(2) かくの如く複雑なアジア大陸の平均の高さ(アジア大陸を地均したと假定する場合の土地の高さ)は 1000 米を超え、各大陸中斷然高い。(次頁表参照)

(3) アジアの山系はパミル高原を核心として四方に派出する。よつて



パミル高原は**世界の屋根**などと呼ばれる。勿論こゝがアジャで最高の地帯ではなく、アジャの諸山脈が結合するからである。これ等の関係を圖上觀察して貰ふ。山系の中、最も高峻なのはいふ迄もなくヒマラヤ山脈で、その最高峯エヴレストは人類未登攀のものである。

(4) これ等の山脈の間には、チベット・イラン・蒙古の諸高原が横たはり、タリム盆地が抱かれてゐる。

(5) 平野もまた廣大で北にはシベリヤの大平原（イニシエ川を境としてその東西の地勢が稍異つてゐることに注意）を始め、滿洲平野・支那平野・ヒンドスタン平原（ガンジス川流域）・メソポタミヤ（イラク）平原及び中央アジャの大低地などがある。

(6) 河川には長大なものが多く、揚子江・オビ・イニシエ・レナの諸川は世界屈指の大河で、其他黒龍江・黄河・珠江・印度支那のメコン・メナム・イラワヂ・サルウイン、印度のガンジス・インダス、メソポタミヤのチグリス・ユーフラテスの諸河が流れる。内陸川にはタリム・イリ・アム・シルの諸川が著しい。淡水湖としては、世界最深で水の透明なバイカル湖（1523米）が擧げられ、鹽湖としては世界最大湖たるカスピ海（裏海）・アラル海・バルハン湖が著しい。

(7) 大陸の北には、一年中大部分氷に鎖されてゐる北極海（北氷洋）があり、東方には太平洋とオホーツク海・日本海・黄海・東支那海等の縁海（大陸の縁邊にあつて島嶼によつて不完全に圍まれる海）とを控へる。

なほ東部から東南部にかけては、島が多く、日本列島は三つの弧から成るものであり、マレー諸島も同じく弧状列島で、マレー半島との連絡其他を圖上でよく觀察せよ。

各大陸の平均高度

アジャ	1010米
ヨーロッパ	330
アフリカ	600
南アメリカ	650
北アメリカ	650
オーストラリア	310

大陸の南は印度洋で、こゝにはアラビヤ・印度・印度支那の三大半島が突出し、アラビヤ・印度の兩半島は高原状の土地で、古い地層から成り立つてゐる。西方には同じく高原性の小アジャ半島が突出して黒海と地中海とを分つてゐる。

(8) 大陸の東部一帯に火山活動が盛で、北のカムチャツカ半島には高い火山があり、これに續く日本列島、更にマレー諸島には幾多の火山が噴起する。中でも、ジャヴァ島には夥しい火山が列び、島の西端に近いクラカタウ島は明治十六年（1883年）の大破裂によつて閉れてゐる。またこの地域には地震が頻發する。

なほトルコからイラン・ヒマラヤ方面にかけて別の火山帯・地震帯がある。

## 【練習問題】

- (1) 世界の最高所と最深所はどこにあるか。
- (2) アジャの地勢の特相は何か。
- (3) アジャ洲に於て、火山作用の激しいのは何處か。
- (4) アジャ大陸の沙漠分布状態を見よ。
- (5) アジャの三大半島とは何を指すか。

## 【問題】

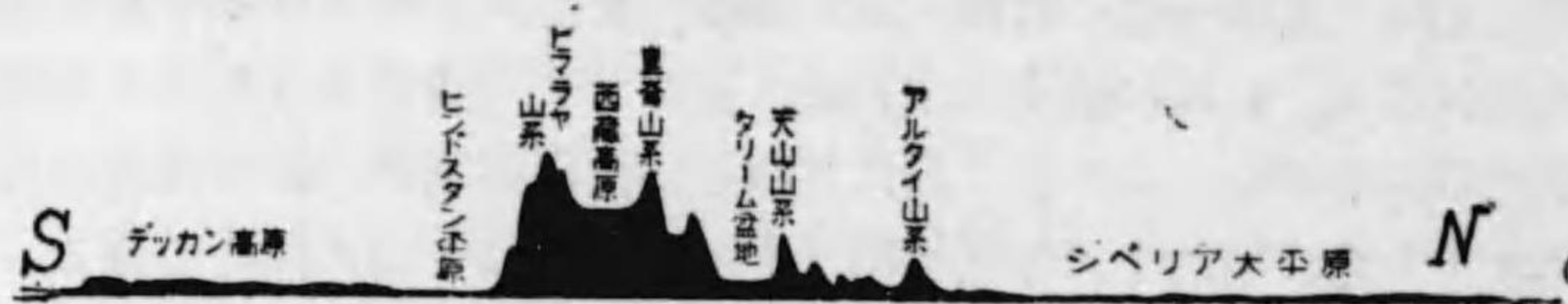
- (1) アジャの山系を記せ。（東高師・専檢）
- (2) アジャ・ヨーロッパ兩大陸の境界を記せ。（海兵）

## アジャ大陸の南北断面圖

次に断面圖によつて本大陸の地勢を觀よう。先づ北から——北部にはシベリヤの大平原が廣く横はる。中央部は山地で、アルタイ・天山兩山脈の間に天山北路、天山・崑崙の兩山地の間にタクラマカン沙漠やタリム川を含むタリム盆地、崑崙・ヒマラヤ兩山脈の間には甚だ高い西藏高原が横たはる。ヒマラヤは世界最大の山脈で、壯大な氷河を流し、エヴレスト處女峯は空際高く聳えて



ゐる。ヒマラヤの南麓には稍低い前山が連つて、ガンジス川が灌漑するヒンドスタンの大沃野となる。大陸の南部は、古い地層から成り一部には熔岩臺地をもつデツカン高原となつて印度洋に盡きてゐる。前掲の鳥瞰圖竝に地勢圖と比較して見よ。



アジアの氣候圖

(1) アジア大陸は地域廣大で、地勢また變化に富み、従つて氣候は多種多様である。この大陸には酷熱の地もあれば、酷寒の土地もあり、印度の一部のやうに世界最多雨の地域があるかと思へば、また寡雨で沙漠をなす所も廣いといふやうな状態である。

(2) 各自の地圖を見て、この圖に北極圈(北緯66.5°)と赤道とを記入して欲しい。北極圈は寒さの標準線となり、赤道は暑熱の尺度となる。赤道以南の地は南半球に屬する。アジアの一小部分は南半球にあつて、季節が北半球と相反する譯である。

(3) 次にアジア大陸には季節風がよく發達して、この地方の氣候上の大きな特色をつくつてゐる。冬季アジア大陸には高氣壓が發達して、それから周囲の海洋に向つて風が吹き出す。これが冬の季節風で、一般に乾燥してゐる。夏季には大陸の中に低氣壓が出来て、海洋から内陸に向つて濕つた風が吹き込む。これが夏の季節風である。季節風は渦巻狀に内陸に吹き込んだり、内陸から吹き出したりするから、場所によつて方向が變つてくる。圖に就て、日本附近と印度方面の季節風の方向を觀察せよ。そしてこの季節風の發達してゐる地域を季節風帯と稱し、こゝには産業が發達し、人口が稠密でアジア最要の部分となつてゐる。



(4) 次に圖を北から觀察して行かう。アジアの北にはシベリヤの大曠野が横たはり、南や東は山脈によつて遮られ、北は氷海に向つて開いてゐるため、極めて寒い。ヤナ川流域のヴェルホヤンスクの町の近傍は特に寒く、**世界の寒極**などと呼ばれ、毎年一月には $-50^{\circ}\text{C}$ 位に降り、最低氣温 $-65^{\circ}\text{C}$ を示した。海から遠く隔つた奥地は、氣候は大陸性に傾き、寒暑の差が大で、降水量は少くなり、多く草原を現はし、甚だしい所は沙漠となつてゐる。大陸の西南部は雨は少く、暑氣が強く、アフリカのサハラ沙漠からアラビヤ・イラン・印度・チベットに亘る地域は世界の最熱地で、最高氣温は $60^{\circ}\text{C}$ 以上に達する。東南部から東部に及ぶ地方は季節風帯で、緯度の高低によつて氣温の差異があるが、降水量は一般に大で、農産豊かである。印度・印度支那半島・マレー諸島には風向によ



つて雨季と乾季の區別が明瞭で、大體夏が雨季となる。例へばフィリッピンでは七月に雨が最も多いが、南半球のジャバ島では一月（南半球の夏）に雨が最も多い。印度の東部で、山脈を背負ふアッサム地方(丘陵地)は世界最多雨地で、年雨量 12000 耗に達してゐる。

大陸の西端の小アジャ半島の沿岸地方は地中海性の氣候を示し、概して温和で降雨は冬季に多い。

【練習問題】

- (1) アジャの氣候の特色は何か。
- (2) 北極圏・北回歸線・赤道は氣候上如何なる意味をもつか。アジャ洲に於ては、それ等は何處を通過するか調べよ。
- (3) アジャ洲に於て、南半球に屬する所は何處か。
- (4) 季節風とは何か。またアジャの季節風帯が産業發達に有利なのは何故か。
- (5) シベリヤ地方が酷寒である理由如何。

【問題】

- (1) アジャ各地の氣候の特色を記せ。(専檢)
- (2) サハラと印度とは略し緯度を等しくせるにも拘らず、前者は大沙漠となり、後者は多雨地となつてゐる理由を説明せよ。(新高)

アジャの産業圖

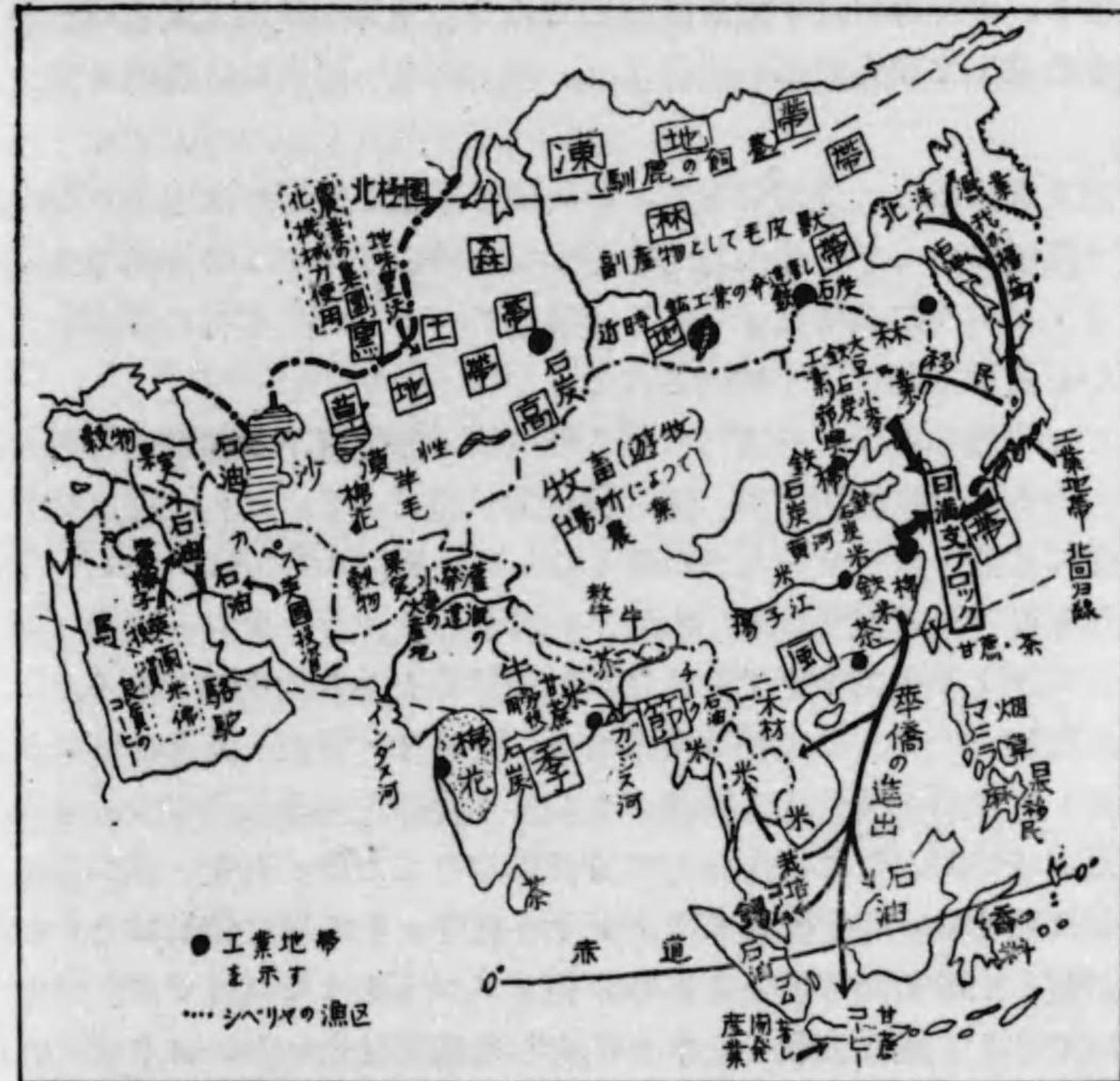
(1) 大陸の地勢と氣候が複雑多様であることは前述の通りである。従つてこれ等と關係の深い産業状態は各地變化に富んでゐる。

(2) 先づアジャで生産力の多い所は季節風帯であることによく注意する。こゝには農産が豊かで、印度・印度支那・支那・日本のやうな米産地があり、茶の産に富み、養蠶も盛である。

(3) 次に圖について北から産業の概観を述べて見よう。

最北部シベリヤの凍地帯(ツンドラ)には僅かに馴鹿トナカイの放牧が行はれるのみ、その南の森林帯には木材の外に毛皮獸が獲れ、又毛皮獸の飼養

を行つてゐる。その南の草地帯の一部には肥沃な黒土マイセキの堆積する所があつて最要の農耕地をなし、こゝには農業の集團化が行はれトラクターなどの機械力を使用する大規模な農業が營まれてゐる。又この方面には場所によつては牧畜が行はれる。シベリヤの南部の高地帯は鑛物資源極め



て豊富で、大炭田・鐵坑があつて、所々に大工業地帯が發達し、諸川の上流地方には砂金の産が多い。アジャの東北海面は世界三大漁場の一で、豊富な漁區を有し、またオツトセイ・海豹等の海獸も獲れる。我が國は北洋漁業の權益を保有してゐる。北樺太の石油と石炭の産にも注意しな



ければならぬ。

滿洲國には農・林・牧が盛で、鐵・石炭等の埋藏資源も少からず大工業の發達を促がしてゐる。北支那の農業は主に畑作で、こゝには鐵・石炭の産が多い。中支那及び南支那にかけては水田耕作が盛で、また茶の産もあり、中支那には工業も發達してゐる。支那の奥地（蒙古・新疆・チベットなど）では主に遊牧が行はれ、水が得易い場所には農耕も営まれる。

印度支那は米の大産地である。各河川の下流の沃野には水田が開け、アジャ諸國の中で米の輸出能力をもつてゐるのは、こゝの佛領印度支那・タイ・ビルマの三國だけである。其他チークなどの木材の産があり、佛印の石炭は本邦に多く輸出される。

マレー半島からマレー諸島に至る地域は、赤道直下の熱帶的特色を發揮してゐることに注意する。即ち栽培業が盛である。ゴムの産は世界第一、他に甘蔗・コーヒーなどの産も夥しい。鑛産としては、マレー半島の錫（世界一）と鐵（日本へ輸出）とが著しく、またマレー諸島（ボルネオ・スマトラ・ジャバ）は東亞に於ける石油の大産地である。

次に印度——こゝは棉花の大産地で、茶・米・甘蔗・黄麻の産にも富み、インダス川上流は人工灌漑によつて小麦の大産地となつた。また牛の頭数が多いが、これは主として勞役に用ひてゐる。石炭・鐵の産も相當の額に達する。眼を轉じて西アジャへ行く。この地の特質はその乾燥せる氣候と土地の高原性とにある。但しメソポタミヤ（イラク）は河邊の低地である。圖に記載したやうに大した農産はないが、イラクには棗椰子の産が多い。この地方の特産として世界の注目を惹いてゐるのは、イランとイラクの石油である。この油田は主に英國の資本によつて經營される。

最後にコーカシヤ地方を見る。こゝには農産もあるが、主要産物は石油である。カスピ海の對岸にある中央アジャはシベリヤの草地帯に續く

草原と沙漠の地域で、牧畜の外に、河邊や泉地オアシスに農耕が行はれる。

#### 【練習問題】

- (1) アジャに於て氣候と産業との關係を見よ。熱濕の地には何、乾燥地域には何が出るか、酷寒の地區には如何なる産業が發達してゐるかといふやうに。
- (2) アジャの季節風帯の主なる産物は何か。
- (3) アジャには古文明の興つた地が三つある。それは如何なる氣候、如何なる地勢の地域であるか調べて見よ。
- (4) アジャの石油産地を見よ。
- (5) アジャで工業の發達してゐるのは何處か。

#### 【問題】

- (1) アジャ洲の季節風地方をあげ、その主要農産をあげよ。（專檢）
- (2) アジャに於ける石油の産地につき記せ。（陸士）

#### アジャの交通圖

(1) 北のシベリヤから始める。一年中の大部分氷に閉ざされる北極海——海への出口に恵まれぬソ聯邦はこの氷海の航路開拓に躍氣となつてゐる。嚴寒のシベリヤにはオビ・イエニセイ・レナ等の大河が流れる。しかし水運の利は夏の二三ヶ月に限られるが、結氷する冬季にはその河面は橋道として利用される。シベリヤの南部にはチェリヤピンスクとウラジオストツク間にシベリヤ鐵道があつて、世界交通路の幹線となつてゐる。バイカル湖の西から起つて、シベリヤ鐵道の北側を通つて樺太島の對岸に出るバム（バイカル——アムールの意）鐵道の建設が進捗してゐる。ヨーロッパ方面からの航空路もよく發達してゐる。中央アジャにも長い鐵道がある。

(2) 東部から南部に互る海面には海運の發達が著しい。マレー半島の尖端のシンガポールが交通上の要衝であることに注意して見る。

(3) アジャに於て、鐵道の發達してゐる地域に注意する。日本・滿洲





國・支那本部・印度・マレー半島とジャバア島，西アジアの一部等がこれに該当する。なほ鐵道網の圖と較べて觀よ。

(4) アジアの奥地には山地・高原・沙漠が連なり，交通は甚だ不便で，今なほ馱獸の力を藉りねばならぬ。しかし場所によつては自動車交通が行はれてゐる所もある。

(5) 西アジアは地勢・氣候の關係上交通は發達しないが，沙漠地を横切る隊商路の發達の外に近時長距離に互る自動車路が建設されてゐる。鐵道としてはトルコからバグダードを経てペルシヤ灣岸のバスラに出る



バグダード鐵道が完成し，その途中から分れてアラビヤ半島に延びるヘヂヤス鐵道に注目せよ。

(6) 航空交通は前述のシベリヤに於ける航空路の外に，東亞では日本・滿洲・支那方面に發達し，米國の太平洋横斷航空路はマニラ・香港・シンガポールに延び，我が南洋への航空路と交叉する。

(7) 河運の利豊かなものには，揚子江・ガンジス・インダスの諸川があり，チグリス・ユウフラテス河にも相當の水運が認められる。

【練習問題】

- (1) アジヤに於ける長大な鐵道をあげよ。
- (2) アジヤに於て，鐵道の發達してゐる部分を指摘せよ。
- (3) アジヤで交通不備の地域を調べ，その地勢や氣候との關係を見よ。
- (4) アジヤの河川で水運の利大なるものを示せ。
- (5) アジヤ大陸に進出する我が定期航空路を示せ。

アジヤの人種分布圖

(1) アジヤの人口は約11億，世界總人口は21億であるからその過半はアジヤに住む譯である。しかし土地が廣いために，東部・南部の外は概して疏である。日本・支那本部（特に揚子江及び沿海の地域）・印度（ガンジス川流域）・ジャバア等は地球上最も人口稠密な地域である。



人口密度比較	
	1方軒につき
アジヤ	27人
ヨーロッパ	46
アフリカ	5
北アメリカ	7
南アメリカ	5
太平洋洲	1

系の民族が居る。印度の一部からマレー半島及びマレー諸島にはマレー人種が多い。他の地域はアジヤ人種の居住地である。

(4) 日本に1億、支那に4億、印度に3億の人口が集中してゐて、合せて8億に達する。何れも地球上に於ける大なる人類の集團である。

【問題】

アジヤ洲の人口分布の状況を地文上の理由によつて説明せよ。(東高)

アジヤの宗教分布圖

(1) 世界の四大宗教、即ち佛教・キリスト教・マホメツト教・ヒンヅー教は何れもアジヤに起つてゐる。佛教とヒンヅー教は印度に、キリス

(2) 本洲はアジヤ人種を主とするが、西南部にはヨーロッパ系の民族が多く、東南部にはマレー人種(海岸島嶼種族)の住む處もある。

(3) 圖について見ると、北のシベリヤにヨーロッパ人種(ユーラフリカ人種)の住む帯状の地域がある。これはロシア人である。アラビヤからトルコ・イラン地方を経て、印度の要部にはヨーロッパ



ト教とマホメツト教はアラビヤに發祥したものである。

(2) アジヤには佛教徒が多いが、本源地の印度では殆ど信奉されず、支那に於ても佛教は振はぬ。チベット・蒙古地方に信者の多い喇嘛教は佛教の一派である。印度教(ヒンヅー教)は専ら印度に行はれ、マホメツト教はアジヤの西南部一帯と、マレー諸島とに布教されてゐる。キリスト教はシ

ベリヤのロシア人の間に、又フィリツピンの主な宗教となつてゐる。

アジヤの政治圖

(1) 先づ東亞から——日本は東亞の盟主として滿・支と提携して東亞協同體を結成し、更に南方諸地域にも政治上・經濟上の團結を求めて、こゝに東亞共榮圈を確立すべく、萬難を排して努力してゐる。滿洲國は獨立以來順調に生育し、日滿に好意を寄せる諸國によつて承認せられ、新興支那の國民政府の基礎は漸次鞏固となり、支那本部の重要な部分及び内蒙古の蒙疆地域は擧げて、我が國と協力してゐる。支那の他の部分にソ聯或は英國の勢力が伸びてゐる有様を圖について觀察する。

(2) 北方のシベリヤと中央アジヤ及び西部のコーカシヤはソ聯領である。シベリヤは近時ソ聯の植民地的傾向を脱脚しつつあることは、その行政方面にも見られる。

(3) 南部の印度支那半島には、佛領と英領との間に介在して緩衝國と





して存続して来たタイ國がある。タイは近時失地恢復に乗り出し、佛印と兵を交ふるに至つたので、我が帝國は兩者の調停を圖り、英・米の策動を斥けて、圓滿なる解決を見たことは、我が國威發揚の一つの表示である。かくてタイ國は近年失つた領土を恢復した。マレー諸島には廣大な蘭領東印度（行政上蘭領バプアをも含む）があり、米領・英領・葡領がある。

(4) ビルマの國民も漸次目醒めて来たが、英領印度ではかねてより、獨立運動が旺んであるが、種々社會的の弊害によつて國民の團結がはかばかしくない。バルチスタンは英領、その北隣のアフガニスタンは英・

蘇間の緩衝國で國力は振はない。

(5) 西アジャはどうか——西亞の諸民族も目醒め近時國權恢復運動や反英運動が盛である。イランには英邁なパーラヴィ國王が獨裁してゐたが、この國も從來英・蘇間の緩衝國で、兩國は種々の利權を保留し、最近英蘇兩軍は遂に侵入した。イラクはバビロニアの故地で、もと英國の委任統治の下にあつた所で、その勢力は仲々に抜き難い。シリアは佛の勢力下、其他のアラビヤ諸國は英勢力下にある。パレスチナに於ける土着のアラビヤ人對新來のユダヤ人間の鬭争は永い間續いて来た。サウジアラビヤはイブン・サウド王の治下にあつて反英的色彩が濃い。トルコは第一次世界大戰の敗殘國であるが、元の大統領ケマル・アタチュルクの國力復興に費した努力は大きい。

- |      |  |
|------|--|
| 獨立國  | (1) 君主國……日本・滿洲國・タイ・イラン   |
|      | (2) 共和國……中華民國・トルコ  |
|      | (3) 其他の獨立或は半獨立國……サウジアラビヤ王國・イラク王國・ケラク王國・アフガニスタン王國・ネパール王國・ブータン酋長國                                      |
| 外國領土 | (1) イギリス { 印度・セイロン・バルチスタン・海峽植民地・北ボルネオ・香港・九龍・九龍半島(租借)・オマーン(保護)・マレー聯邦(保護)・パレスチナ(委任)・ケラク(トランスヨルダニヤ, 委任) |
|      | (2) フランス { 佛領印度支那・インドの一部・廣州灣(租借)・シリア(委任)   |
|      | (3) ポルトガル……印度の一部・マカオ・チモルの東半  |
|      | (4) オランダ……蘭領東印度  |
|      | (5) 米 國……フィリッピン(近く完全に獨立する管)  |
|      | (6) ソ 聯……シベリヤ・中央アジャ・コーカシヤ  |

【練習問題】



- (1) 緩衝國とは何か。アジャに於けるその例をあげよ。
- (2) アジャに於ける我が國の立場を明示せよ。

【問題】

- (1) アジャに存在せる歐米諸國の勢力を略圖によつて示し、その必要なものは別に簡単な説明を附せよ。(七高)
- (2) アジャに於ける獨立國とその政體を問ふ。(東高師・音楽)

我が國とアジャ諸國



(1) 我が國はアジャの盟主である。先づ日滿支三國の固き團結を圖り、次で東亞諸國をも糾合して茲に大東亞共榮圈の建設を目指してゐる。

(2) 最初に帝國とアジャ諸邦との貿易關係を、圖について觀察しよう。貿易關係は年によつて、相當の變動があることは避けられない。こゝには大略従來の傾向を指示して見度い。

我がアジャ諸國に對する輸出は23億圓、輸入は12億圓で、その比は2:1となる。貿易額の筆頭は滿洲國(關東州を含む)、次に支那・印度・蘭印

相手國	輸出	輸入
滿洲國	53.6千萬圓	40.6千萬圓
關東州	75.6	6.2
(計)	(12.92)	(46.8)
支那	45.6	21.6
印度	21.1	18.2
海峽植民地	2.0	4.7
蘭印	13.8	7.2
佛印	0.2	2.7
フィリッピン	2.5	4.9
タイ	2.6	0.6
イラク	2.4	0.4
其他諸國	7.2	10.5
アジャ總計	232.0	118.1

の順である。貿易の盛なのは主として大東亞共榮圈内の諸國との間であることが判るであらう。これ以外の國としては印度のみである。シベリヤとの取引は目下の處問題にならぬ程度である。イラクとの取引は稍、見るべきものがある。輸出入の關係は、大部分相當の出超を示してゐるが、フィリッピン・海峽植民地・佛印からの輸入は輸出額を凌いでゐる。

我が國より、これ等諸邦への輸出品は、相手國によつて多少變つてゐるが、大體綿織物・人絹織物・機械類其他

の加工品が主である。

(3) 次に我が國にとつて、これ等諸地域のどういふ品物が重要であるかを、圖示した處について觀る。大東亞共榮圈内の諸國が主體であるこ



とは勿論である。

北の海では魚類、滿洲國では大豆其他の農産物、石炭・鐵のやうな礦産物、他にパルプと羊毛但し滿洲の羊は品種改良から始めねばならぬ。

支那では北支・中支の石炭と鐵、棉と鹽が重要で中南支には錫やアンチモニーが多く出る。

佛印では石炭が重要で、佛印・タイ・ビルマが米の大産地であることにも注意しなければならぬ。英領マレーには錫・ゴムの二大産物の外に鐵礦が價值をもつてゐる。

蘭領印度では石油の外にゴム・錫其他があり、フィリッピンでは鐵礦・マニラ麻・木材等が擧げられる。

東亞諸國以外では、印度の棉花が極めて重要である。

(4) なほ茲に我が國と關係の深い諸國の貿易状況を見ることにする。

(イ) 滿洲國の貿易はもと出超を常態としてゐたが、近時入超に傾いてゐる。これは我が國よりの新資本投下が盛なため、開發資材の輸入が多いことに由るもので、各種生産事業が發展すれば貿易は従來以上の出超を見る筈である。

滿洲國の貿易額に於て、日滿の取引は壓倒的な數字を示し、日本に次いで、支那・米國・獨逸・英領印度の順に取引額が多い。日滿貿易は、我が國から見て入超であるが、これに關東州との貿易を加へれば、我が國が夥しき出超となる。

**主な輸出品**……大豆・豆粕・石炭・石油・粟・落花生。

(以上の中、大豆は總輸出額の三分の一を占める。)

**主な輸入品**……綿織物・鐵及び鋼・機械類・砂糖・小麦粉・羊毛及び羊毛製品・人絹織物。

**日滿貿易** (關東州を含む)

**滿洲國より輸出**……豆類・豆粕・豆油・石炭・鐵・硫安等。

**我が國より輸入**……機械類・綿織物・人絹織物・鐵製品・紙類。

(ロ) 支那は従來から著しい入超國で、華僑からの送金が入超額の大部分を決済してゐた。

取引相手國は日本を第一とし、米・英・獨の諸國がこれに次いでゐる。日支間の貿易は、輸出入共に斷然優位を占め、支那から見て入超である。

**主な輸出品**……棉花・綿製品・鶏卵・生絲・桐油・錫・茶・豚毛。

**主な輸入品**……鐵・鋼・機械類・化學工業品・米・小麦粉・紙類・石油・車輛類。

(支那に於ける開發が發展すれば鐵・石炭の輸出は巨額に上るであらう)

**日支貿易**

**輸出品**……棉花・石炭・採油原料・鐵・皮類・油粕等。

**輸入品**……機械類・小麦粉・鐵・綿織物・精糖・紙類・人造絹物・毛織物。

(ハ) 蘭領東印度は常に入超を示し、オランダ本國・米國・日本・英國との關係が深い。我が國より見て著しき輸出超過である。

**主な輸出品**……生ゴム・石油・植物性油脂原料・砂糖・錫・藥・煙草。

**主な輸入品**……綿布・食料品・金屬・機械類・化學製品・車輛・船舶。

**日蘭貿易**

**輸出品**……石油・生ゴム・砂糖・採油原料・鐵・木材。

**輸入品**……綿布・綿絲・人絹織物・鐵製品・メリヤス類・硝子・陶磁器・機械類。

(ニ) 英領印度の貿易に年々巨額の出超を示してゐる。英本國との間も最も盛で、輸出入共に三分の一内外を占めてゐる。日本は第二位で、ビルマ・米國・ドイツが之に次いでゐる。近年は我が國が若干の出超となつてゐる。



主な輸出品……黄麻布及袋・棉花・紅茶・採油用種子・黄麻・皮革・綿絲布・米・皮革。

主な輸入品……機械類・礦油・綿絲布・米・棉花・鐵及鋼・車輛其他の金屬。

#### 日印貿易

輸出品……棉花・鉄鐵・麻類・皮革・豆類・鑛石・鉛等。

輸入品……綿織物・人絹織物・人造絹絲・綿絲・絹織物・毛織物・生絲・ガラス類・機械類等。

【註】 以上は最近に於ける我が國とアジヤ諸邦との經濟的の關係であるが、近時資金凍結其他の關係から、我が國は佛印・タイ以外の第三國との貿易力を滿洲國・支那へ向けざるを得なくなつた。かくて日・滿・支三國間の貿易關係は一層の重要性を加へるに到つた。

#### 【練習問題】

- (1) わが國とアジヤ諸國との間の貿易は、多く我から見て出超か入超か。
- (2) アジヤ諸邦で、我が國との貿易の盛なものゝ順次示して見よ。
- (3) 我が國から見て、アジヤの重要な資源は何か。
- (4) 大東亞共榮圈の確立によつて、如何なる物資の自給自足が可能になるか考へて見よ。

## 第二篇 東亞地理

### 滿洲國の地勢鳥瞰圖

(1) 滿洲國は、その面積我が國の二倍に等しい。地勢上東部山地、北部山地、西部山地と、これ等の山地に挟まれる滿洲平野とに分れる。

(2) 東部山地は、長白・本幹等の山脈から成り、これ等の山地の侵蝕は著しく進んでゐる。長白山脈中の白頭山(2744米)は、滿鮮國境に聳える火山で、本地域の最高峯をなし、山頂にはカルデラ湖天池(龍王潭)が湛へる。

本幹山脈の餘勢は遼東半島に及び多くの丘陵をつくつてゐる。東部の滿・蘇國境には興凱湖がある。



(3) 北部山地は低い小興安嶺から成る。滿洲國は火山作用に乏しいが、



北部山地の一角、北安の北方には低い火山と五大連池と呼ばれる堰塞湖<sup>エンソク</sup>とがある。地震は殆ど起らないといつてもよい程であるが、近年哈爾濱の北方に相當な強震が起つたことがある。

(4) 西部山地は、北方の高原性の大興安嶺と南方の侵蝕の進んだ稍峻しい山貌を見せる熱河山地とに分つことが出来る。大興安嶺の東側は急斜して山脈状をなすが、西側は緩斜して蒙古高原に續いてゐる。大興安嶺の分水界以西の地域は、呼倫貝爾高原<sup>コロンバイル</sup>と呼ばれる。こゝには呼倫湖・貝爾湖が湛へてゐる。

(5) 東・西・北の三方を山地に圍まれ、南方には丘陵性(準平原の地形を呈する)の遼東半島が突出して、黄海と遼東灣とを分け、この間に横たはるのが滿洲平野である。平野の略、中央、新京附近を東西に走る低い分水界によつて、北滿洲・南滿洲の兩部分に分けられる。北滿には松花江がその支流嫩江・牡丹江等を合せて流れ、南滿は遼河の流域に屬する。

【練習問題】

- (1) 滿洲國の山地は高峻であるか。
- (2) 滿洲國の主な河川を略圖に記入し、南滿・北滿の境を記入して見よ。
- (3) 遼東半島は如何なる地貌を呈するか。
- (4) 滿洲國の湖沼をあげて見よ。

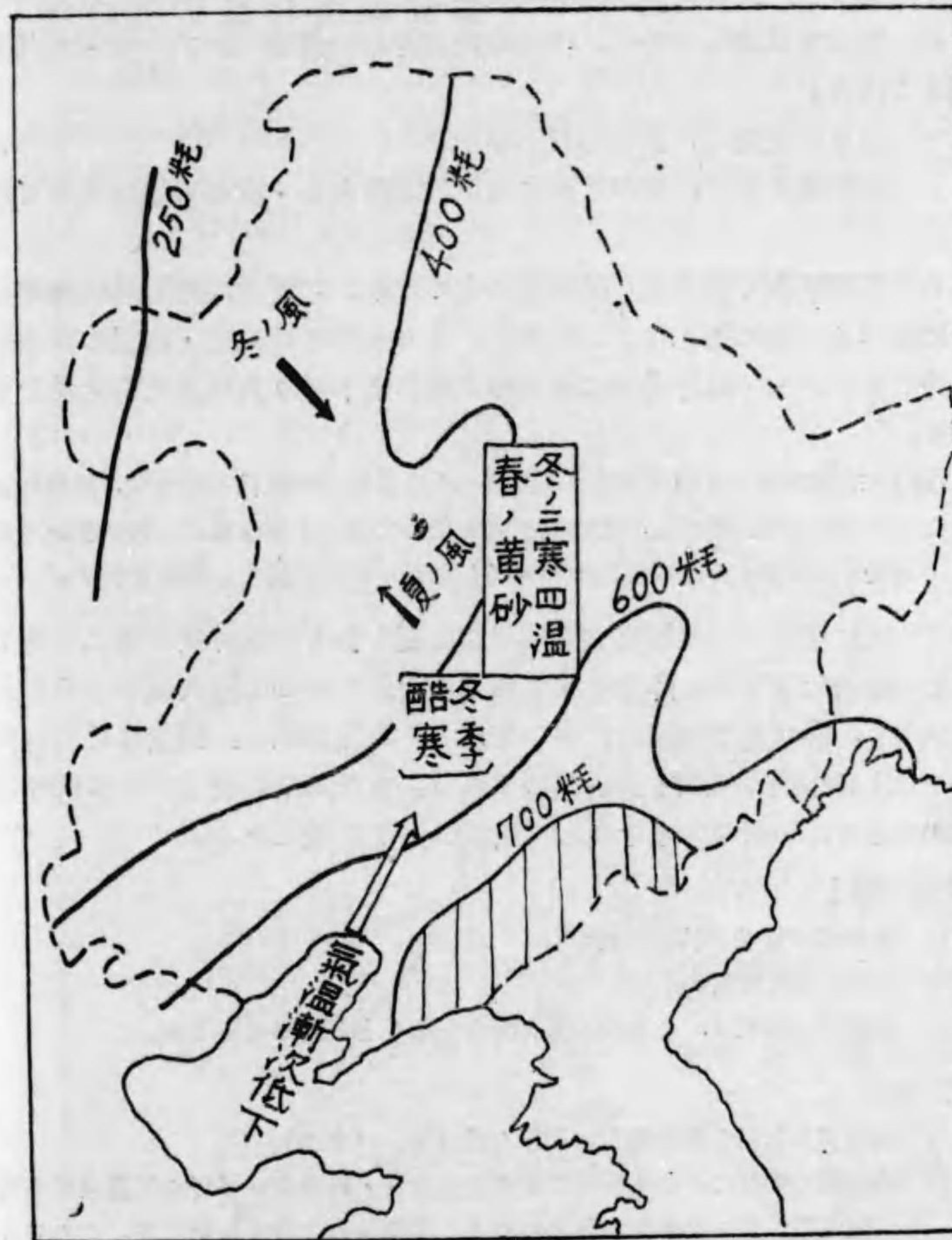
【問題】

略圖を描いて滿洲國の地勢を説明せよ。(東高師)

滿洲國の氣候圖

(1) アジャの季節風帯に當つてゐるが、大陸の一部をなし、三方山地に圍まれ海に臨む所は南方の小部分に過ぎないため、氣候は大陸性に傾いてゐる。

(2) 氣候の特色として次の事項が擧げられる。





- イ. 夏と冬、晝と夜の気温の較差が大。
- ロ. 降水量は概して少く、内地の約三分の一程度で、六・七・八月が雨季である。
- ハ. 空気は乾燥し、快晴の日が多い。
- ニ. 冬が殊に長く、夏がこれに次ぎ、溫和な春・秋の季節は極めて短い。
- ホ. 冬は酷寒であるが、積雪量は大ではない。夏は、蒸し暑い内地の夏に較べると樂に凌ぐことが出来る。また冬季には三寒・四温の現象が顯著であり、三・四月の頃には黄砂が舞ひ文字通り黄塵萬丈の光景を呈する。

【註】 三寒四温とは滿洲方面から朝鮮へかけて冬季の氣候の特色で、氣壓配置が三四日毎に變化し、北西風が吹き荒んで著しく寒冷な日と風が和いで温暖となる日とが三四日乃至一週間を周期として交替する現象を指す。

(3) 次に圖について觀察する。気温は夏も冬も大體緯度に應じて南から北へ漸次低下する。降水量は東南から西北へ向つて漸次減少する。気温が高く、降水量の比較的が多い南滿と、気温が低く、雨量に乏しい北滿とでは農作物の種類も自ら異つて来る。また降雨の最も少いのは呼倫貝爾地方で、一帶の草原をなして放牧が主な産業となる。

【練習問題】

- (1) 滿洲國の氣候の特色は何か。
- (2) 三寒四温とは何か。
- (3) 滿洲國の氣候は、その農業に如何なる影響を及ぼしてゐるか。

【問題】

- (1) 滿洲國の氣候と農牧業との關係を述べよ。(專檢)
- (2) 滿洲國の略圖にその区域内の主要なる山系・河川及び平野の位置及び名稱を記入し、更に夏季及び冬季に於ける卓越風の方向を加記して、この地方の地勢と氣候とを考察せよ。(靜高)

滿洲國の農林畜水産圖

(1) 農業 住民の85%が農民であり、國土の34%が肥沃な農耕可能地であつて、滿洲國は正しく農業本位國である。而して滿洲全貿易額の85%が穀類であることは以上の事實を裏書する。また氣候が農業に幸してゐる。即ち夏気温が昇ること、夏が雨季であること、また冬は一般に霜





が少ないこと等である。近時灌漑の發達に伴つて、將來の發展が期待される。農産物中、大豆・高粱・粟・玉蜀黍・小麦が最も多く、殊に大豆は世界總産額の60%を占めてゐる。圖に就いて——滿洲國の主要農耕地帯は當然滿洲平野である。しかし氣候の關係上、南北に於て若干の差異が見られる。高粱と大豆は南北に互つて産し、小麦・粟は北滿に多く、棉花は奉天省以南の地域に限られる。柞蠶は南部の遼東半島に飼育されてゐる。其他水田耕作は朝鮮よりの移民によつて開始され、近時人工灌漑の發達によつて益々盛大に赴きつゝある。水田は半島人の多い東滿地方に分布する。

(2) 牧畜 廣漠なる原野を有し、住民は愛畜心に富み、飼料も豊富であるから牧畜は盛で、馬・驢(馬と驢の雜種)・驢・豚・牛等を飼ひ、滿・漢人の居住地帯では農家の副業として行はれ、蒙古人の居住地である興安四省では殆ど全面的に而も主産業として舍飼或は放牧を行つてゐる。綿羊は従來興安各省に遊牧されて來たが、従來の羊は肉と皮を主とし、羊毛は不良であるから、近時綿羊の改良・増殖を圖り、將來我が國需要の羊毛の一部を供給せんとしてゐる。

(3) 林業 滿洲國の森林面積は全土の30%を占め、森林は東部山地・北部山地に互つてゐる。紅松・樺・落葉松・唐檜等の針葉樹材を産出し、木材は河川又は鐵道によつて吉林・新京・安東・新義州(朝鮮)等に集められる。

(4) 水産業 漁業は餘り振はない。黄海や渤海の魚獲の外は、河湖にも淡水魚の産がある。しかし遼東半島沿岸地域の天日製鹽業は盛大に行はれてゐる。

#### 【練習問題】

- (1) 滿洲國の主な農産物は何か。
- (2) 牧畜はどの地域で行はれるか。何を飼つてゐるか。
- (3) 滿洲國の森林はどこに存在するか。その森林は如何に利用されてゐるか。

(4) 滿洲の羊毛は直ちに我が工業原料に使用し得るか。

#### 【問題】

- (1) 滿洲國の農業を説明し、且つ我が國の立場よりその重要性を詳述せよ。  
(廣高)
- (2) 滿洲國の氣候について概説し、種々の農作に適する所以を述べよ。(松本高)

#### 滿洲國の鑛・工産圖

(1) 鑛業 滿洲國にとつて、その埋藏資源は極めて重要である。鑛業はこの國の主要産業である。圖を觀察すると鑛産地は南滿、殊に奉天省並にその近傍に密集してゐることが判るであらう。この地域が早く開け、資源調査も進んだためであらう。しかしこの地域以外にも鑛産地は存在する。

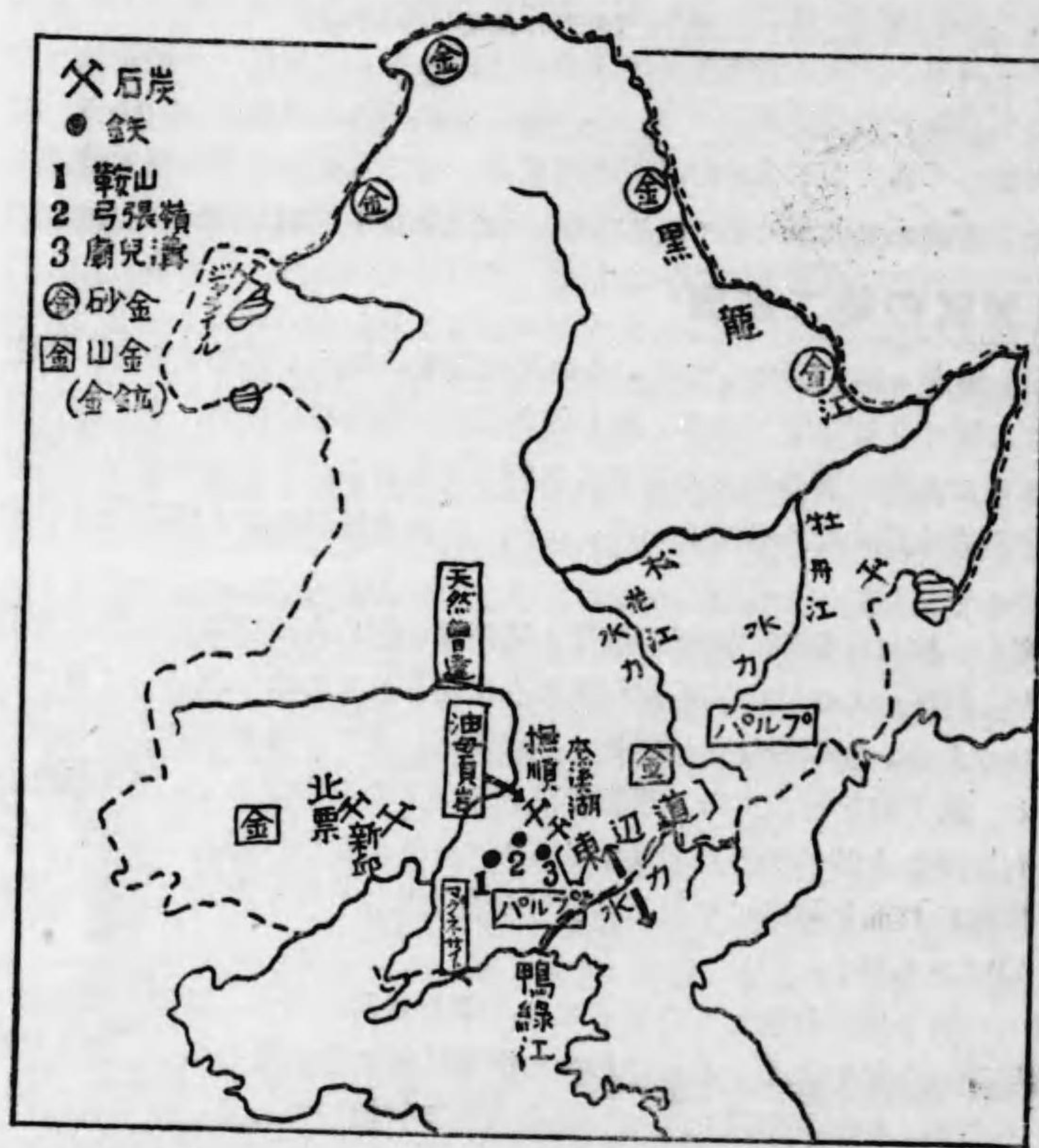
石炭……圖には撫順・本溪湖・新邱と滿洲里に近い札賚諾爾の炭田を記載した。最後のものは、石炭が南滿のみに限られてゐない例として挙げたものである。撫順炭坑は埋藏量・採掘量共に大で、世界有數の大炭田であり、露天掘を行つてゐる事實は誰も知つてゐる處である。また撫順には石炭層の上部に油母頁岩(オイルシェール)の厚い層があつて、これを採掘し石油を製造してゐる。(頁岩の含油量は6%) 新邱も亦頗る豊富な炭田である。

鐵……目下盛に採掘してゐるものは、奉天省内に三つ、鞍山・弓張嶺・廟兒溝がこれである。その中鞍山の鐵鑛は鐵の含有量の少い、即ち貧鑛であるが、昭和製鋼所に於て特別な方法で製鐵してゐる。近年通化省方面(この附近一帯は昔から東邊道と呼ばれてゐる)に優良な鐵鑛が埋藏されてゐることが判明し、東邊道開發會社が埋藏資源(鐵の外に石炭もある)の開發に當つてゐる。

金……砂金は北境黑龍江の流域に多い。また金鑛としての産地は、吉林省・熱河省等にある。

其他……南滿大石橋附近のマグネサイト、西部の天然曹達等がある。な





フシン  
ほ錦州省阜新方面や北滿のジャライノルに油田の存在が確かめられ、人工地震其他の探査法を採用して調査してゐる。また熱河省にも有望な油田の存在が認められてゐる。近時鉛・銅の鑛山も発見され開發を急いでゐる。

(2) 工業 従來行はれて來た主要工業は搾油・製粉・醸造の三つで、

近時家内工業の域を脱して機械力を使用し、大に面目を改めた。この國は石炭・鐵等の鑛産に富み、また水力の利用も進み、近代的工業が勃興してゐる。

(イ) 製鐵 鞍山の昭和製鋼所は我國經營の大製鐵所で、鐵の含有量の少い鞍山の鐵鑛を處理し、また本溪湖の製鐵所は廟兒溝の鐵鑛と本溪湖の石炭とによつて作業してゐる。

(ロ) 製油 撫順に於ては油母頁岩から採油する工業が盛で、重油の外種々の副産物を産する。また石炭液化工業も各地に行はれてゐる。

(ハ) 其他 セメント工業は原料が豊富なのと、土木事業の勃興に伴つて盛大に赴き、自動車・航空機の製造、輕金屬工業なども勃興しつつある。一方林産に富む東部地方にはパルプ工業が發達してゐる。

(ニ) 従來諸工業は南滿洲鐵道會社の經營下にあつたが、現時は滿洲重工業開發會社が設立されて重工業の開發に當つてゐる。

(ホ) 圖に記したやうに、滿洲の水力發電事業は松花江・牡丹江流域に盛で、また鴨綠江本流域に於ける該事業も進捗し、莫大な電力を鮮・滿兩方面へ供給することになつてゐる。

#### 【練習問題】

- (1) 滿洲國に従來行はれて來た工業は何か、この國の工業の近狀はどうか。
- (2) 滿洲國の重工業開發に當つてゐる會社は何か。
- (3) 滿洲國には、工業發展に有利な條件があるか。
- (4) 滿洲國の主な鑛産地は北滿にあるか、南滿にあるか。
- (5) 油母頁岩とは何か。主にどこで採掘されてゐるか。

#### 【問題】

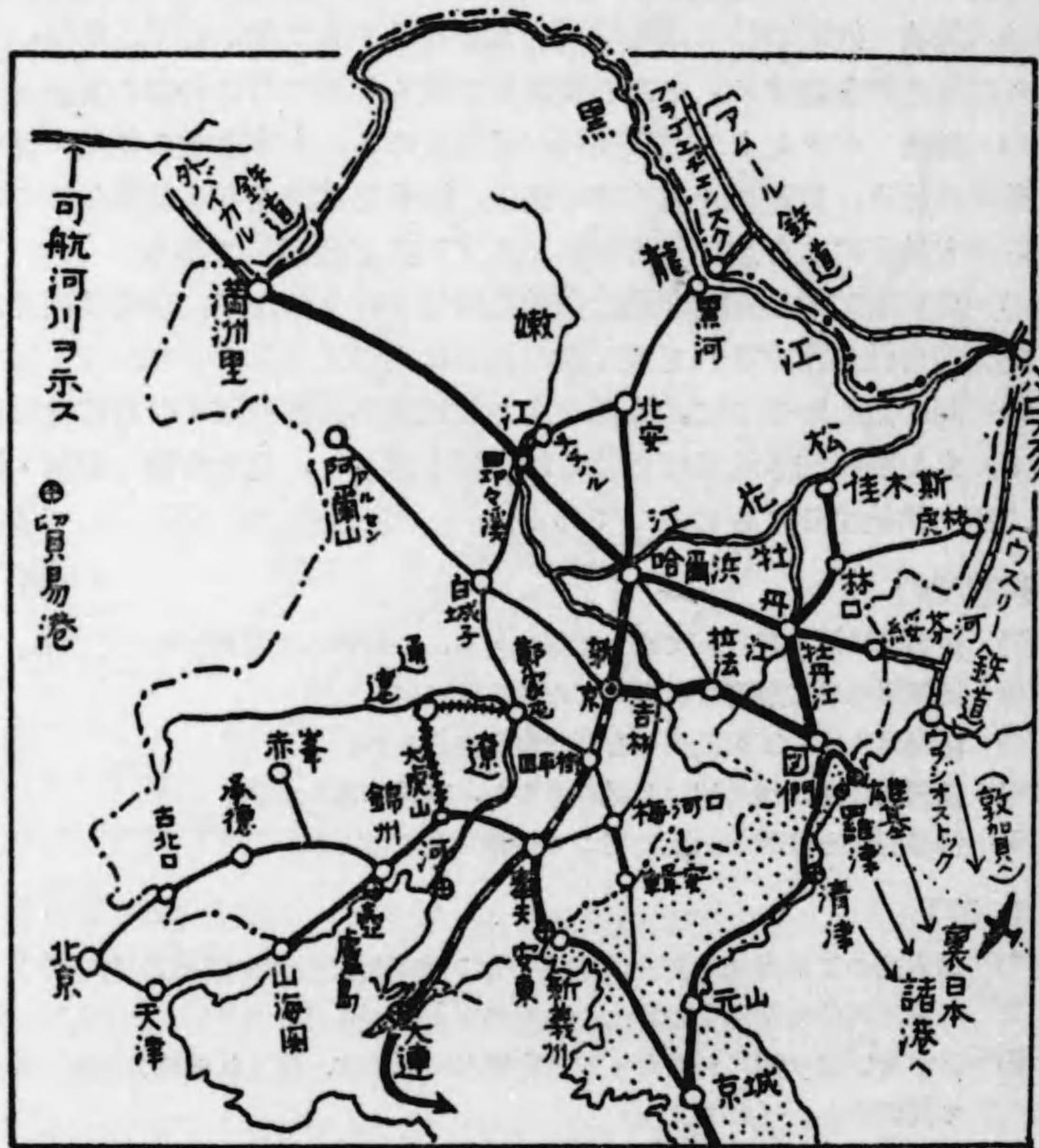
- (1) 滿洲國の工業發達の理由及び主要なる鑛産物につきて記せ。(佐高)
- (2) 日滿不可分の關係を地理上より説明せよ。(東高)
- (3) 日本及び滿洲國に共通なる不足資源五つをあげ、各これが輸入狀況について説明せよ。(東商大豫)



- (4) 日本の立場より満洲國産業の重要性を述べよ。(二高)
- (5) 日滿支三國が經濟上提携すべき理由を説明せよ。(専検)

滿洲國の交通圖

(1) 従來道路は不完全で、夏の雨季には泥濘膝を没する状態であつたが、近時道路の整備が進み坦々たる國道が建設され、各地に自動車交通



が開けてゐる。

(2) 河運については圖を觀よ。松花江・黒龍江・遼河は結氷期を除いて水運の利が大で、また結氷すれば良好な棧道となる。圖上河筋を二重にした部分は航運のある區域である。

北境を流れる黒龍江はアジャ有數の大河で、航運も大であるが、滿洲國としては位置が北偏し且つ國境線をなしてゐる關係上國防の見地からは重大意義を有するが、交通の立場からは價値が乏しい。

松花江は國の中央部を流れ、多くの支流を合せてゐるので、航運は最も豊かである。支流嫩江は齊々哈爾まで、第二松花江は吉林まで、支流牡丹江は牡丹江市まで水運の利がある。また流域に水力發電も盛である。遼河は南滿平野を貫流するため、古くは重要な交通路であつたが、鐵道の發達に伴つてその利用價値が減じた。鄭家屯まで溯航が可能である。

(3) 海運は大連・營口・安東を中心として行はれ、大連港が最も繁盛である。營口は河港で、冬季の結氷と港が浅い缺點があり、安東も結氷と下流に淺瀬があるため港灣としては不利である。北鮮三港(羅津・雄基・清津)は朝鮮の港であるが、事實上滿洲國の港として活躍し、我が日本海岸諸港との間の交通・取引が盛である。また壺蘆島港は近時築港計劃の一部が完成し、不凍港であることを利として活躍してゐる。

【註】 滿洲國の全貿易額の75%は大連港に於て取扱はれる。

(4) 鐵道については、よく圖を觀察せよ。滿洲國はアジャの中で鐵道網のよく發達してゐる地域の一つである。南洲鐵道會社は滿洲國國有鐵道全線の委任經營を引受けてをり、滿洲國の鐵道は完全な統制の下にある。

連京線……南滿洲鐵道の本線で、滿洲國の表玄関たる大連から首府新京に至るもので、特急「アジャ」は八時間で兩都市を連絡する。

安奉線……滿鐵の支線で、奉天・安東間、朝鮮經由の日滿連絡路に當ることに注意せよ。



- 京濱線……もとの北滿鐵道の一部で、新京・<sup>ヘルビン</sup>哈爾濱間。
- 濱綏線……これも北滿鐵道の一部、<sup>スィフンガ</sup>哈爾濱より東部國境の綏芬河に至る。
- 濱洲線……北滿鐵道の一部、<sup>スィフンガ</sup>哈爾濱・滿洲里間、重要な幹線である。
- 奉山線……奉天・山海關の間、滿支連絡上重要である。
- 奉吉線……奉天・梅河口・吉林間。
- 錦古線……錦州・承德・古北口間、それより北京に至る滿支連絡上大切である。
- 京圖線……新京より吉林・拉法を経て圖們江（豆滿江）岸の<sup>トモン</sup>圖們に至るもの。朝鮮の北鮮線と連絡して、北鮮三港に通じ、日滿連絡の最短路をなす最重要な幹線である。
- 圖佳線……<sup>トカ</sup>圖們より北上し、<sup>チャムス</sup>牡丹江を経て、佳木斯に達する。沿線には我が農業移民地が多く、國防上から見ても重要な鐵道である。
- 虎林線……林口—虎林、國防上重要。
- 拉濱線……<sup>ラヒン</sup>拉法—<sup>スィフンガ</sup>哈爾濱。
- 梅輯線……梅河口から、鮮滿國境の輯安に至るもので、東邊道開發上重要な意義をもつもの。
- 大鄭線……大虎山から通遼を経て鄭家屯に至るもの。
- 平齊線……四平街—<sup>チチハル</sup>鄭家屯—<sup>チチハル</sup>白城子—<sup>チチハル</sup>齊々哈爾。
- 京白線……新京—<sup>アルセン</sup>白城子。白阿線……<sup>アルセン</sup>白城子—<sup>アルセン</sup>阿爾山（温泉）。
- 濱北線……<sup>スィフンガ</sup>哈爾濱—北安。齊北線……<sup>チチハル</sup>齊々哈爾—北安。
- 北黑線……北安から國境の黒河（對岸にブラゴエンチエンスク）に至るもので、軍事上重要な線である。

【註】以上重要な線について述べた。これ等の鐵道はそれぞれに種種重要な意義をもつものであるから、よく圖を觀察してそれ等の點を檢討しておかねばならぬ。圖には可航水路も記載してあるから、鐵道と河運の關係もよく視よ。

- (5) 國土が廣大で、廣い平野をもち、その草原は航空機の着離陸に都

合がよい。更にこの地の氣流の具合も良好で、航空交通の發達に有利な條件を具へてゐる。従つて國內各都市間に航空路網が發達してゐる。定期航空事業は滿洲航空會社の經營になり、日本・支那と間の連絡も行はれる。なほ我が大日本航空會社の飛行機は滿洲國へ翼を延ばし、東京・新京間の直線コースによる航空路（圖に記載）は特に重要である。兩都間連絡は五時間半にてなされる。

#### 【練習問題】

- (1) 滿洲國の三大河は何か。それ等の水運の利を比較して見よ。
- (2) 滿洲國の鐵道の中で、特に重要なものはどれか指摘して見よ。又それが重要である理由も考へよ。
- (3) 我が國との連絡の上から見て、重要な鐵道はどれか。
- (4) 鐵道と水運との關係を考察せよ。
- (5) 滿洲國の航空交通は發達してゐるかどうか。この國の航空交通に対する條件は有利か不利か。

#### 【問題】

- (1) 日滿連絡交通路（東京—新京間）につき、略圖を描きて説明せよ。（浦高）
- (2) 滿洲國の略圖を描き、次の項目を記入せよ。（八高）
  - (イ) 黒龍江・遼河・松花江
  - (ロ) 主要鐵道線路とその名稱・接續點
  - (ハ) 主要なる石炭産地三つ
  - (ニ) 赤峰・愛琿・琿春
- (3) 滿洲國の略圖を描きて鐵道とその沿線の主要都邑を記入せよ。（高知高）

#### 滿洲國の住民圖

(1) 人口4300萬で、人口密度は奉天省を始め南滿に大で、北滿に小で興安各省が最小である。

(2) 滿洲族……原住民であるが、數は少く、漢族と同化してゐる。東部山地に多く吉林・三江・濱江各省に住み、人口は80萬位。



漢族……人口の大多數を占める。北支の河北・山東・山西省方面からの移住者が大部分をなしてゐる。儒教と佛教を信じてゐる。

蒙古族……興安各省に於て遊牧に従事し包を棲家とするものが多い。人口は80萬位。喇嘛教の信仰が深い。

内地人……従來滿鐵沿線に多かつたが、近時東部や東北部に移住するも



のが増加した。拓務省では二十年間に 100 萬戸 500 萬人の移住計劃を立て實施中であり、また別に青少年義勇軍の年少拓士の進出も著しい。内地人の數は約60萬。

半島人……かねてより國境を超えて東滿（殊に間島方面）に入り込み、水田耕作其他に従事するものが多かつた。人口約 120 萬、その内間島省方面に居住する者約60萬。

ロシア人……ハルビン近傍に居住する者が多い。約 7 萬位。

【練習問題】

- (1) 滿洲國の原住民は何か。その數は多いか、少いか。彼等は現今何處に住んでゐるか。
- (2) 滿洲國の大多數を占めるものは何か。
- (3) 近年我が移住者（拓士）が進出してゐるのは、主として何の部分か。
- (4) 蒙古族は滿洲國のどの方面に居住し、且つ如何なる生業に従つてゐるか。

【問題】

- (1) 滿洲國の住民に就きて記せ。（山形高）
- (2) 滿洲國に於ける我が農業移民に關して知る所を記述せよ。（浦高）

滿洲國の政治區劃圖

(1) 滿洲國は近時その治安が確保され、發展上の順路を辿りつゝあり、近年政府組織の改正を行ひ、省の増設を實行し、また我が國は滿洲國に於ける治外法權の撤廢及び南滿洲鐵道附屬地行政權の移讓を實施するに至つた。

(2) 地方の行政は建國當初は奉天・吉林・黑龍江・熱河・興安の五省を置いたが、其後内政の整備上、國防上相次いで新省が増設されて、現今では十八省を數へその行政區劃は密となつた。近年増設を見たのは、東安・北安の二省で、今後この傾向を辿るものと思はれる。

(3) 首府新京は特別市として省と同格の位置にある。市は總數14に及び、哈爾濱・奉天・吉林・齊々哈爾・牡丹江・錦州・佳木斯・安東・撫



省名と省公署所在地

奉天省 (奉天)	牡丹江省 (牡丹江)
龍江省 (齊々哈爾)	三江省 (佳木斯)
熱河省 (承德)	黑河省 (黑河)
濱江省 (哈爾濱)	東安省 (東安)
錦州省 (錦州)	北安省 (北安)
安東省 (安東)	興安北省 (海拉爾)
通化省 (通化)	興安南省 (王爺廟)
間東省 (延吉)	興安東省 (札蘭屯)
吉林省 (吉林)	興安西省 (大板上)



順・營口・鞍山・四平街・遼陽・鐵嶺である。

(3) 次に滿洲國と我が國との政治上の關係について見よう。我が國は大使を派遣し、各地に領事館を置き、又多數の日本人は滿洲國の官吏となつてその行政を指導し、各地に軍隊を駐屯せしめて、國防と治安の維持に當つてゐる。我が政府内に對滿政策遂行の目的を以て對滿事務局が設けられ、滿洲國內には次の諸機關がある。

全權大使——關東局(總長)——關東州廳(長官)  
(兼任)  
關東軍司令官——軍事機關

【練習問題】

- (1) 滿洲國の政體は何か。
- (2) 滿洲國は今日幾つの省に分割されてゐるか。省の数が逐次増加して行くの何故か。
- (3) 日本と滿洲國との政治上の關係について調べよ。
- (4) 特別市とは何か。

滿洲國の都邑圖

【註】 都邑の番號は圖の番號と一致する。

(1) 連京線方面

1. 蓋平 柞蠶糸産地の中心。
2. 營口 遼河の河口に位する貿易港。港内の浅いことと冬季の結氷はこの港の缺點である。大豆の集散を行ふ。
3. 鞍山 鐵産地を控へて、製鐵工業(昭和製鋼所)が盛大。
4. 遼陽 附近棉花栽培盛大。
5. 奉天 交通・商工業の大中心。滿洲國最大の都市。
6. 撫順 大炭田の所在地、製油其他の工業盛大。
7. 鐵嶺 8. 開原 大豆の集散地。
9. 四平街 交通の要地。
10. 鄭家屯(遼源) 蒙古と取引する商業都市。
11. 通遼 農畜産の集散地。
12. 公主嶺 農産物の集散。
13. 新京 首府。特別市で、交通の要地、貨物の集散が多く、油房・製粉等の工業も盛で、近年の發展は目覺しく、大規模の都市計畫進捗中。

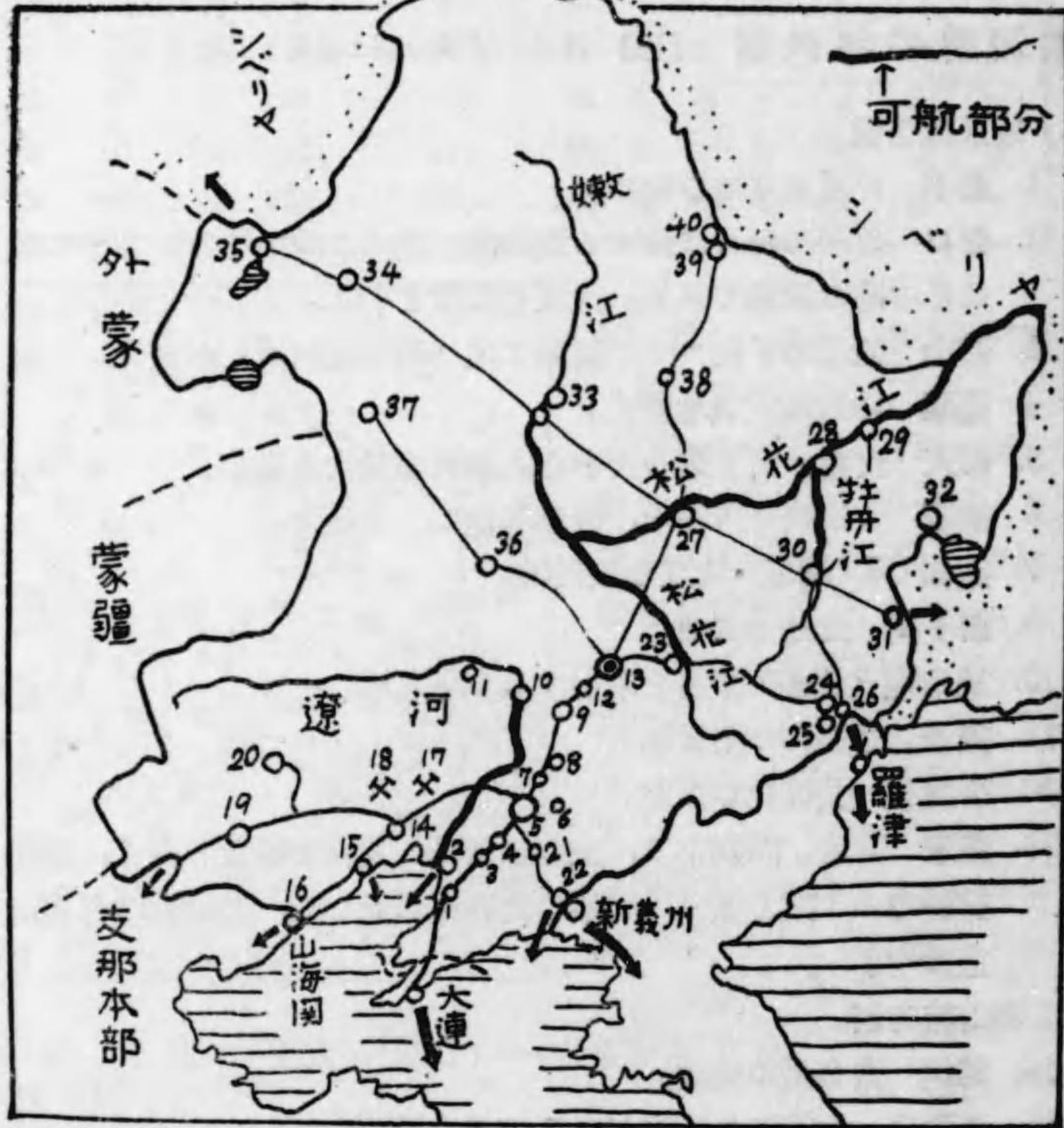
(2) 奉山線方面

14. 錦州 農畜産の集散。
15. 壺蘆島 大築港の計畫がある重要な港市。



- 16. 山海關 國境都市で、萬里長城の東端に當る。
- 17. 新邵<sup>シンキョフ</sup> 18. 北票 共に豊富な炭田。
- 18. 承德(熱河) 清朝の離宮と壯大な喇嘛廟あり、附近に阿片の産。
- 20. 赤峰 獸毛・獸皮の市場。

(3) 安奉線方面



- 21. 本溪湖 石炭産地で、附近に廟兒溝の鐵産地を控へ、製鐵が行はれる。
- 22. 安東 鴨綠江の口に臨み、木材の集散都市、製材・製紙工場がある。

(4) 京區線方面

- 23. 吉林 松花江に臨み、木材の大市場で、煙草・麻・毛皮の集散が行はれる。製材・製紙の工場がある。
- 24. 延吉 25. 龍井 間島地方の中心地。

26. 圖們 鐵道の要地。

(5) 濱綏線・區佳線方面

- 27. 哈爾濱<sup>ハルビン</sup> 交通の要點・北滿第一の大都市、水運の利に恵まれ、商工業が盛大である。
- 28. 依蘭<sup>イラン</sup>(三姓) 松花江は牡丹江の合流點にある要津、毛皮・木材の集散が行はれる。
- 29. 佳木斯<sup>チャムス</sup> 農業の中心地、附近に我が集團移民村が多い。
- 30. 牡丹江<sup>スイフンガ</sup> 新興の都市で、軍事・交通上の要地である。
- 31. 綏芬河 濱綏線の終點、國境の要地。
- 32. 東安(密山) 國境の要地。

(6) 濱洲線・京白線方面

- 33. 齊々哈爾<sup>チハル</sup> 嫩江の水運を利用して、農産物の集散を行ふ。
- 34. 海拉爾<sup>ハイラル</sup> 呼倫貝爾地方の主邑で、牧畜地帯の中心地をなす。
- 35. 滿洲里<sup>マンチユリ</sup> 國境の要地で、濱洲線の終點。
- 36. 洮安(白城子) 鐵道の要地に發達した市場。
- 37. 阿爾山<sup>アルセン</sup>(溫泉) 白阿線の終點。

(7) 濱北線・北黑線方面

- 38. 北安<sup>アイゲン</sup> 重要な農産地に發達した新興市場。
- 39. 愛琿 40. 黑河 共に黒龍江を隔ててシベリヤに對する國境の要地。



【練習問題】

圖の都市に附した番號順に、その名を云つて見よ。

支那の地勢鳥瞰圖

- (1) 國の西部から北部にかけて土地が高く、東部は概ね低平である。
- (2) 西部・北部の高地には、ヒマラヤ・崑崙・天山・アルタイ・サヤン・興安嶺等の山脈が相重なり、特に西部は山岳重疊たる高峻な地域である。



- |          |         |      |
|----------|---------|------|
| 1 ヒマラヤ山脈 | 4 タリム盆地 | 7 秦嶺 |
| 2 チベット高原 | 5 蒙古高原  | 8 南嶺 |
| 3 崑崙山脈   | 6 支那平原  |      |



印度との境に立つヒマラヤ山脈は世界最大の山脈で、エヴェレスト山(8882米)が最高峯、この山脈と崑崙山脈との間には平均高度4000米に達するチベットの大高原が横たはり、高原上には幾條もの山地が屹立し、鹹湖や内陸川が多く荒涼寂寞たる光景を呈する。高原上をサンポー川が流れ、下流は印度に入つてブラマプトラ川となる。

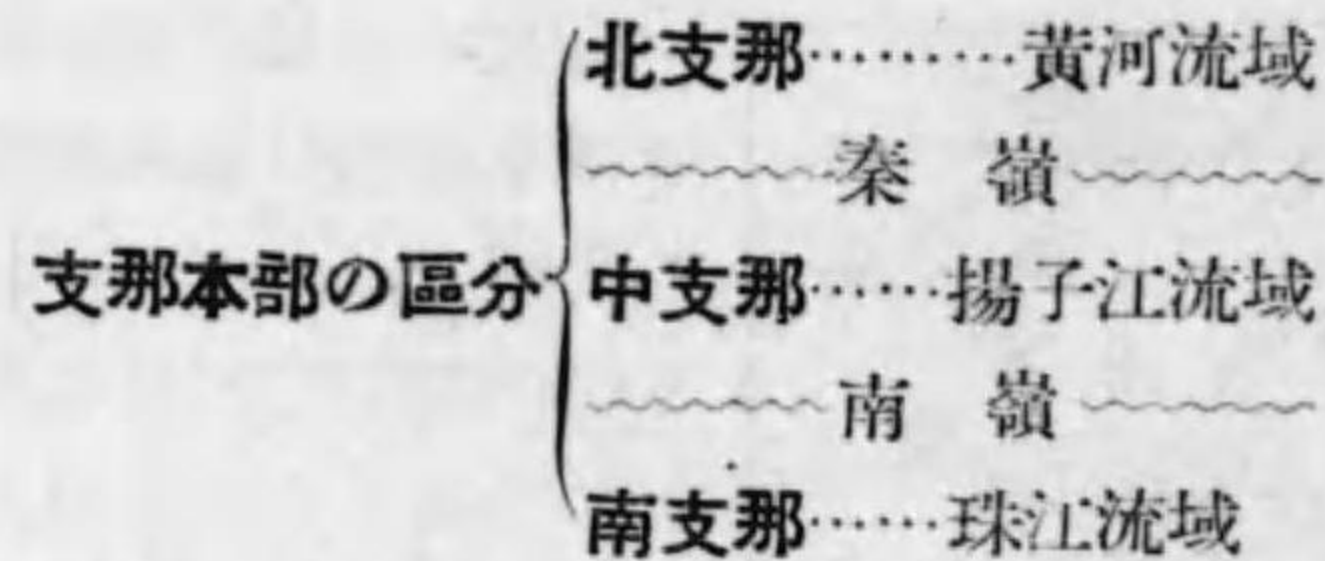
崑崙・天山兩山脈の間はタリム盆地で、タリム川が流れ、タクラマカンの沙漠がある。盆地の高さは約1000米。天山・アルタイ兩山脈の間も盆地をなし、前のタリム盆地と共に新疆省の領域である。

東北部は一帶の高原で、ゴビ沙漠によつて北の外蒙古、南の内蒙古に分れる。この蒙古高原の高度は約2000米である。

ヒマラヤ山脈の東部は印度支那山系となつて印度支那半島に入る。この附近は山岳・高原地帯で、黄河や揚子江の源を養つてゐる。東方に向つて土地は漸次低下する。

(3) 東部低地——支那の東部は土地が低く、海岸や大河の沿岸に沃野が開けて、支那の主要部をなしてゐる。東西に走る低い秦嶺(北嶺)・南嶺の山脈によつて、支那本部は三地區に分たれる。





【註】 支那本部のみの鳥瞰圖も掲げてあるから、各自の地圖と比較觀察して見ること。

【練習問題】

- (1) 支那の西と東とでは、その地勢はどう違つてゐるか。
- (2) 北支・中支・南支を分つには何を以てするか。
- (3) 支那の主な山脈をあげて見よ。
- (4) 支那では、沙漠はどこにあるか。

【問題】

- (1) 支那の山脈を問ふ。(東高師)
- (2) 支那本部の地形圖を描きて山脈・河湖の名稱を記入せよ。(京城大豫)

支那の主要河川比較圖

(1) 支那の主要河川といへば、誰でも揚子江・黄河・珠江の三者を擧げるであらう。その中、揚子江と黄河との比較については充分の考慮を拂はなければならない。ここでも兩大河の比較を主體として行き度い。

(2) 黄河は水源を西部高地(青海省方面)に發し、延長約4000軒に及ぶ。中流に於て著しき迂回路をとり、支流の數は少く、渭水・汾水等が主なものである。流域面積は揚子江には及ばないが、約1億の人口を擁してゐる。黄河には河水を調節する湖沼が無い為、夏の増水期には揚子江よりも一層洪水が甚だしく、その被害も大である。黄河は途中黄土地帯(圖を見よ)を通つて北支那の平原に出るので、夥しい泥土を押し流す。河水は物凄い黄濁を呈し、黄河の名を生み、更に河水の流入した



海が黄海と呼ばれる原因となつた。黄河の水量は揚子江に較べると遙に少いが、その流す泥土の量は揚子江に優る。従つて河流が山地を離れて平原に出ると、此泥土は河底に沈澱して河床を高くする。黄河の河床は概ね平野の面よりも高くなつて居り、河水は高く築かれた堤防の間を流れてゐる。この堤防の築造とその維持には莫大の費用と勞力とがかかる。黄河の流路は開封以東の平野部に於ては屢、變遷してゐる。毎年夏の氾濫によつて流路を變ずるからである。そして北は天津附近から南は揚子江近傍に至る間を、或る時は山東半島の北に於て海に注ぎ、或る時代には河南に於て海に注いで來たのである。この點も圖上觀察せよ。



かくの如く黄河は屢、氾濫を起し度々流路を變ずるので、昔からその治水工事には頭を悩まし、水を治めることが國を治める第一歩であつた。

上述の如き次第で、黄河の水運の利は乏しい。下流では泥土沈澱のため淺くなつてゐるし、上流では急流や峻崖のため航行が妨げられる。蘭州の附近まで、局部的ではあるが小船の往來が出来る。

沿岸に都市が少いことも黄河の特色である。勿論河口には一つも港がない。どういふ都市がその流域にあるか、圖について見て貰ふ。

流域の産業は、上流では牧畜、下流では畑作が盛である。また鑛物の埋藏も少くない。これ等のことは前掲の産業圖と比較して觀察され度い。

黄河流域は支那文化發祥の地であることは、忘れてはならぬ。古代に於ては黄河のつくつた中原の地が文明發生の場所となり、中世に於ては河南(洛陽)・西安・(長安)の附近に隋・唐の文化の華が咲いたのである。

【註】黄土は北支全土を蔽ふ微細な土で、容易に粉末になるが、堆積地ではよく引締つてゐる。その厚さ數百米に達してゐる所もある。黄褐色で極めて脆く、縦に割れ易い。侵蝕を受けて絶壁をなし、隘路がその間を通じてゐる所がある。潼關・函谷關等がその例である。山西省邊りの住民には、黄土層の斷崖を穿つて穴居生活を營むものも少くない。この黄土層は蒙古方面から風のために運搬された砂塵が堆積して出來たものである。

(3) 揚子江は西藏地方に源を發し、長さ5200軒支那第一の大河である。否アジャ最要の河である。この河の方が黄河よりも支流の數が多い。流域面積は約150萬方軒で、約2億の住民を養つてゐる。

揚子江の水準は夏季に著しく上昇する。水源地方に於ける雪解けと流域の降雨とが一時に重なる結果である。従つてその河港では船着場は浮上式になつてゐる。しかし揚子江は黄河のやうに屢氾濫することはない。それは沿岸に湖があつて水量の調節を行ふからである。洞庭湖と鄱陽湖がそれであつて、夏には揚子江の増水を受け入れて湖の面積は著しく増大し、冬にはその水を揚子江に返して湖面は收縮する。

揚子江は極めて水運に恵まれた河である。沿岸には多くの支流や湖沼があり、また運河が網狀に發達してゐる。満水期(五月—十一月)には遠洋航路の汽船は、河口から1000軒上流の漢口まで溯航する。漢口より上流宜昌まで1000噸級の汽船が通ふ。宜昌より先には三峡の峻があつて航運を妨げるが、特殊の河用汽船は重慶まで通航する。更に支那ジャンクによれば河口から2700軒を隔てる叙州まで達することが出来るし、更に成都まで小船が通ふ。大略の所は圖示してあるから参照せられ度い。

かく揚子江は水運豊かな河であつて、其沿岸に幾多の大都會が榮えてゐる點は前述の黄河とは雲泥の相違である。主な都市の名は圖で調べて見る。沿岸下流には江浙平野、鄱陽湖附近の江西平野、洞庭湖近傍の湖廣盆地、更に上流の四川盆地何れも農産豊かな地域である。沿岸近くには大冶・桃沖の鐵山があり、上海や武漢三鎮方面には工業が勃興し、現時支那文化の中心である。

(4) 珠江(西江)は雲南省に源を發して、北江・東江等の支流を合せて南支那海に注ぐ。延長1600軒、黄河や揚子江に比すれば甚だ短い。その河口には肥沃な大三角洲を造つてゐる。南支那の大動脈をなすもので、水運の利も相當に大である。

(5) 大運河は圖に示すやうに、天津に起り黄河及び揚子江を横切つて杭州に至るものである。これは萬里の長城と共に支那の二大土木工事と稱せられる。現時に於ては、この大運河は著しく荒廢したが、南部では尙小舟の往復に利用される。

#### 【練習問題】

- (1) 黄土とは何か。どこに分布してゐるか。
- (2) 黄河の下流地域は一つの扇狀地と見做すことが出来るか。
- (3) 大運河は何のために作られたか。今日それは役立つてゐるか。
- (4) 揚子江及び黄河の支流をあげて見よ。
- (5) 揚子江岸の湖沼に如何なる役目をなしてゐるか。



【問題】

- (1) 都市の分布、交通及び産業に就いて揚子江と黄河とを比較せよ。(高校)
- (2) 黄河と揚子江との特色を比較せよ。(陸士)
- (3) 支那の三大河をあげて説明せよ。(東高師)
- (4) 揚子江の水系の圖を描き、その沿岸重要都市十ヶ所を記入せよ。(三高)
- (5) 揚子江が支那の文化に及ぼす影響につき述べよ。(専檢)
- (6) 黄河と揚子江との相違點を概説し、且つ下記諸都市が兩者何れの沿岸附近に點在せるやを示せ。(海兵)

濟南 南京 九江 開封 重慶 河南 上海 漢口

支那の氣候圖

(1) 支那は領域が廣いから、氣候は各地一様でない。支那の東部は季



節風帯に屬する譯で、支那本部の氣候は概して良好である。しかし奥地は大陸性に傾く。

(2) 圖上降水量の分布を觀察する。最も多いのが南支で 2000 耗以上、中支は 1000 耗から 2000 耗、北支は 1000 耗以下といふことになる。奥地の方、蒙古から新疆・青海・西藏の諸地域は大體 250 耗以下の寡雨地である。従つてこの地域にはゴビ沙漠・タクラマカン沙漠などが横たはり、蒙古地方の紅砂は風に吹かれて舞上り、北支や滿洲に於て黄塵萬丈の現象を起す原因となる。北支の黄河は冬凍結するし、また渤海も結氷することに注意する。北回歸線が何處を通るかといふことにも注意して貰ふ。

(3) 要するに支那本部は氣候概して良好であるが、雨量・氣温の關係は南北に於て差異がある。簡略に述べれば、北支は低温少雨、中支は適温適雨、南支は高温多雨といふことになる。同じ支那本部でも海岸に近い處と海岸に遠い處とでは、また氣候に差が出来る。支那で最も快適な氣候をもつ所は青島邊りではあるまいか。稍、奥に入つた漢口の夏の暑熱は随分堪へ難いものだと我々がよく耳にする所である。

【練習問題】

- (1) 北支・中支・南支の氣候はどう違つてゐるか。
- (2) 蒙古・新疆省・西藏方面の氣候はどんなものか。
- (3) 黄河・揚子江は冬季凍結するか。
- (4) 北支と滿洲國の氣候を比較して見よ。
- (5) 支那に於て、氣候と農業との關係を見よ。

【問題】

- (1) 支那の氣候について觀せ。(長崎商)
- (2) 南北兩支那の氣候・農業の差異を問ふ。(山口商)

支那の農畜水産圖

(1) 先づ農業から始めて見よう。第一に頭に入れて置かねばならぬことは、北支は地勢や地味或は氣候の關係上水田耕作には適しないといふ。





ことである。その代り畑作が盛んで、この地方に広く分布する黄土は仲々に肥沃である。圖に誌したやうに、高粱や小麥或は大豆が主要農産物である。この點滿洲國に類似する。棉花は北支・中支に互つて廣く低地に栽培される。養蠶が黄河と揚子江の流域各所に盛であることを觀察する。中支那から南支那にかけては、雨は多いし、氣温も高い、また河川や運河の發達も著しく、灌漑に便利なため、こゝには水田が見事に發達してゐる。殊に揚子江の下流域の江蘇省・浙江省は米の大産地で、「江浙實れば天下飢ゑず」との支那古來の名言がある程である。茶は中・南支各地に産が多い。山東半島には遼東半島と同じ様に柞蠶が飼はれる。

(2) 北・中・南支那を通じ、牧畜が盛で、農家の副業として豚・羊・牛・家禽の飼育が盛である。中南支には水牛が水田耕作に使役される。

支那の邊疆部の高原や草地には、專業としての牧畜、場合によつては水と草とを追つて轉々と居を變へる遊牧が行はれてゐる。蒙古・新疆・チベット等がこれで、羊・馬・騾・驢・駱駝・犁牛（これはチベットに多い）等の放牧が行はれる。なほ斯かる牧畜地帯でも、川の邊などには農耕が營まれてゐる。

(3) 支那東部の海岸には所々に鹽田が發達してゐる。中でも著名なのは渤海沿岸で、長蘆鹽と呼ばれる。これに次いで山東半島南北岸の山東鹽、更に南方江蘇省沿岸にも鹽の産が多い。何れも天日製鹽法によつてゐる。其の他、内地には湖鹽や井鹽（四川盆地、井水から鹽を採る）が出る處もある。

製鹽は仲々盛んで、長蘆鹽・山東鹽の大増産計劃が樹てられてゐるが、漁業の方は餘り盛ではない。沿海には魚族も豊富であるし、中・南支の海岸はリヤス海岸で小港に富み漁業の發達を促がす譯であるが、從來不振であつた。この邊の海に海賊が出沒することも、確かに漁業の不振を來した一理由であらう。従つて支那では我が國から多量の海産物を輸入してゐる。

【註】 支那の林業は振はない。奥地には大森林もあるが、利用し得る地方には森林は誠に少い。支那は木材の乏しい國である。

【練習問題】

- (1) 北支と中支について、その農作狀況を比較せよ。
- (2) 支那の主要米産地はどこか。
- (3) 支那の邊境地域（蒙古・新疆・西藏等）に於ける農業の狀態はどうであるか。
- (4) 支那では、鹽は如何にして作られるか。
- (5) 我が國から見て、重要な支那の農作物は何であるか考へよ。

【問題】

- (1) 支那の主要農業を擧げよ。（東高師）



- (2) 北支・中支・南支の農業を比較せよ。
- (3) 支那に於て、農業と氣候との關係を説明せよ。

**支那の鑛産圖** (附工業都市)

(1) 支那は埋藏資源に富む國である。しかし交通の不便、資本の不足その他のために、地下資源の開発が大に後れてゐる。今後の開発に俟つ所極めて大なるものがある。

(2) 圖について、北から順次見て行くことにする。



蒙疆地方は石炭と鐵の大産地である。大同の炭田は埋藏量 120 億噸と推定される世界屈指の大炭田である。張家口に程近い龍烟は埋藏量 1 億噸の大鐵坑で、品質優良、北京近郊の石景山製鐵所へ送る外、我が國にも輸出される。

滿洲國に近い開平・灤州の炭田(開灤炭田)の石炭はコークス用として本邦に供給されてゐる。河北省の井陘も著名な炭田であるし、隣接の山西省は多量の石炭を埋藏してゐる。山東半島では坊子・博山の石炭、金嶺鎮の鐵が重要である。なほ油田は陝西省に存在するが、現在の採掘量は少い。

揚子江流域には桃沖と大冶の鐵山がある。大冶鐵山は埋藏量 1 億噸と稱せられ、その鑛石は富鑛(含鐵量 60% 以上)である。この鐵鑛は主として日本へ送られる。大冶の南方には萍郷の石炭産地がある。揚子江上流の四川盆地の自流井には少量の石油を産する。(こゝには又前項に於て述べた井鹽の産がある。)

中・南支に互つて、錫・アンチモニー・タングステン・水銀等の産地が散在する。支那のアンチモニー(活字の地金等に用ふ)の産は世界一(世界産額の 80%)で、新化が主産地である。タングスンの産も世界一(世界産額の 40%)であり、錫は雲南省の箇舊が著はれ、英領マレー・蘭印に次ぐ大産地である。海南島は鐵・金・鉛・錫等の埋藏量が多く、開發に努めてゐる。

(3) 手工業は國人の長所で、織物・陶器・漆器・紙等は古くから知られ、近年上海を中心として、揚子江沿岸の漢口・漢陽等及び、天津・青島・廣東等には、紡績・製粉・造船等の大工業が勃興した。圖には主要工業都市を記載したから、参照せられ度い。

**【練習問題】**

- (1) 支那に於ける主な鐵・石炭の産地をあげよ。鐵・石炭は北支に多いか、中支に多いか、或は南支に多く産するか。

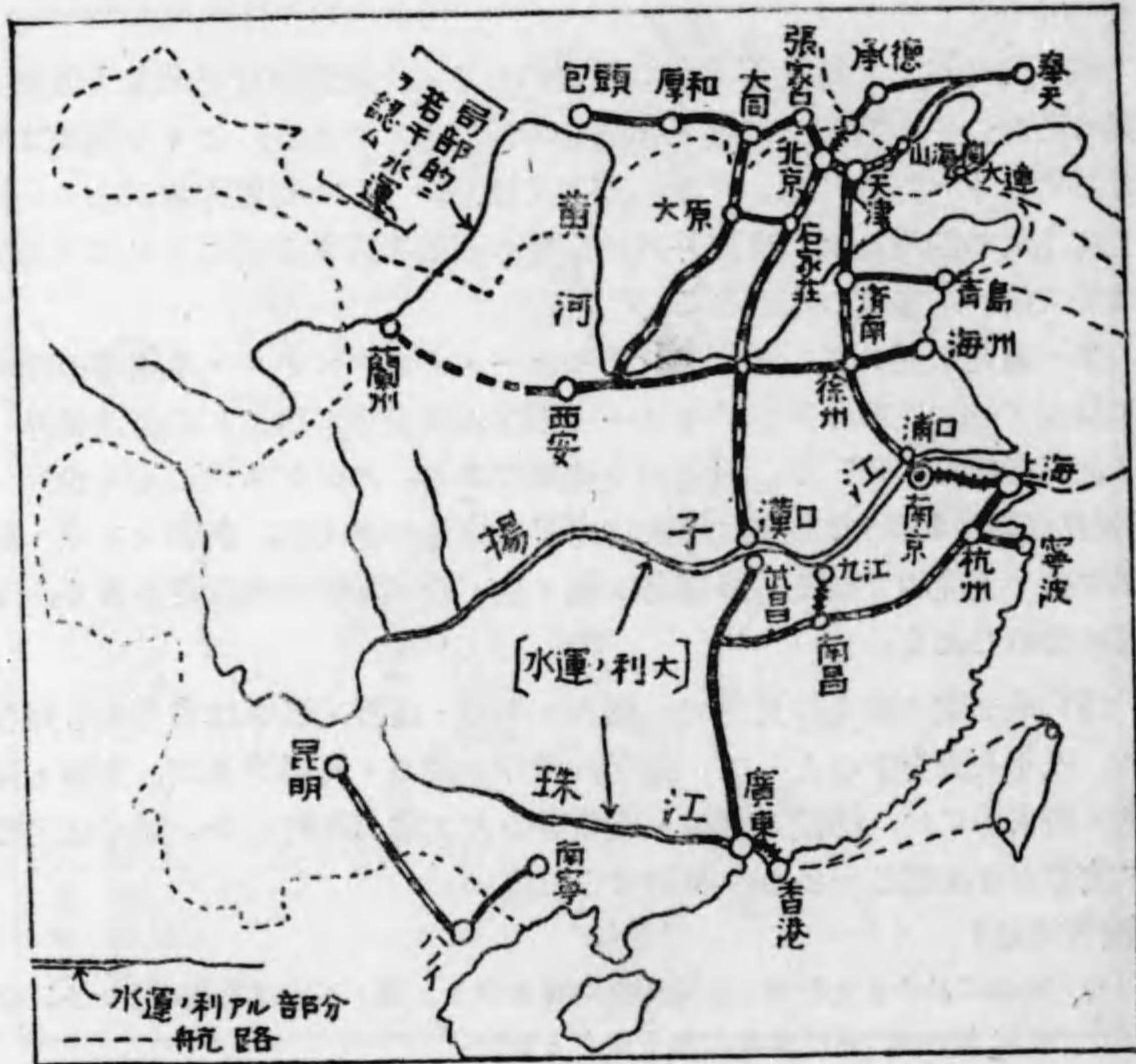


- (2) 支那には石油は多いか。
- (3) 支那に於ける、近代的工業都市をあげよ。
- (4) 支那が世界的の大産地となつてゐる鑛物の種類は何か。

【問題】

- (1) 支那本部の主要なる炭坑及び鐵山をあげ、且つそのうち我が國と特殊關係あるものを指摘せよ。(佐賀高)
- (2) 支那の主な鑛産地を圖示せよ。

支那の交通圖



(1) 支那には「南船北馬」といふ言葉があるが、これは南支那では主として船によつて交通し、北支那では主として馬によつて交通するといふ意味である。中南支には多くの水系があるに反し、北支では利用さるべき水系がない。近時各地に道路も建設され、自動車交通の開けてゐる部分もある。

(2) 圖には主要河川を記入し、その可航部分を明示してあるが、同じ可航河川といつても揚子江と黄河との間には交通上の價値に大きな開きがあることは前述の通りである。ここで河川と鐵道との關係を見よう。北支の黄河は水運の便に乏しいから、この部分では東西横斷の鐵道が何條か發達してゐる。これに反し水運の利の多い揚子江・珠江をもつ中南支には河川に並行する鐵道線路はあつても僅かである。しかし南北連絡線はよく發達してゐることを觀察して欲しい。

(3) 支那の鐵道の延長は約 13000 軒で、面積の遙に小さい我が國の鐵道延長の約半ばに過ぎない。かく支那の鐵道の發達が後れ、その鐵道は殆ど全部支那本部にのみ發達し、特に北支に鐵道網が密である。しかもこれ等の鐵道は、一般に外國の資本と技術とによつて敷設された、所謂借款鐵道である。

(4) 圖について鐵道を觀察して行かう。

- 京山線……北京から山海關へ至るもので、滿洲の奉山線に連絡する。もと英國が建設したもので、現在我が華北交通會社の經營に屬する。
- 京包線……北京から西方蒙疆地區へ通ずるもので、包頭が終點。もと支那が獨力で建設したもので、目下華北交通會社の經營。
- 津浦線……天津より南下して揚子江岸の浦口に至る。
- 同蒲線……大同より、黄河畔の蒲州に至る。
- 膠濟線……膠洲より濟南に至るもの。
- 正太線……正定(石家莊)から太原に至る。
- 海南線……上海・南京間、我が華中鐵道會社經營。



海杭線……上海・杭州・寧波間，華中鐵道會社に屬す。

京漢線……北京より漢口に至るもので，極めて重要な南北縦貫線である。

エツカン  
粵漢線……漢口の對岸武昌から廣東（粵）に至る重要な幹線。

ローカイ  
隴海線……東西横斷線で，海州から西安の西方に延びるもの。（隴は甘肅省の異名）

南潯鐵道……九江・南昌間。

セツカン  
浙贛線……杭州附近から南昌を過ぎて長沙の附近で粵漢線に連絡するもの。

テンエツ  
滇越（雲南）鐵道……佛印のハノイから昆明（雲南）に至るもので，フランスの所有。

(5) 支那はアジャに於て航空交通の發達した地方の一である。従來中國航空公司（米國系）・歐亞航空公司（獨逸系）が航空路を開設してゐたが，近時日支合辦の中華航空會社が事業を開始し，各地に航空路を開いてゐる。一方我が大日本航空會社は北支・中支・南支へ定期航空路（福岡—青島—天津—北京，福岡—上海—南京，福岡—臺北—廣東—バンコック）を通じてゐる。また米國の太平洋横斷航空路はフィリッピンのマニラから香港に至る。

(6) 海運は専ら外國汽船によつて行はれるものが多く，日・英・米・佛等各國の汽船が，支那の海港に對して航路を持つてゐる。我が長崎と上海間には船舶の往來が頻繁である。

#### 【練習問題】

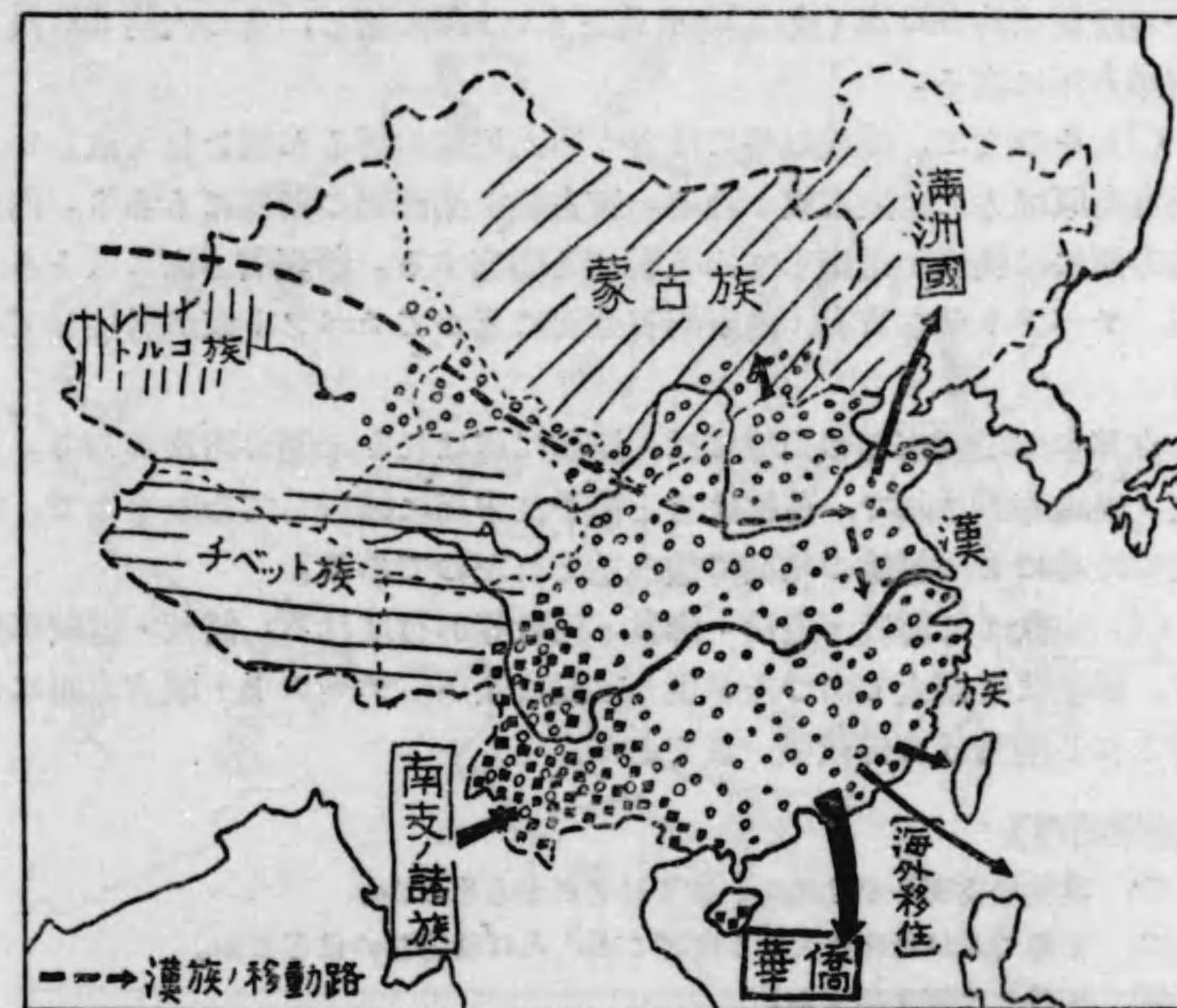
- (1) 南船・北馬といふ語を具體的に説明せよ。
- (2) 支那の鐵道はどういふ特色をもつてゐるか。
- (3) 支那の鐵道は河川の交通とどういふ關係にあるか。
- (4) 支那に於て，鐵道の發達してゐるのは，どの部分であるか。
- (5) 日本と支那との交通路には如何なるものがあるか觀察せよ。
- (6) 支那と滿洲との鐵道連絡點はどこか。

#### 【問題】

- (1) 支那に於ける主なる鐵道六線を圖示し，各々その經濟的價値を述べよ。
- (2) 支那本部の交通について記せ。（專檢）
- (3) 支那の主要鐵道を圖示し，本邦並に朝鮮との連絡點を明示せよ。
- (4) 北支・中支・南支の産業・交通の狀況を比較せよ。

#### 支那の住民分布圖

(1) 支那の人口總數は約4億と稱せられるが，人口調査の行はれない支那では正確な數を知ることは出來ない。そして人口は黄河・揚子江・珠江等の流域や海岸地方に稠密であるが奥地に於ては極めて稀薄で處によつては無人の地もある。





(2) 支那本部に居住し、支那人口の大多數を占めるものは漢族である。漢族は昔西方から入つて來た民族で、原住民を追つて今日の如き分布を見た。その概略の移動路を圖上に示して見た。同じ漢族でも、面積の廣い氣候や地勢其他種種異つた環境の下に生活してゐるので、北支那・中支那・南支那の住民の間には言語の上に氣質や體質或は風習の上に大きな變化がある。北支人は謹嚴で落ち着きがあるが、保守的に傾く。又南支人は沈着を缺く所はあるが活動的で進取の氣象に富んでゐる。海外に發展するのも南支人に多い。

漢族は盛んに海外に移住する民である。彼等海外移住者を華僑といひ、北支よりの滿洲移民、南支よりの南洋移民が最もよく著はれてゐる。華僑の總數は約800萬(或は1000萬ともいふ)に達し、その内約650萬は南洋方面に在る。

(3) その次に、漢族以外にはどういふ民族が居るか圖を見て欲しい。蒙古高原地方には蒙古族がある。蒙古族は滿洲國の西部にもゐる。内蒙古方面には漢族が進出してゐる有様も觀察する。新疆省方面にはトルコ族、チベットから青海・西康兩省方面に互つてチベット族が居住してゐる。

支那本部の西南部の山地には、漢族に追はれた未開の諸族がある。苗族・<sup>ビョウ</sup>瑶族等がこれで、苗族はもと揚子江方面に蟠居してゐたもので、漢族のためにこの邊境の地域に追ひ込まれたのである。

(4) 宗教には儒教・道教・佛教・回教等が行はれる。儒教・道教が盛で、佛教は昔盛大であつたが現今は振はない。チベット・蒙古方面に信仰される喇嘛教は佛教の一派である。

【練習問題】

- (1) 漢族は支那の原住民か。彼等はどこから來たか。
- (2) 支那で人口密度の大なるはどこか、人口稀薄なのはどこか。
- (3) 華僑とは何を指すか。

【問題】

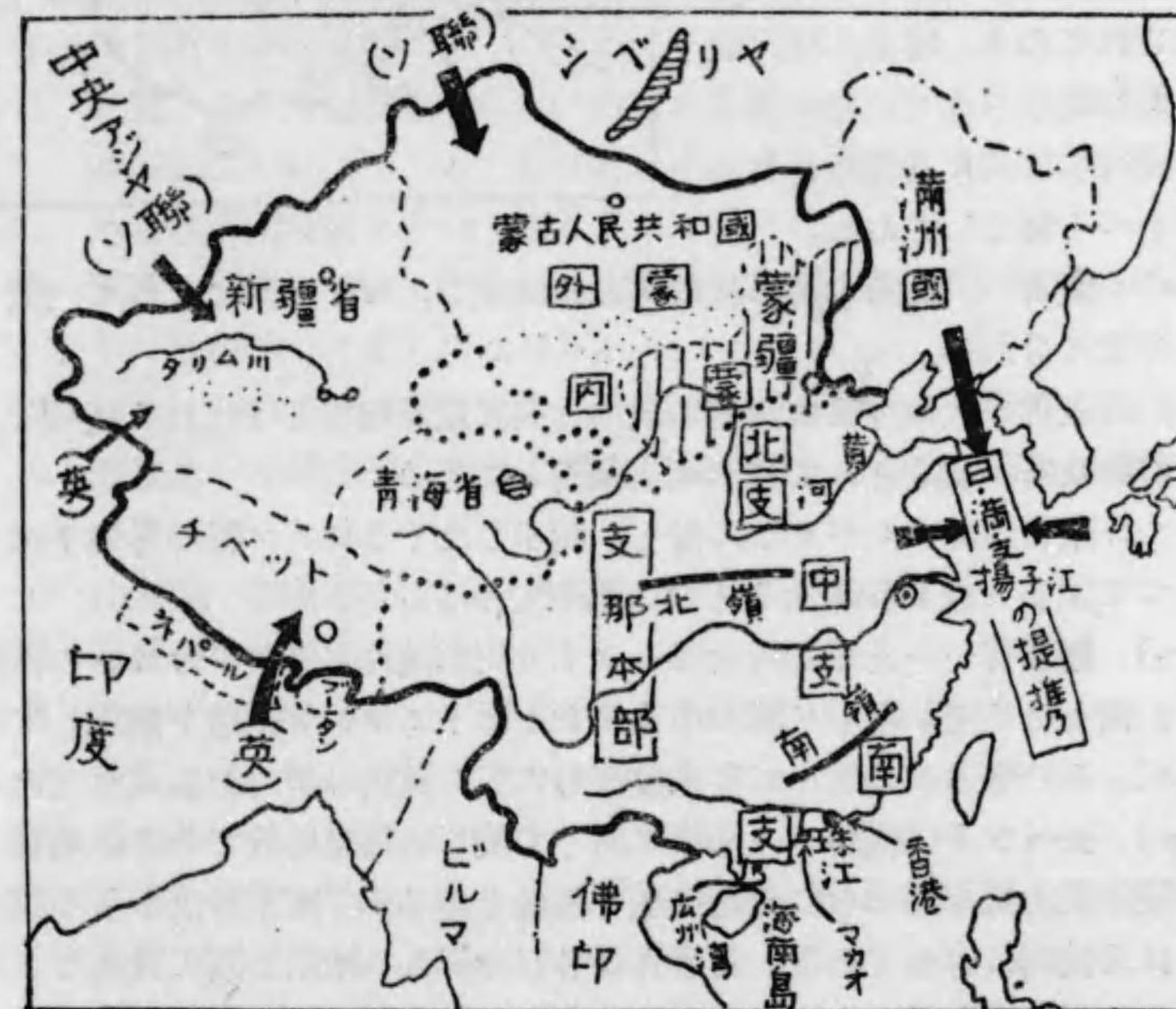
- (1) 支那の住民の種族を擧げ、その分布状態につきて記せ。(陸士・専檢)
- (2) 支那本部の人種・言語・宗教につきて記せ。(高校)

支那の政治區劃圖 (附支那・滿洲國とヨーロッパ洲の比較圖)

(1) 支那の面積は甚だ廣大である。アジャ大陸の一地域ではあるが、支那一國とヨーロッパ大陸全土の面積は略等しいのである。かくの如く廣大な地域で、その統一は古來頗る困難であつた。

(2) 支那は次のやうな部分から成り立つてゐる。

(イ) 支那本部……支那の東南部、概して土地の低平な部分を占め、面





積は全上の半を超えてゐる。北支・中支・南支に分れることは前にも述べたがこの圖でも見て貰ふ。行政上十九省に分れてゐた。支那本部

面積比較	
支那全土	932萬方軒
支那本部	485萬方軒
ヨーロッパ洲	1143萬方軒



の中で樞要な地域は北・中・南支に互り皇軍の手に確保されてゐる。南京に國民政府が設けられて、我が國と提携して共存共榮の實をあげべく努力してゐる。

(ロ) 蒙古……支那本部の北に接した地域で、ゴビ沙漠によつて内蒙・外蒙に分れる。

内蒙古の大部分は山西省の北部と共に蒙疆地方と呼ばれる區域で、自治政府が樹立されて我が國と提携してゐる。

外蒙古の北はシベリヤに接し、圖示したやうに、ソ聯の勢力下にあつて蒙古人民共和國なるものが出来てゐる。

(ハ) 新疆省……支那の西北部、タリム川が流れてタクラマカンの沙漠が横たはる邊。近年ソ聯が中央アジャにトルクシブ鐵道を建設して以來、その勢力が強化して従來浸潤してゐた英國の勢力を驅逐してゐる。

(ニ) チベット(西藏)……非常に高く峻しい高原地域である。地勢の關係上支那本部からの交通は頗る困難であるが、南方印度からの連絡は比較的容易である。此事實は各自の詳しい地圖で觀て貰ふことにする。斯様な譯で、チベットには英國の勢力が早くから及んでゐる。

(ホ) 青海省……これもチベットに類似した地域で、人口も甚だ少く、重要な部分ではない。

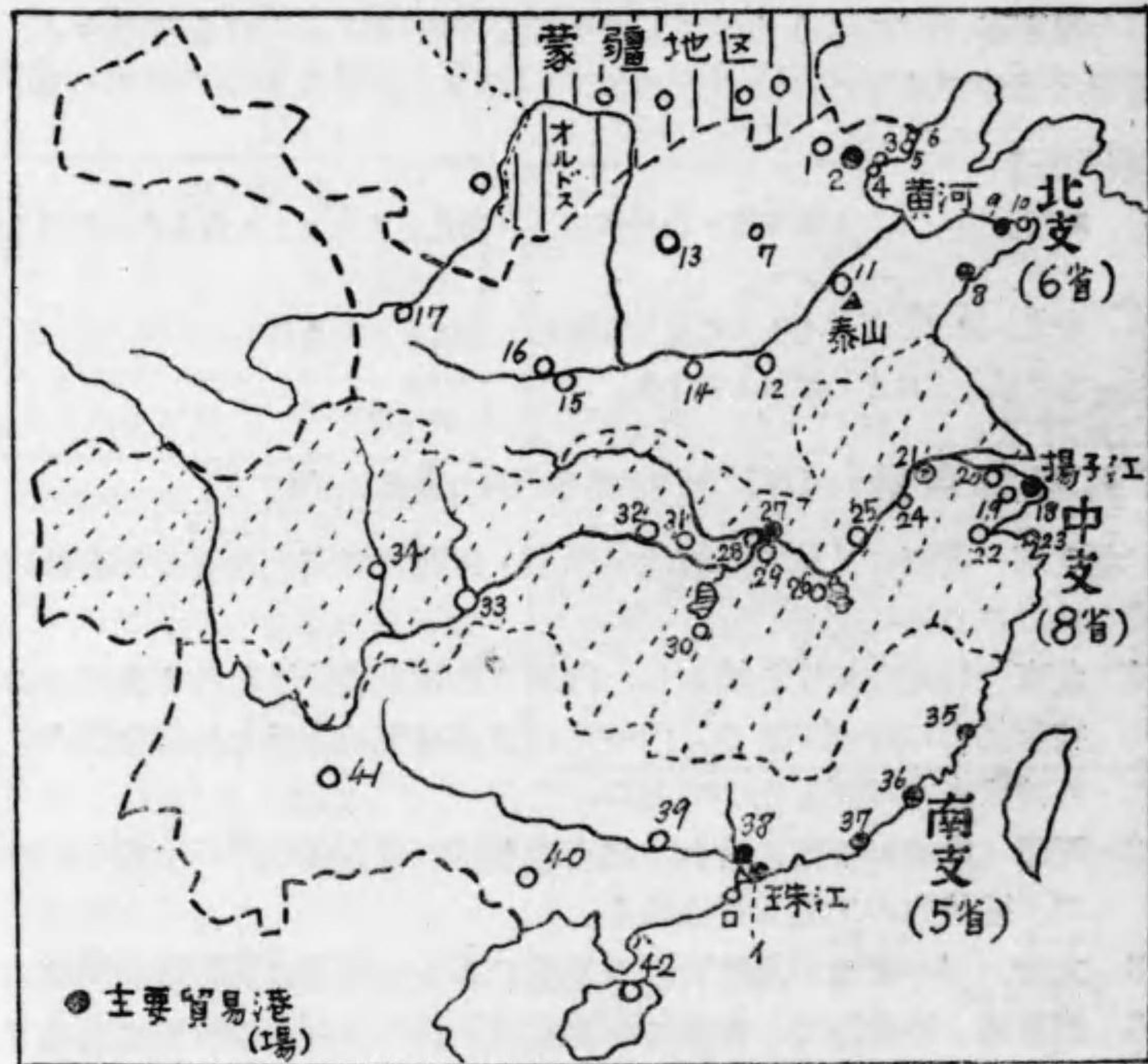
### 【練習問題】

- (1) 略圖を描いて、支那本部・内外蒙古・新疆省・チベット・青海省の位置を示せ。
- (2) 支那本部は、支那全土から見て如何なる意味をもつ地域か。
- (3) 蒙疆地方とはどの地域を指すか。

### 支那の都邑圖 【註】 都市の番號は圖の番號と一致する。

- (1) 北支那—黄河の流域で、河北・山東・山西・河南・陝西・甘肅の六省の地である。
  1. 北京 壯大な城壁を繞らし、内城と外城とに分けられる支那式の城廓都市の好例である。内城には舊皇城を始め壯大な建物が多く、外城は商業地區となつてゐる。
  2. 天津 白河の下流に沿ひ、北支那及び内蒙方面の門戸に當る商港で、近代的の工業も行はれる。
  3. 大沽 ダーク 4. 塘沽 タンク 共に天津の外港である。附近は長蘆鹽の産地。
  5. 秦皇島 シンクワウダウ 不凍港で、背後に開灤炭田を控へ、石炭の積出が盛大である。
  6. 山海關 國境都市で、萬里長城の東端に當る。
  7. 石家莊 鐵道の要地。
  8. 青島 重要な港市で、邦人經營の紡績其他の工場が多い。
  9. 芝罘 チーフ 港市で、柞蠶工業の中心をなす。
  10. 威海衛 もと英國が租借してゐた處。
  11. 濟南 政治・經濟の中心で、鐵道の會點。南方に名高い泰山(1545米)や、孔子廟のある曲阜がある。
  12. 開封 黄河の屈曲點に位し、古來屢、帝都となつた地である。また





貴州	福建	湖南	安徽	江西	蘇州	山東	山西	陝西	河北	河南	甘肅	雲南	廣西	廣東
南支	中支	北支	南支	中支	北支	南支	中支	北支	南支	中支	北支	南支	中支	北支
五省	八省	六省	五省	八省	六省	五省	八省	六省	五省	八省	六省	五省	八省	六省

水害の難を被ることが少ない。

- 13. 太原 山西省の中心で、附近には石炭の埋藏が多い。
- 14. 河南(洛陽) 舊都の一で、史蹟に富む。
- 15. 西安(長安) 屢、帝都となつた處である。
- 16. 咸陽 舊都。

- 17. 蘭州 新疆省・中央アジアに至る要地。
- (2) 中支那—主として揚子江の流域で、江蘇・浙江・安徽・江西・湖南湖北・四川・西康の八省の地を占める。
- 18. 上海 揚子江口に近く、東洋に於ける海上航路の中心である。市は揚子江の全流域を商圏として貿易が頗る盛で、又紡織・製糖・製粉・造船等の工業が盛である。附近一帯にクリークと呼ばれる水路網の發達が著しい。
- 19. 蘇州 20. 無錫 共に養蠶・機業の中心地で、附近に名勝が多い。
- 21. 南京 舊都の地で、現に新支那の國民政府の所在地である。古來文雅の地として名高い。對岸の浦口は津浦線の終點に當り、浦口との間に鐵道連絡船を通ずる。
- 22. 杭州 大運河の終點に位し、勝地多く、絹織物を産する。
- 23. 寧波 昔時我が國との交通の要地であつた。(遣唐使の上陸地)
- 24. 蕪湖 25. 安慶 共に米の集散が多い。
- 26. 九江 茶の集散が行はれ、附近の廬山は有名な避暑地である。
- 27. 漢口 揚子江と漢江との會點に位し、水運に恵まれ、また鐵道の會點に當る。市は揚子江中流第一の貿易港で、又紡織・製油等の工業も盛である。
- 28. 漢陽 製鐵所があり、大冶の鐵と萍鄉の石炭とを用ひる。
- 29. 武昌 政治の中心で、紡績業も行はれる。
- 30. 長沙 粵漢線の要驛。
- 31. 沙市 32. 宜昌 共に江岸の商港である。
- 33. 重慶 四川盆地の門戸に當る港市である。
- 34. 成都 絹織物・生絲を集散する。
- (3) 南支那—大部分南嶺以南の地域で、珠江が流れる。福建・廣西・廣東・雲南・貴州の五省に分れた所である。
- 35. 福州 茶の輸出が多い。



- 36. <sup>アモイ</sup>廈門 37. <sup>スリトウ</sup>汕頭 砂糖を集散し、共に海外出稼人の出發地として知られる。
- 38. 廣東 珠江の三角洲上に發達した南支最大の商工都市で、生絲・絹織物等を集散する。
- 39. 梧州 40. 南寧 共に珠江流域地方の中心都邑。
- 41. 昆明(雲南) 雲貴高原上に位する中心都市で、佛印との間に鐵道を通ずる。
- 42. <sup>ケイシウ</sup>瓊州 海南島の主邑である。
- イ. 香港(英領) 廣東灣口の小島で、對岸の九龍半島と共に英領で、且つその附近を租借してゐる。英國の支那に對する經濟的策源地で又東洋艦隊の根據地である。港市をヴィクトリヤといふ。
- ロ. <sup>マカオ</sup>澳門 ポルトガルの領土。
- ハ. 廣州灣 フランスの租借地。

【註】地圖の番號を見て、その都市の名を云ひ當てゝ見よ。

蒙古地方と新疆省

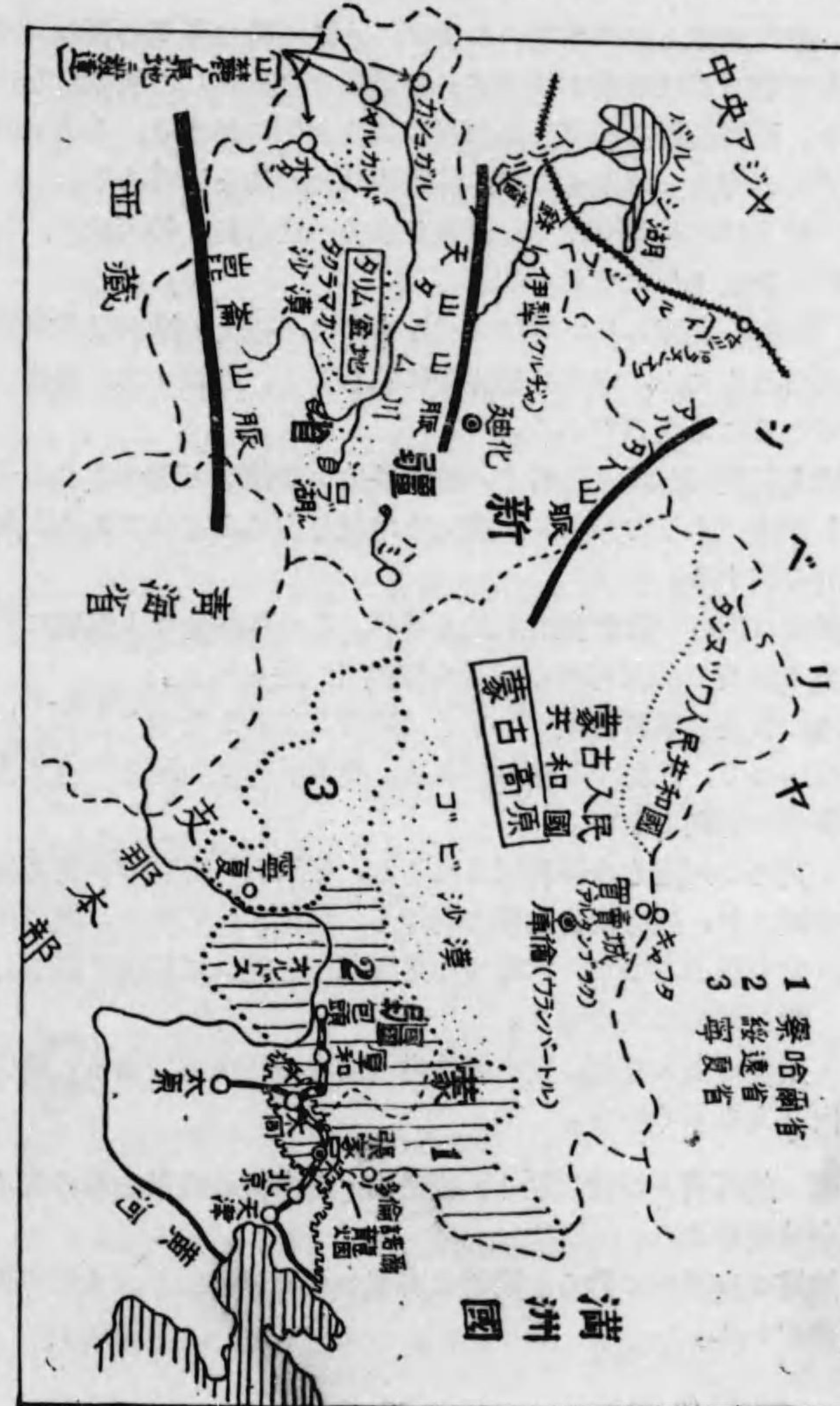
(1) 蒙古高原は高度1000米以上に達し、コビ沙漠によつて内外兩蒙古に分けられる。

(2) 蒙古高原の周邊にはサヤン・アルタイ・陰山・興安嶺等の山地がある。氣候は一般に大陸性で、寒暑の差が大、寡雨である。しかし滿洲國・支那本部に接した東南部の地域の氣候は比較的溫和である。

(3) 内モンゴは察哈爾・綏遠・寧夏の三省に分れた地域で、現時前二者と山西省の北部(圖上二重の長城線で囲まれた部分)と共に蒙疆地區を構成してゐる。

外モンゴには蒙古人民共和國があり、北部にはタンヌツワ人民共和國なるものもある。

【蒙疆地區】……察哈爾省・綏遠省・山西省の北部。





(イ) 蒙疆地區と支那本部との境は、大體に於て萬里の長城に據つてゐる。蒙古聯合自治政府が樹立されて徳王を主席とし、張家口を首都としてゐる。蒙疆政權の萌芽は滿洲國の獨立と共に始まり、今次支那事變によつてその完成を見たもので、防共親日を國是としてゐる。

(ロ) 總人口は約 550 萬で、漢族が多く、蒙古族は 40 萬位で、主に草原地帯に包を家として生活する。

(ハ) 蒙疆の資源として注目すべきものは、石炭・鐵が殆ど無盡藏に埋藏されてゐること、羊皮其他畜産に富むこと、麥類・米・粟等の農産物も若干あることなどである。

石炭は大同炭田が最も著名で、埋藏量は 120 億噸と稱せられ、大同の西方から西南にかけて分布し、廣大な地域を占めるものである。其他にも炭坑が存在する。

鐵は張家口附近の龍烟鐵山が最も著れ、その埋藏量は 1 億噸に及ぶ。品質優良な鑛石で北京郊外の石景山製鐵所へ送られる。

この地の牧畜は重要産業で、羊毛は重要な商品となつてゐる。しかし毛質が悪いので、改良する餘地がある。農業は南部の地方で行はれるが、氣候的條件は有利でない。

(ニ) 黄河の河運も多少利用されるが、從來馬・駱駝等が交通機關として重要視され、近時は自動車の利用も一般化されて來た。鐵道には北京に起る京包線があつて、本地域の重要都市を連ねて包頭に終つてゐる。

(ホ) 主な都邑は次の通り。

**張家口** 蒙疆地區の首都、蒙古聯合自治政府の所在地である。取引が盛んで、内地人も多く住む。

**多倫諾爾** ドロノル 熱河省との境に近く、畜産物・農産物の集散が行はれる。壯大な喇嘛廟がある。

**大同** 鐵道の交叉點に當る。附近に石炭の産出が夥しく、また有名な大同石佛がある。

**厚和** 京包線に沿ひ、天津・北京からの交通が頻繁で、隊商貿易が盛である。壯大な喇嘛教の寺院がある。

**包頭** 京包線の終點に當り、農畜産物の集散が盛である。

(4) 外蒙古は 1921 年支那より獨立して共和制を布いたが、1924 年の革命でソヴェート制を布き蒙古人民共和國と改稱した。従つてその政治機構はソ聯邦を模してゐる。大部分が沙漠性の土地で、住民は遊牧を主としてゐるが、近年農業や工業方面にも稍、見るべきものを生じ貿易は殆どソ聯が獨占してゐる。交通は自動車を主とし、航空路も發達してゐる。

**ウランバートル** ウーロン (庫倫) 蒙古人民共和國の首府で、政治・宗教・商業の中心地で、また交通の要地に當る。喇嘛教の大寺院がある。

**アルタンブラツク** マイマイテン (買賣城) 國境の開市場で、ソ聯邦との取引が盛である。ウランバートルに自動車路を通ずる。外蒙古の北境にあるタンヌツツ人民共和國は一行政區をなしてゐる。

(5) 新疆省はアルタイ山脈と崑崙山脈とに挟まれる地域で、中央に天山山脈が走つて天山北路と天山南路とを分ける。南路はタリム盆地で、タクラマカン沙漠がある。内陸川のタリム川は鹹湖ロブ湖に注入する。耕地は山麓と河邊の泉地にあるのみ。都邑もすべてかかる位置に發達してゐることを圖によつて觀察せよ。

古は西域といはれ、文化が進んで、史上の遺跡に富む。住民はトルコ族で回教を奉じ、農牧に従ひ、葡萄・瓜・羊・駱駝等を産し、又金・銅・岩鹽等の鑛産がある。もと英・蘇の勢力が及んでゐたが、中央アジャにトルクシブ鐵道が建設されて以來ソ聯の勢力の獨占する處となつた。

**迪化** テキクワ 北路にあつて、新疆省の首府である。

**ホタン** (和蘭) 南路第一の都邑である。

**カシガル・ヤルカンド** 共に南路の隊商貿易の中心地である。

**ハミ** (哈密) 南・北路の分岐點にあり、隊商路の要地に當る。

**イリ** (伊犁) イリ川に沿ひ、泉地をなし、農産がある。



## 【練習問題】

- (1) 蒙古地方の地勢はどのやうなものか。
- (2) 天山北路・天山南路とは何か。
- (3) 新疆省に於ては、都邑は如何なる位置に發達してゐるか調べて見よ。
- (4) 蒙疆地區とは何處か。同地域の産物は何か。
- (5) 外蒙古には如何なる政治が行はれてゐるか。

## 【問題】

- (1) 新疆地方の地理を述べよ。(廣高師)
- (2) 蒙疆地區の重要な資源について述べよ。
- (3) ゴビ沙漠 (三高)

## 西藏・青海省・西康省

(1) 西藏は崑崙・ヒマラヤ兩山系の間介在する世界最高の高原である。高原の高さは4000米、この高い高原の上に猶1000乃至1500米以上の



高い山地が幾つも空際高く聳えてゐる。圖にも記載したやうに、高原上には數多の鹹湖が散在し、内陸川も流れる。高原の南にはサンポー川が流れてインドに入りブラマプトラ川となつてゐる。

氣候は極端な大陸性で、晝と夜との氣温の差が甚だ大で、日中は炎熱焼くが如き有様でも、夜間には氣温が急に降下して結氷することもある。従つて荒涼寂寞たる土地が大部を占めてゐる。

住民は西藏族で、喇嘛教を奉じ、天幕生活をなすものが多く、主として犂牛・羊の牧養に従事し、河邊の低地には小麦・大麦等の農作も營まれる。またこの地方には重要な礦物資源があるとも推測されてゐる。

西藏は山岳重疊たる支那西部高地の奥にある大高原で、支那中樞部との間の交通は極めて困難である。一方南隣の印度との間の交通路は同じく嶮阻であつても距離が短い。従つて早くより印度方面よりの英國の勢力が浸潤し、西藏は英國の援助の下に半獨立の形にある。

首府拉薩はサンポー川の流に程近く、西藏の支配者たる達賴喇嘛の莊嚴な宮殿が高く聳えてゐる。そして市民の大半は僧侶である。

亞東は印度との貿易が行はれる開市場である。

(2) 青海省は圖に示したやうに、揚子江・黄河の水源地である。3000米の高原をなし、青海を始め數多の鹹湖があり、内陸川が流れる。青海は支那第一の大湖で、海拔3500米、排水口はなく紺碧の水を湛へる。西藏人・蒙古人が多く、牧畜が盛で羊氈の産が多い。また農業も多少行はれてゐる。省の東境に近い西寧が首都である。

(3) 西康省は支那本部の19省の中に含まれるが、西藏との關係が深いからこゝに述べることにする。この地は西藏高原の東斜面を占め、山岳重疊たる地域である。氣候は大陸性で、人口稀薄、達賴喇嘛の勢力下に屬する。揚子江上流に沿ふ巴塘が首都である。

## 【練習問題】

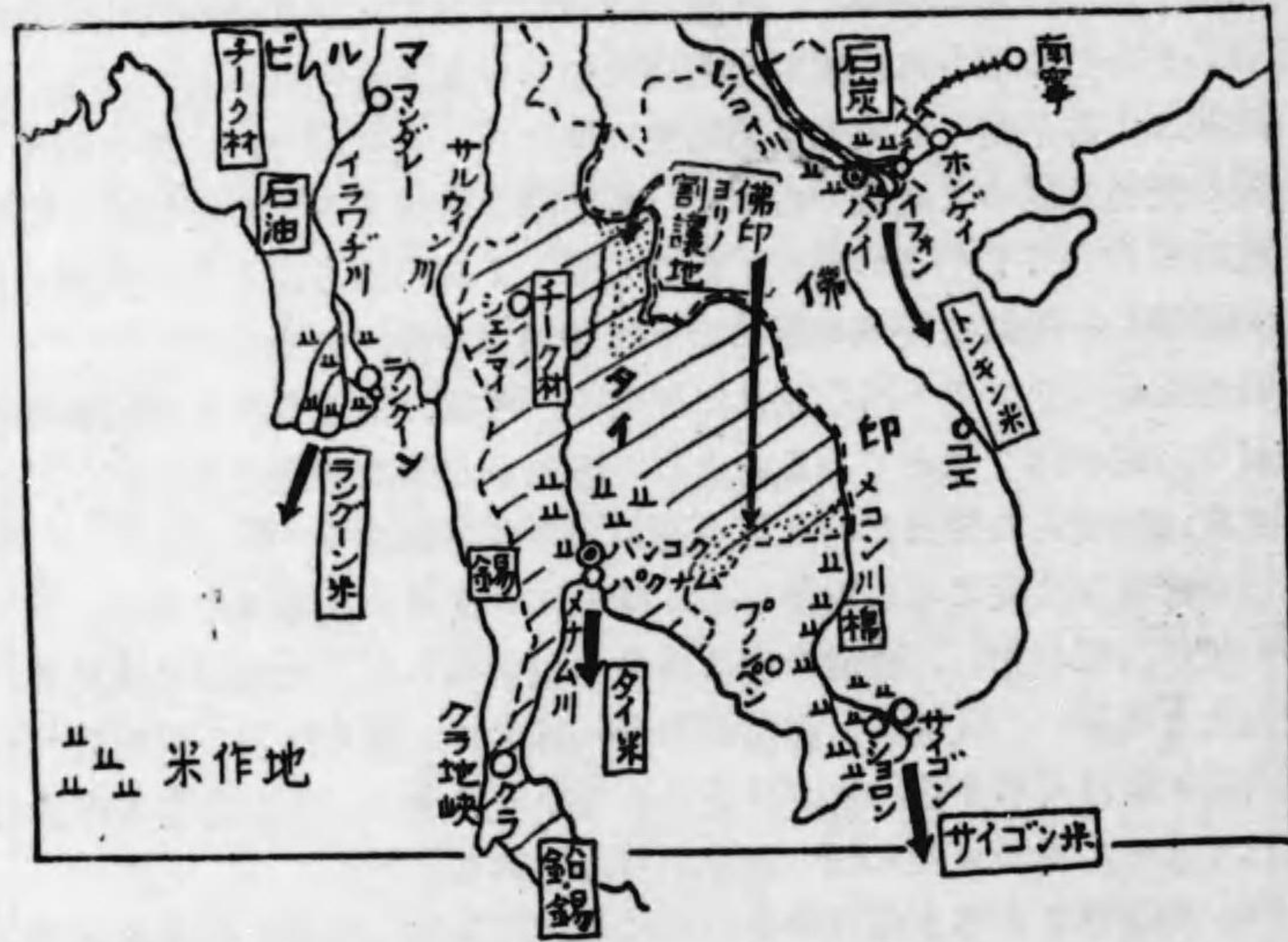
- (1) 西藏高原とは何んな所か。



- (2) 達頼喇嘛とは何か。
- (3) 西藏に英國の勢力が侵入するに至つたのは何故か。

印度支那

(1) 印度支那半島は南支那海とベンガル灣との間に突出する大半島でチベット高原から延びる印度支那山系はこの地に於て掌狀に擴がり、一脈は南方に延びてマレー半島に及んでゐる。山間にはソンコイ・メコン



メナム・サルウイン・イラワチの諸川が流れ、各下流域には廣い豊饒な平野を展開せしめてゐる。

- (2) この地の氣候は大體熱帶性で、雨季(夏)と乾季(冬)とに分れる。雨量が西部に多いのは、西南季節風の影響による。
- (3) 各河川下流の沃野は氣候の暖濕と相俟つて、農産特に米の産が夥

しい。アジャの季節風帶諸所に大米産地はあるが、産米に餘剰を來し他國へ輸出する能力があるのは、印度支那の諸地域だけである事に注意し度い。圖に於て各河川下流の米作地に注意し、河口に發達した港から米が輸出される有様を見よ。次にビルマやタイの北方山地にチーク材が出る。チーク材は船材として用ひられる場合が多い。

ゴムは南方の英領マレーや蘭印が大産地であるが、佛印・タイ・ビルマ地方にも相當のゴムの産がある。

鑛産としては、佛印の北境に近いホンゲイ炭田に注目する。この附近一帯は良質の石炭の産地で、我が國へ多量に供給される關係上特に重要である。其他各地共種々の埋藏資源があるが、その調査開發が遅れてゐるものが少くない。ビルマではイラワチ川に近く油田があることを見て置く。

(4) この地域には佛領印度支那と英領ビルマとの間に挟まれてタイ王國があり、その領土は南方マレー半島の方へも延びる。タイは緩衝國の適例であることに注意して見る。アジャの小國ではあるが、かゝる立場にあつて、英佛兩勢力が對抗してゐたため今日まで存續して來た。しかし國境部分の土地は英佛兩國に大分蠶食されて來た。近時タイ・佛印間に紛争が起り戰鬪にまで發展したが、我が國の調停によつて事件は落着し、タイ國は最近に於て佛印に奪はれた地域の恢復に成功した(圖参照)。

佛領印度支那が交趾支那の領地とトンキン・アンナン・カンボヂヤ・ラオスの四保護地から成ることは詳しい地圖で見よ。

ビルマはもと印度の一部として統治されて來たが、近時一つの英植民地となつた。

次にクラ地峽について述べる。マレー半島の最もくびれた所がクラ地峽である。こゝはタイ領で、この地形を利用して運河が掘られたならば、半島の尖端に位するシンガポールの交通・商業特に軍事上の價値はどうなるだらうと古くから心配してゐるのは英國である。タイが日本と親善



を重ねて行くのを見て惱む英國の心配の種はこゝにもあるかも知れぬ。

(5) 主な都會について。

【佛領印度支那】

ハノイ(河内) 總督の駐在地で、支那の昆明へ滇越鐵道を通ずる。

ハイフォン(海防) ハノイの外港で、米の積出しが盛である。

ホンゲイ(鴻基) 良質の石炭の産地で、我が國へ輸出される。

ユエ(順化) 安南の王城地。

サイゴン(西貢) 交趾支那の首都で、メコン川の沃野を控へ附近のシ  
ョロンと共に米の集散が行はれ、壯大な精米所が多い。

プノンペン カンボヂヤの首都。

【タイ】(泰)

バンコク(盤谷) 首府で、メナム川の下流に位し、王宮を始め壯麗な  
寺院が多い。

バクナム メナム河口に位するバンコクの外港で、米・チーク材の輸  
出が盛である。

シエンマイ 西北の山地にあり、チーク材の集散が行はれる。

【ビルマ】

ラングーン(蘭貢) イラワヂ河口の首府で、米の集散が盛である。

マンダレー ビルマの舊都で、大寺院がある。

【練習問題】

- (1) 印度支那半島に於ける山地と平野・河川の分布状態はどうか。
- (2) 印度支那の氣候上の特色は如何。
- (3) ホンゲイ炭田はどこにあつて、どういふ意味で重要か。
- (4) 印度支那に於ける最も重要な農産物は何か。
- (5) チークとは何か。どんな用途があるか。どこに産出するか。
- (6) 緩衝國とは何んなものか。
- (7) 日本と佛印、日本とタイ國の關係を考へて見よ。

【問題】

- (1) 印度支那の氣候・産業・領有者を問ふ。(海機)
- (2) 佛領印度支那について記せ。(専檢)
- (3) シヤム(タイ)の國情を問ふ。(専檢)

マレーの山系圖とジャヴァ島の火山分布圖

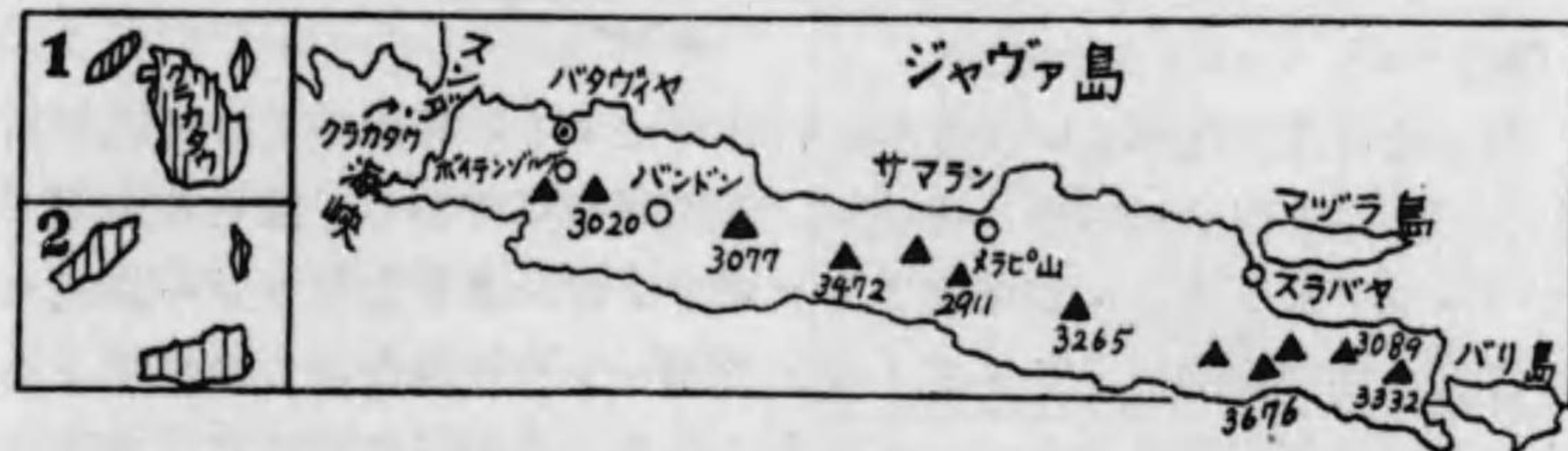
(1) アジャの地勢圖にも示したやうに、マレー諸島は大陸から續く山  
脈の頂點が海面上に現はれて、多數の島を作つたものである。諸島と印  
度支那山脈との關係、各



諸島の山地が幾重もの弧を描いてゐる姿を、この圖から讀み取つて貰ひ度  
い。

(2) アジャの東部の諸島には火山活動が盛である。これ等の島々は、太  
平洋を取圍む環太平洋火山帶に含まれてゐて、多  
くの火山を噴起せしめ、

また地震も頻發する。マレー方面でもフィリッピン・スマトラ・セレベ  
ス等何れも多數の火山をもつてゐるが、最も著しいのはジャヴァ島であ





る。ジャヴァ島の火山分布圖には、主なもののみを記載したが、火山の總數は100以上に及ぶ。甚だ高い火山が多いことに注目して欲しい。

(3) ジャヴァ島の西、スマトラ島との間のスダ海峡、そこに小さな火山島クラカタウ(クラカトア)がある。クラカタウ島は明治16年(1883年)8月27日大破裂をなし、同島の半ば程を破碎し、一方に於て大津浪を起した。爆音はインドに於ても聴くことが出来、津浪の餘波はフランス海岸にまで達し、爆發に際して昇騰した微細な火山灰は、大氣の遙か上層に迄飛揚し、これが上層の風に乗つて全世界に及んだ。この灰塵は各地に於て異常な夕焼・朝焼を起し、之が數ヶ月の久しき間繼續した。我國に於ても暫くの間太陽の光が銅色に鈍つたといふ。かくの如く一小火山島(面積15方軒)の活動は、世界的の衝動を生ずるに至つたが、島の附近に於ける人畜の被害は勿論甚大なるものがあつた。圖についてクラカタウの位置と、別圖に於けるクラカタウ島の爆發前(1)と爆發後(2)の平面形の著しい變化を觀察して欲しい。

【練習問題】

- (1) 日本列島とマレー諸島とは、地體構造上似た點があるか。
- (2) クラカタウ島は何故著名であるか。

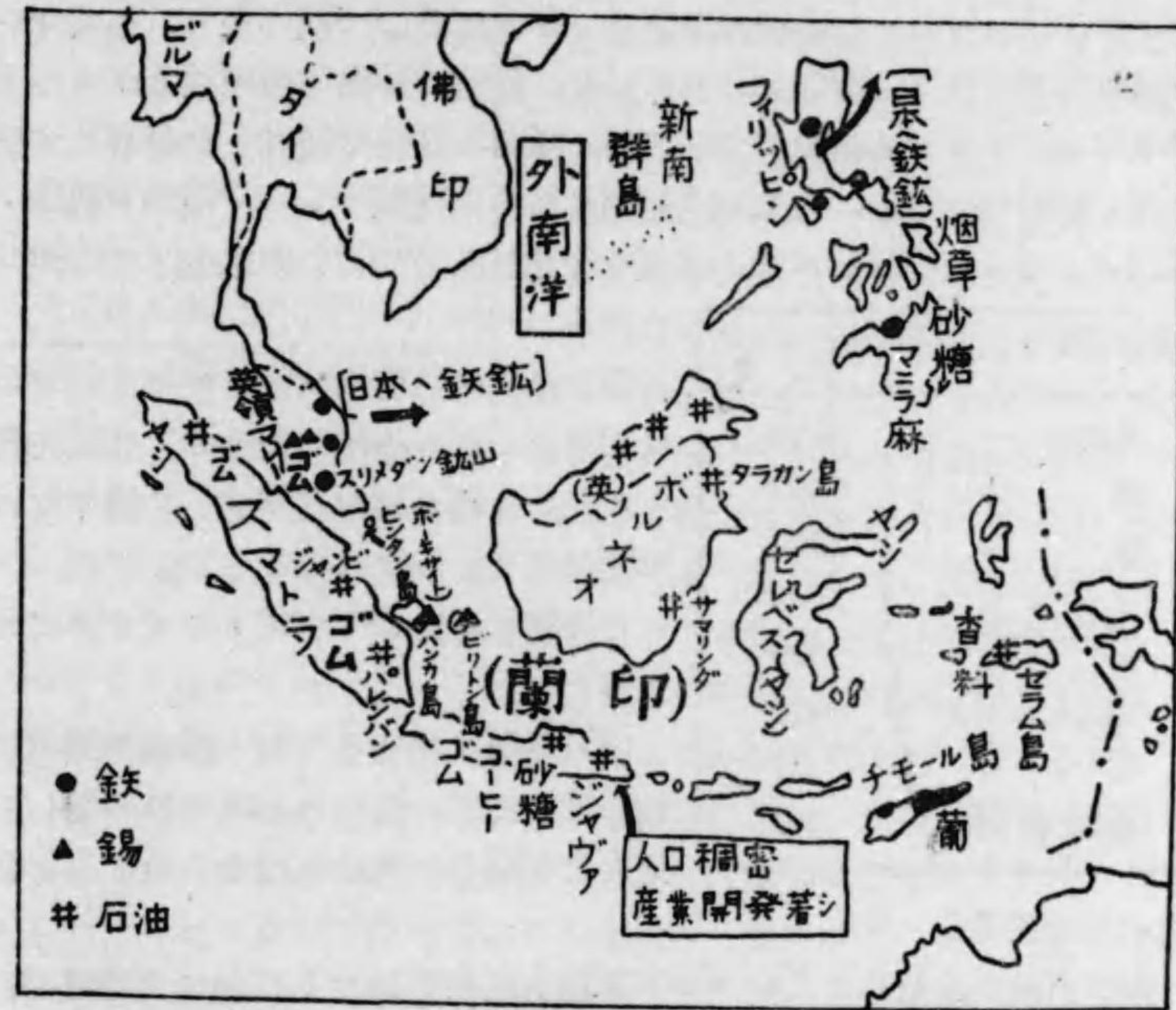
【問題】

- (1) マレー諸島の地勢について記せ。(東高師)
- (2) ジャヴァ島の地勢について述べよ。

英領マレーとマレー諸島の産業圖

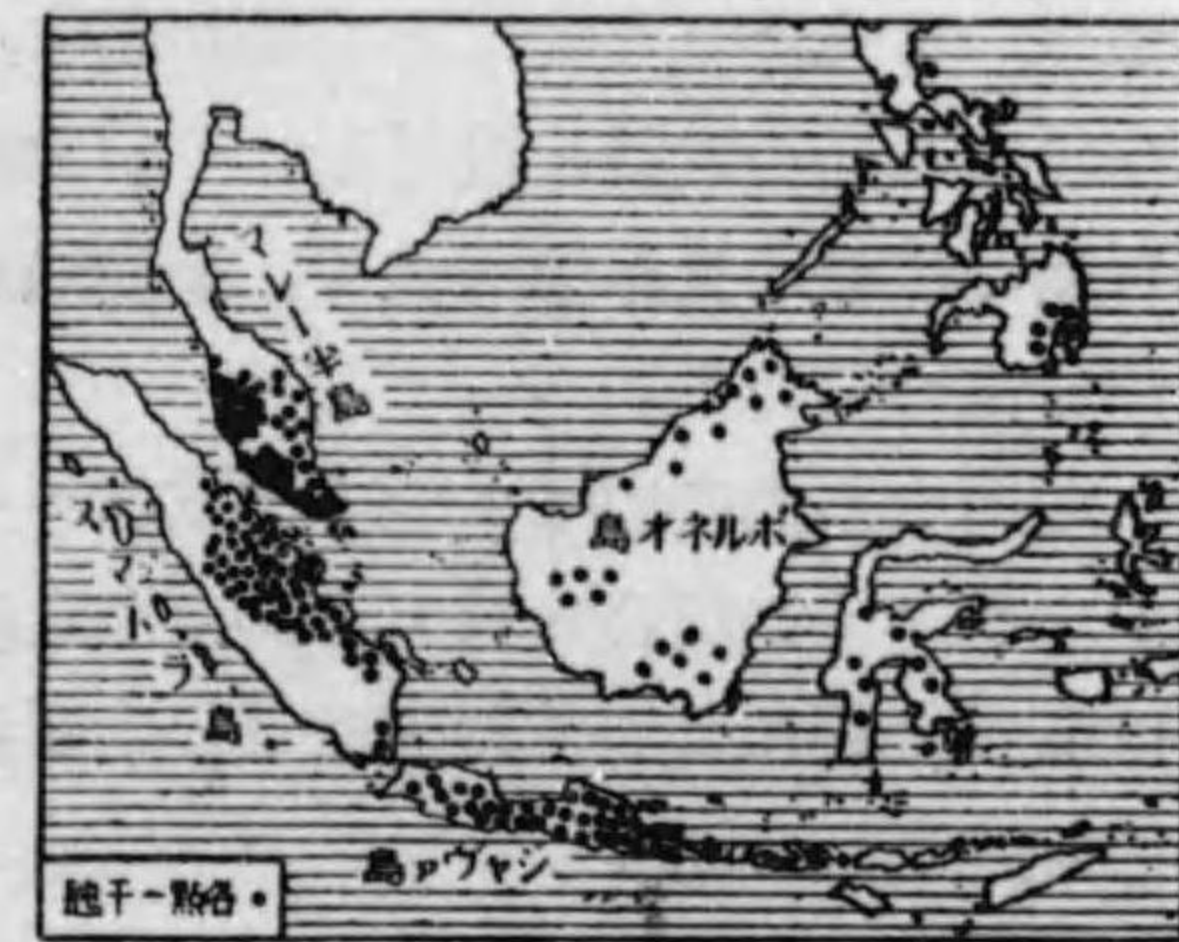
【附】マレーのゴム分布圖

(1) 我我は外南洋といふ言葉を時々耳にする。外南洋とは何處を指すか。この圖に現はれてゐる地域が、大體外南洋である。即ち外南洋とはスマトラ・ボルネオ・ジャヴァ・フィリツピン等を含むマレー諸島と印度支那半島(佛印・タイ・ビルマ・英領マレーを含む)との總稱である。我が新領土新南群島もその中に包含される。外南洋に對して、内南洋は



我が南洋群島附近を指すのである。たゞ南洋といへば、内外兩南洋のこととなる譯である。

(2) この地域は赤道の南北に互り、一般に高温で多雨の氣候が産業を特色づけてゐることに注意する。勿論米も出来るが、この地方は印度支那各地と違つて自給自足も出来ないで、印度支那から輸入してゐる。栽培業が盛で、椰子・ゴム・甘蔗・マニラ麻等があり、



〔ゴムの分布〕



ジャバはコーヒーの大産地である。ゴムはその産額に於て、英領マレーが世界第一位で、蘭印がこれにつき、其他の外南洋諸地域もゴムの多産地に屬する。ゴム産地については、挿圖と最近の統計とを觀察して見よう。統計によると、大東亞共榮圏に屬する英領マレー・蘭印・佛印・英領ボルネオ・タイ・ビルマの産額を合計したものは、世界總計の約80%

英領マレー	6,383
蘭 印	6,300
佛 印	1,100
セイロン	1,033
タイ國	700
英領ボルネオ	617
ビルマ	117
南米諸國	267

となる。嘗ての主産地南米(マレー地方のゴムはブラジルから移植したもの)は現在僅かに世界産額の14%を産するに過ぎない事實に注意しなければならぬ。甘蔗糖の産はジャバ・フィリツピンに夥しい。(3) 英領マレーとマレー諸島の鑛山は極めて重要で、特に日本はそれに對して重大なる關心を拂はねばならぬことを記憶すべきである。

先づ石油から始めよう。マレー諸島は東亞に於ける石油の大産地である。世界に於ける石油産額の最近の統計につき、百分比で表はしたものを觀て、この地域の石油の價值を檢討しよう。本地域の石油の産額は世界第五位で、全産額の3・2%を占めてゐる。

蘭印の石油産額はスマトラ6ボルネオ3ジャバ1の割合と見てよい。主な油田の位置は地圖によつて觀察せよ。主要油田の産額は別表の通り。

英領マレーは錫の大産地で、世界産額の

米 國	63.7%
ソ 聯	10.5
ヴェネズエラ	8.7
イ ラ ン	3.6
マレー諸島	3.2
メキシコ	2.0
ルーマニヤ	2.0
其 他	7.3

パレンバン	3,125,035 吨
ジャンビ	1,211,270
東部ボルネオ	956,691
ジャバ	840,950
タラカン島	683,686

三分一を占めてゐる。勿論世界第一位である。マレー諸島ではスマトラ島の東方にあるバンカ・ピリトン島が主産地で、蘭印の錫産額は世界第二位となる。

次に鐵鑛について述べる。鐵は、錫や石油の場合と異つて世界の大産地とはいへない。本地域の鐵の産は世界總産額の

1%にしか當らないが、その大部分が我が國へ供給されてゐる點に重要性がある。英領マレーの東部から南部にかけて鐵山が分布し、特にスリメダン鐵山が著はれてゐる。この地方の鐵山は我が國人が発見し、本邦人の經營になるものもあつて、多量に日本へ送られて、製鐵の原料となる。次はフィリツピンの鐵鑛である。これも現在その産出量の殆んど全部が日本へ輸出されてゐた。これは日本の地理的位置が近接してゐるため、鐵鑛運搬に要する費用が低廉であることが有利に働いてゐたのである。ジャバ其他にも鐵坑は存在するであらうが、調査や開發が遅れてゐる。マレー半島の尖端に近いピントン島(蘭領)はボーキサイト(アルミニウムをとる)の産地で、これも日本へ送られたことに注意せよ。

(4) 鑛業を始め、この地域の産業には英米の資本が多額に投ぜられて、我が國人の進出を妨げる場合が尠くない。東亞共榮圏に抱括されるこの地域から、我が國が必要とする資材を充分に且つ圓滑に入手し得るやうにするのが目下の急務である。

【練習問題】

- (1) 内南洋・外南洋とはどこを指すか。
- (2) 英領マレーの産物は何か。
- (3) マレー諸島の主な島の名をあげよ。
- (4) 蘭領東印度の主な産物は何か。
- (5) この地方で石油を産する島はどれか。



(6) 本地方に於て、産業と氣候との關係を見よ。

### 【問題】

- (1) マレー諸島の重要物産を問ふ。(東外語)
- (2) 馬來諸島につき次の諸項を問ふ。(海經)
  - (イ) 主なる島六つ (ロ) 所屬國別 (ハ) 主なる港二つ
  - (ニ) 主なる産物五つ
- (3) 蘭領東印度の産業状態につきて記せ。(高檢)
- (4) フィリッピン諸島の首府・物産・氣候を問ふ。(海兵・海機・專檢)
- (5) 我が國から見て重要なる蘭印の産物は何か。

### マレー諸島に於ける邦人企業分布圖

(1) 過去に於て、日本と印度支那やマレー諸島との關係が深かつた事は歴史が教へる所である。そして我が鎖國政策が彼我の關係を斷絶し、その間に歐米諸國がこの地に手を延ばしてしまつたのである。例として蘭印の石油を擧げて見ると、英蘭系の資本がその60%を、米國系資本がその30%を經營してゐる。此處にも歐米人の石油獨占を察することが出來よう。本邦人は主に農林業方面に投資を行つてゐるに過ぎないが、商業關係に活躍する本邦人は各地に多い。今後吾人は益々各産業に互つて進出し、以て本地域の資源開發に當らねばならぬ。

(2) 圖について本



邦人の活動狀況を見よう。

英領マレー……ゴム栽培と鐵・錫の鑛業。

スマトラ……ゴム・椰子の栽培。

ジャバア……各種産業。ボルネオ……椰子・ゴムの栽培と石油。

フィリッピン……木材事業、ダヴァオを中心とするマニラ麻栽培。

セレベス……ゴム。

其他各地の根據地を中心とする水産業が著しいものである。

(3) 外南洋に於ける本邦人の數は約4萬で内譯は下のやうになる。

フィリッピンに 24,000 (其内ダヴァオ近傍に 15,000), 英領マレーに 7,000, 蘭印に 7,000, 英領ボルネオに 900, タイ國に 500, 佛印に 250 人といふやうな數字を示し、今後我等は益、此の方面に進出しなければならぬ事を悟るのである。

【註】 支那住民の所でも觸れて來たが、外南洋に於ける華僑の進出は極めて目醒しいものがある。華僑總數 800 萬の内 650 萬は南洋に向つてゐる。タイ國に於ける 250 萬、マレー半島の 180 萬、佛印の 38 萬、それに蘭印に於ける 120 萬等がその主なるものである。彼等は此の方面で經濟上の實權を握り、本國に多額の送金を行つてゐる。

### 【練習問題】

- (1) 歴史に現はれてゐるマレー諸島に於ける邦人活躍について考察せよ。
- (2) マレー諸島中、邦人の最も多く居住する島はどれか。
- (3) マレー諸島に於ける列國の勢力について考へよ。
- (4) 外南洋に於ける支那人の活躍について見よ。

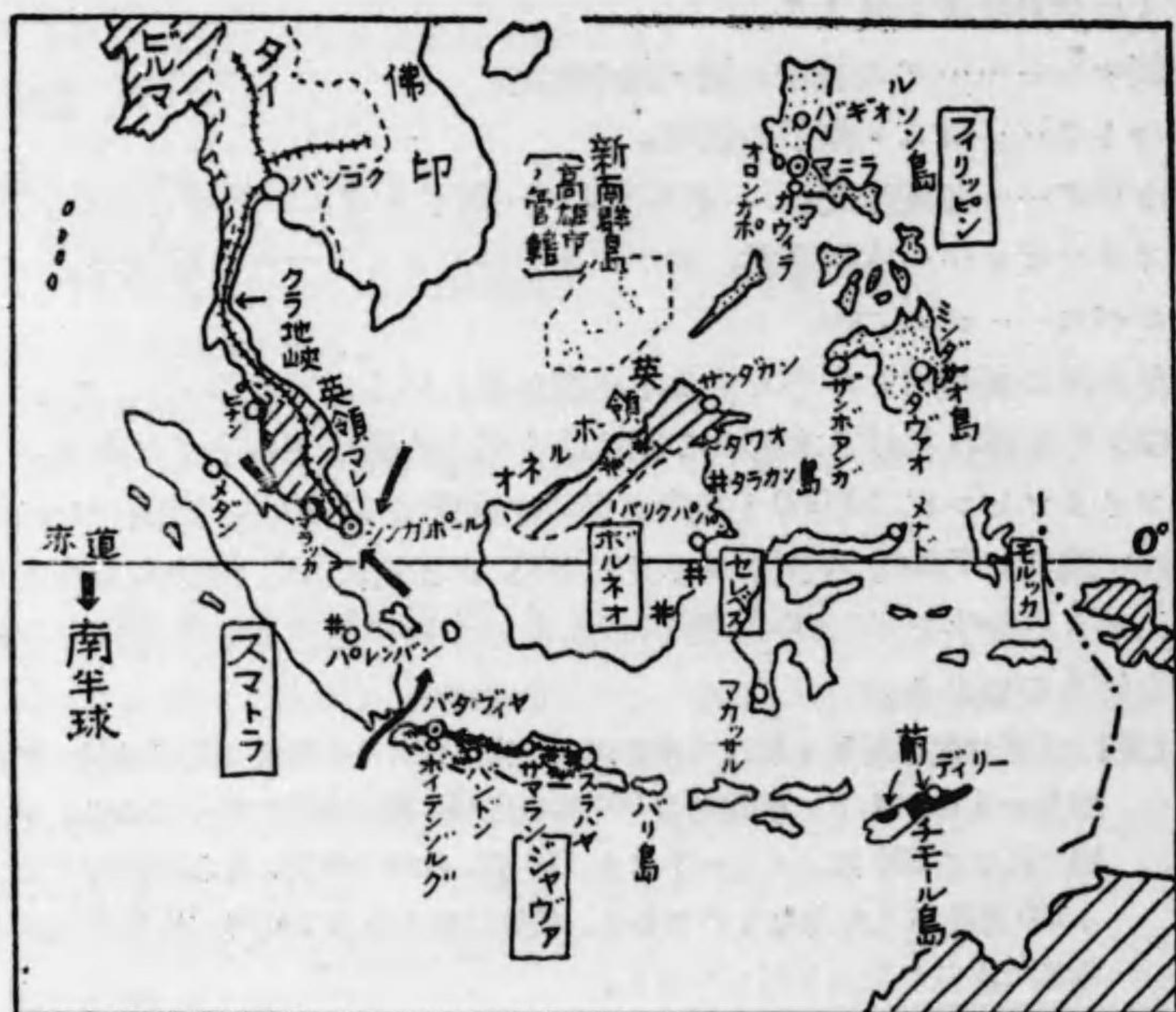
### 【問題】

- (1) マレー諸島と我が國との關係を説明せよ。
- (2) マレー諸島に於ける我が國人の活動と列國の勢力とに就いて述べよ。

### 英領マレーとマレー諸島の政治と都邑圖

(1) 圖に於て、マレー諸島の略、中央を赤道が横斷して、ジャバア島は





南半球にあることに注意する。

(2) フィリピンと佛印との間、海上に散在する珊瑚礁島群から成る新南群島は日本領で臺灣の高雄市の管轄に属し、軍事上の要地、漁業の根據地であり、島には燐礦を産する。

(3) 英領マレーには、シンガポール・マラツカ・ピナン等の重要な小地域を含む海峡植民地があり、他の部分にはマレー聯邦を構成する若干の土侯國と聯邦に加はらない數個の土侯國とがあつて、共に英國の保護を受ける。

**シンガポール** マレー半島の南端の同名の小島上に位し、東亞・印度・南洋三方面の交通の要衝に當り、貿易が甚だ盛である。英國はこゝ

に壯大な軍港を築造して海軍根據地とし、近時兵力を増強し5萬噸の船舶を容れる大浮ドックを用意し、強大な空軍を配置してゐる。市内には諸種族が雜居し、人種博物館の觀がある。

**ピナン** マラツカ海峡の小島で、良港を控へる。

**マラツカ** マラツカ海峡に臨み、昔時繁盛を極めた貿易港であるが、今はシンガポールが之に代つたため衰微した。

**ジョホール州** マレー半島の南端部に位する英國の保護州（土侯國の一つ）で、邦人のゴム栽培に従ふものが多い。

【註】 シンガポールから北上してタイのバンコクへ通ずる鐵道に注意すること  
またシンガポールとクラ地峽との關係についても一考を要する。

(4) 蘭領東印度は本國オランダの60倍に達する。ジャヴァ島が最もよく開け、人口極めて稠密（1方軒に314人）で、圖に示したやうに鐵道もよく發達してゐる。蘭領東印度の領域はオセアニア洲に属するニューギネヤ（パプア）島のオランダ領の部分をも含む。

#### 【ジャヴァ島】

**バタヴィヤ** 蘭領東印度總督府の所在地、重要な貿易港で、蘭印最大の都市である。粗糖・ゴム・コーヒー・煙草等の産物を輸出する。

**ポイテンゾルグ** バタヴィヤの南方、高原上にあり、有名な熱帯植物園がある。氣候が良いので、總督の官邸はこゝに設けられてゐる。

**バンドン** バタヴィヤの東南、高原上にある都市で、近時その發展が著しい。バタヴィヤは暑氣が酷しいので、氣候良好なこの地に總督府の移轉が計畫されてゐる。

**スラバヤ** 東海岸の港市で、砂糖・煙草・規那等の輸出が多い。

**サマラン** 北岸中部の港市で、本邦人の在留するものが多い。

【ボルネオ島】 世界第三の大島で、大部分は蘭領、北部は英領である。英領は北ボルネオの領土とサラワク・ブルネイの兩保護地とに分れる。



- 蘭領 { タラカン島 東北部の海岸にあり、石油の産地として知られる。  
 バリクババン 東岸の中央部にあり、近傍に油田が広い。
- 英領 { サンダカン 北ボルネオの首府で、我汽船の寄航地。  
 タワオ 北ボルネオの東南隅にあつて、附近に邦人の經營する農園が多い。本邦漁業者の根據地の一つである。

## 【スマトラ島】

バレンバン 東南部にあり、石油産地の中心。

メダン 北方海岸にあり、附近はゴムの栽培が盛で、邦人の在留者が多い。

## 【セレベス島】

メナド 東北端に位し、附近に邦人經營の椰子園がある。日本郵船の寄航地。

マカツサル 西南端の良港で、椰子油や高瀬貝を集散する。我が商船の寄航地。

(5) フィリピン諸島は、バシー海峽を隔てて我が臺灣の南方に位し、ルソン・ミンダナオの二大島が主である。もとスペイン領であつたが、米西戦争の結果米領となり、1935年憲法を發布し、聯邦政府が樹立され、大統領の就任を見て、獨立への一步を踏み出した。しかし完全に獨立するのは、10個年の試政期間を経ることになつてゐて、現在では米本國から高等辯務官が派遣されてゐる。

マニラ 首府、ルソン島の西岸の良港で、砂糖・マニラ麻・煙草・コブラを輸出する。太平洋横断航空路の空港で、我が商船が寄港する。北方のバギオは避暑地として名高い。

カヴィテ マニラの西南にある軍港で、附近のオロンガポと共に米國アジャ艦隊の根據地である。

ザンボアンガ ミンダナオ島西端の港市で、在留邦人が多い。

ダヴァオ ミンダナオ島の東南部、附近に本邦人の居住する者が甚だ

多く、マニラ麻の栽培や、ラワン材の伐採に従事する。

(6) ポルトガルはチモール島の一部を領有する。首府がデイリーで、この地と我が南洋群島のパラオとの間に試験飛行が行はれた。

## 【練習問題】

- (1) 新南群島について考察せよ。
- (2) 海峽植民地とはどの地域を指すか。
- (3) 英領マレーとはどの地域を含むか。
- (4) シンガポールの位置の重要なことを説明せよ。
- (5) クラ地峽とは何か。
- (6) フィリピン諸島は如何なる統治の下にあるか。

## 【問題】

- (1) マレー諸島中の大島及び、所屬國を問ふ。(東外語)
- (2) 蘭領東印度の主要貿易港を問ふ。(長崎商)
- (3) 次の地名について述べよ。

(イ) バンドン (ロ) カヴィテ (ハ) マカツサル (ニ) オロンガポ  
 (ホ) デイリー (ヘ) タラカン島 (ト) タワオ (チ) ダヴァオ

## シベリヤの地勢鳥瞰圖

(1) シベリヤの南部から東北部にかけて連続する山地がある。圖に示した番號の1はサヤン山脈、2はヤプロノイ、3はスタノヴオイ、4はヴェルホヤンスクの諸山脈である。5は以上の山地から離れてゐるシホタの地壘山脈である。南部の山間にある地溝内に湛へてあるバイカル湖は世界最深湖で、深さ1523米、水は頗る透明である。カムチャツカ半島には高い火山が噴起する。

ヨーロッパとの境に立つウラル山脈は低い山地で、高原状を呈してゐるので、シベリヤ鐵道は樂に越えてゐる。

(2) シベリヤの大部分は廣漠たる平地であるが、圖に示すやうに、イ





エニセイ川の東部は土地がやゝ高いが、イニセイ以西は全く低平な平原である。

(3) シベリヤには大河がある。北流するオビ・イニセイ・レナの諸川と東流する黒龍江(アムール)とは揚子江に次ぐ大河であるが、寒冷な気候の下に永い間凍結するので、短い夏季以外は水運には恵まれてゐない。

【註】 中央アジアの部分も図示したが、これは後の項で説明する。

【練習問題】

- (1) バイカル湖はどういふ特色をせつてゐるか。
- (2) シベリヤの地勢の概要を述べよ。
- (3) シベリヤの河川の特色は何か。

シベリヤの四つの地帯

(1) シベリヤの気候の特色は寒気の峻烈さにある。圖に示したヤナ川流域のヴェルホヤンスクの町の附近が「世界の寒極」などと呼ばれる程寒いことに注意する。この寒さは、前圖に示すやうに、シベリヤの南から東にかけて山地が連亘し、開放されてゐるのは年中殆ど氷に鎖されて

ゐる北極海方面だけである。寒い風は遠慮なく入ってくる。しかしこゝは大陸であるから、夏になれば気温は相當に昇る。ヴェルホヤンスクの一月は $-50^{\circ}\text{C}$ の低温を示すけれども、七月の平均気温は $15^{\circ}\text{C}$ で、相當に温暖となる。この時期には作物も出来る。各地共降水量は少い。



(2) シベリヤは、地勢・気候・植物等の關係から、四つの地帯に區分される。

(イ) 極北の地域は凍地帯(ツンドラ)で、年中殆んど凍結してゐる。夏になると地表に近い部分だけが融解して蘚苔の類や小さな木が生育する。地下はずつと凍り續けてゐて、凍結してゐる部分は地下數十米にも及ぶ。この地帯では土民が馴鹿を飼育し、處によつては舊象マンモスの牙が掘り出される。

(ロ) その次は森林帯(タイガ)で、これは廣い地域を占めることを觀察して貰ふ。針葉樹が生ひ繁つてゐて、木材が得られることは言ふまでもないが、副産物として森林内をうろつく毛皮獸(狼・熊・狐・貂・リス・栗鼠・カワウソ等)が獲れて貴重な毛皮が得られる。毛皮獸の飼養場も所々にある。ヤクーツクは毛皮の取引地である。



(ハ) シベリヤの西南部は**草地帯**である。主にオビ川の上流地域で、農牧が行はれる。こゝにはヨーロッパから延びる肥沃な黒土帯があつてシベリヤの穀倉と呼ばれる。麥類・馬鈴薯・甜菜などの産が多く、その農法は近時大規模となつて機械力を使用してゐる。牧畜としては、牛・羊・馬等の飼養が盛で、羊毛・バター・チーズ・皮革を産する。オムスク・ノヴォシビルスク・トムスクがこの地帯の中心地である。

(ニ) 最後に**高地帯**、これは南部から東北部に亙る山地である。シベリヤのこの地域には**礦物の埋藏**が夥しい。石炭や鐵が豊富に出るし、金も産出する。そして**鑛産地**を中心として各所に大工業地帯が発達してゐる有様を圖について観察して欲しい。鑛工業については次の圖で説明することとする。



(3) 高地帯の沿海地方には**漁場**が発達してゐる。北海道・樺太からカムチャツカ方面は世界三大漁場の一であつて魚族は極めて豊富である。本邦人の出漁する者が多く、北洋漁業と呼ばれてゐる。漁獲物の種類は寒流性の鮭・鱒・鱈・蟹等を主とし、ソ聯の領海を漁場とするから、入札によつて漁區を買取る。この漁業権は日露戦役の結果得たものである。なほ公海中にあつては、母船式の鮭・鱒漁業や蟹漁業が行はれ、直に船中に於て罐詰とされるものが多い。近時ソ聯は我が北洋漁業權益を無視して種々妨害を加へて來た。猶最近日蘇中立條約及び通商條約が成立したが、未だ樂觀することは出来ないであらう。永年の懸案である漁業本條約の締結の實現が

期待される譯である。現在兩國間には暫定的の協定が結ばれてゐるに過ぎないのである。なほ我が捕鯨船はベーリング海峽を通過して北極海にまで進出してゐる。

次に高地帯の延長として北樺太を別圖について観察して見よう。北樺太の東岸には有望な油田(オハ・カタングリ等)が存在し、西海岸にはツエの炭田がある。北樺太の石油と石炭とに對する權益は、我が國が大正九年の尼港事件の代償として獲得したものである。油田開發のために北樺太石油會社、炭田開發のために北樺太鑛業會社が設立された。併しその事業はソ聯側の不誠意と妨害とによつて極めて困難を重ねてゐる。

#### 【練習問題】

- (1) シベリヤは四つの地帯に分けられるが、それは何によつてなすのか。
- (2) シベリヤが酷寒なのは何故か。
- (3) ツンドラとは何であるか。
- (4) 我が國とシベリヤとの關係を考察せよ。
- (5) 黒土帯とは何か。
- (6) シベリヤはロシア本國とは、どういふ關係にあるか。

#### 【問題】

- (1) シベリヤに於ける高地・草地・森林・凍地の四帯につき、地勢・氣候・天産物の差異を述べよ。(廣高師)
- (2) シベリヤ東部地方(北樺太を含む)の富源につき我が國との關係を述べよ。(海兵・海兵)
- (3) シベリヤ近海の水産業について知る所を述べよ。(女專檢)
- (4) シベリヤに於て、産業と氣候との關係について説明せよ。

#### シベリヤの鑛工業圖

(1) シベリヤは従來植民地として經營せられ、農産・水産・林産等が主な産業であつた。然るに近年各地に炭田や鐵山が開發されるに及び、





此の地にも鑛工業が盛大に赴き、炭田を中心とする大工業地帯の續出を見るに至つた。かくてシベリヤの植民的色彩は漸次薄れつゝある。

(2) シベリヤの鑛物資源は全く無盡藏といへる程豊富である。古くからこゝには採金が行はれてゐた。黒龍江の支流ゼーヤ河畔には有名な砂金産地があつて、こゝにゼーヤなる都市が發達してゐる。レナ川上流地方のボダイボも産金地として知られてゐるし、ウラル山中には金の外白金・寶石が出る。

鐵はウラル地方に極めて多量に産し、クズネトスク(クズネツツ)炭田附近や、バイカル湖近傍等に産する。

石炭では、クズネトスク(クズネツツ)炭田が最も著れ、埋藏量3300億噸と稱せられる驚くべく大規模なものである。その他圖に記したやうに各工業地區には炭田が附屬してゐる。

(3) 工業地帯を西から見て行くことにする。先づウラル山地南部のウラル工業地帯は石炭も出るし、鐵の産が特に多い。ウラルの鐵鑛とクズネツツの石炭とを互に供給し合つて、兩地に製鐵・機械製作等各種の大規模な工業が起つてゐる。次にクズネツツ工業地區は世界最大ともいふべき大炭田を控へ鐵産地もあり、またウラル地方より鐵鑛の供給を受け

て工業が勃興してゐる。

バイカル湖附近イルクーツクを中心とする地帯は鐵・石炭の産地を持ち、アンガラ川の水力發電を利用する有利な立場にある。黒龍江の支流プレーヤ川流域にも同様石炭と鐵の産が多く、一工業地區を現出し、更にハバロフスク近傍やバム鐵道の要驛コムソモルスク及びその終點ソフガワニの附近も一工業地區にまで發展してゐる。

#### 【練習問題】

- (1) シベリヤには鑛産が多いか少いか、どんな鑛物が出るか。
- (2) シベリヤの工業の種類と工業の行はれる地區とについて考察せよ。
- (3) クズネツツ炭田はどこにあるか。その埋藏量はどの位か。
- (4) プレーヤ川・ゼーヤ川はどの邊にあるか、その流域の産業は何か。

#### 【問題】

- (1) シベリヤの主な鑛産地を圖示せよ。
- (2) シベリヤの産業について記せ。(陸士)
- (3) シベリヤの略圖を描き、主な鑛産地と工業地帯を記入せよ。

#### シベリヤの交通圖

(1) シベリヤの南部を横斷するシベリヤ鐵道は、亞歐兩大陸間の國際鐵道として重要なものである。シベリヤ鐵道は普通チエリヤビンスクとウラジオストツク間全線を指すものであるが、圖示したやうに各部分異つた名稱をもつてゐる。即ち狹義のシベリヤ鐵道はチエリヤビンスク・イルクーツク間、外バイカル鐵道はイルクーツク・カリムスカヤ・滿洲里間、アムール鐵道はカリムスカヤ・ハバロフスク間、ウスリー鐵道はハバロフスク・ウラジオストツク間となる。

近年バム鐵道が建設中である。これはバイカル地方と黒龍江(アムール)を結ぶもので、バイカル—アムール、簡略してバム鐵道となる。バイカル湖の西方タイシエトを起點として、シベリヤ鐵道の北を迂回し







- 艦其他の小型艦艇を擁し、また空軍の根據地でもある。我が敦賀との間に定期航路が開けてゐるが、冬季は海面が凍結する。
2. **ニコリスク**(ウオロシロフ) 交通の要點。
  3. **ハバロフスク** 軍事、交通の要地で、機械・製油等の工場がある。
  4. **ブラゴエシチエンスク** 黒龍江の河港で、滿洲國の黒河と相對する。附近に金産地が多い。
  5. **コムソモルスク** 黒龍江とバム鐵道との會點に當る要地で、新興の工業都市である。
  6. **ソフガワニ** バム鐵道の終點に當る。
  7. **ニジニアムールスク**(ニコライエスフク、尼港) 黒龍江口に位する漁業の根據地である。
  8. **アレキサンドロフスク** 北樺太の主邑で、附近にツエ炭田を控へる。
  9. **ペトロバウロフスク** カムチャツカ半島の漁港。
  10. **ヴェルホヤンスク** ヤナ川流域の都邑で、附近はシベリヤに於ける酷寒地として名高い。
  11. **ヤクーツク** レナ川中流、ヤクーツク共和國の主邑で、毛皮・家畜の取引が行はれる。
  12. **チタ** 毛皮の取引地。
  13. **イルクーツク** バイカル湖に近く位する重要な都市で、附近は鐵・石炭の埋藏豊かで、アンガラ川の水力發電を利用して、附近一帯にアンガラ工業地區が發展してゐる。
  14. **スタリンスク**(クズネトスク) 附近にクズネツツ大炭田を控へ、工業地帯の中心都市である。
  15. **ノヴォシビルスク** 政治上、經濟上の一中心で、近代都市の景觀を具へ、製粉・農具・紡績等の工業も行はれる。
  16. **バルナウル** 鑛業の中心地。

17. **トムスク** 18. **オムスク** シベリヤの穀倉と稱せられる草地帯の中心都邑である。
19. **チエリヤビンスク** シベリヤ鐵道の終點に當る。
20. **オレンブルグ** 中央アジャ鐵道的一端に當る。
21. **スヴェルドロフスク** 22. **ベルム** ウラル山地の鑛業地帯の中心で、クズネツツの石炭を利用して、製鐵其他の大規模な工業が勃興してゐる。

【註】(1) シベリヤは幾つかの自治州と直轄州とに分れ、何れもロシヤ本國に屬してゐる。圖に記したヤクーツクとブリヤトモンゴルは共にシベリヤに存在する自治共和國である。

(2) シベリヤが四つの地帯に分たれ、それぞれ産業を異にしてゐることは前述の通りである。圖に記入した都市が、その何れの地帯に屬するか調べて見よ。

(3) なお本圖には便宜上、中央アジャの部分も記載したが、後述の中央アジャの項に於て参照すること。中央アジャには五つの共和國が存在する。

(4) 本圖の都市の番號順に、都市名を言ひ當てゝ見る練習も必要である。



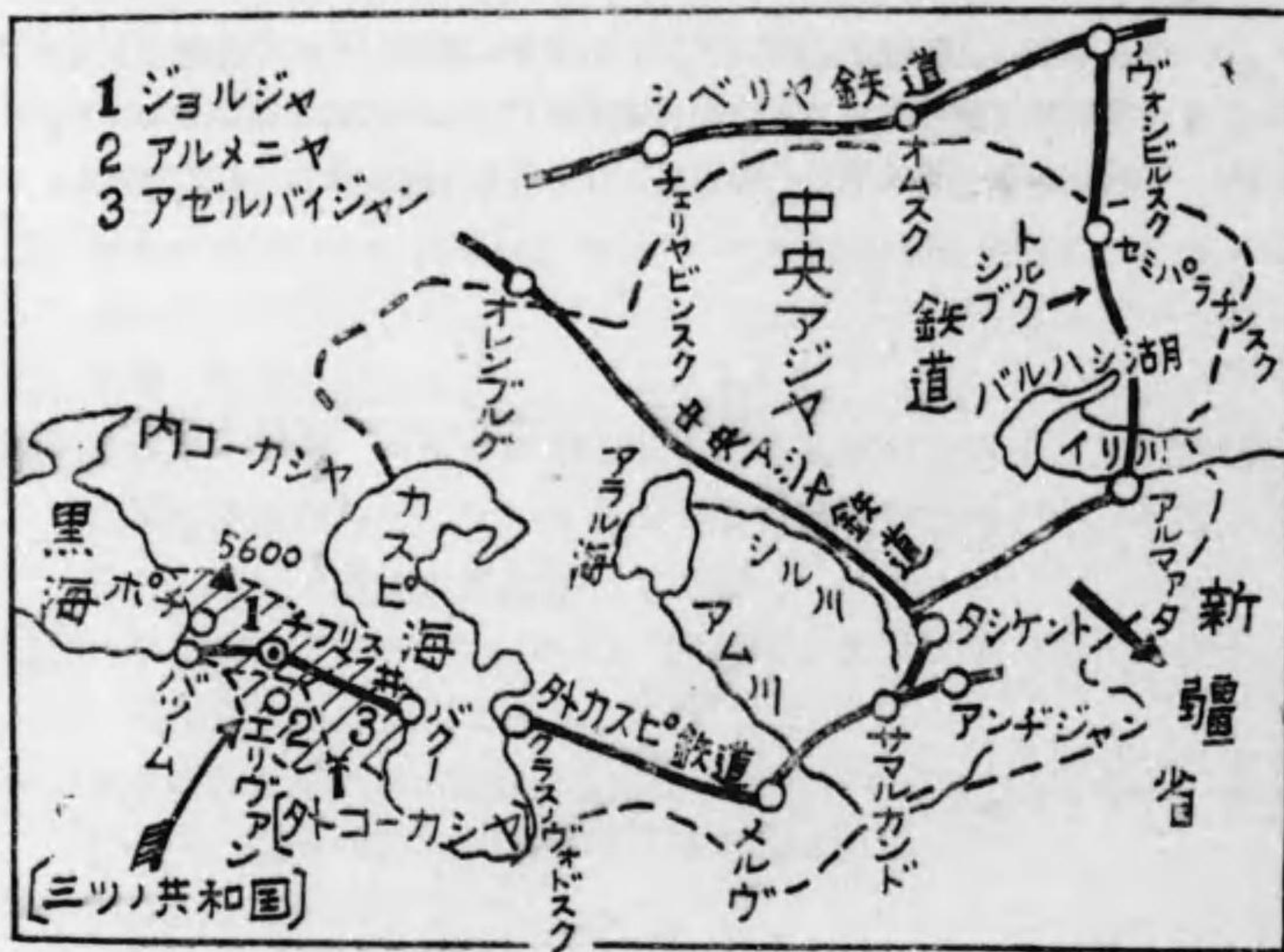
### 第三篇

## 東亞地理以外のアジャ諸地域

### 中央アジアとコーカシヤ

(1) 中央アジアの地勢は、シベリヤと一緒に示して鳥瞰圖を前に掲げてあるから、それを参照して欲しい。

中央アジアの南縁には高い山地がある。世界の屋根と呼ばれるパミル高原もその一隅にある。この山地から西北方に向つて土地は低下し、アム・シル・イリ等の内陸川はこの方向に従つて流れてアラル海・バルハシ湖の鹹湖に注いでゐる。中央アジアの大部分は低地で、カスピ海の沿



- 1 ジョルジア
- 2 アルメニヤ
- 3 アゼルバイジャン

岸には地中海面よりも低い土地もある。

(2) 大陸性の氣候で、乾燥し、沙漠や草地が廣く連る。たゞ所々にある泉地と河邊にのみ、農耕が營まれて穀物・果實・棉花等を産する。又草原には駱駝・牛・馬の遊牧が行はれる。

(3) この地方には五個の共和國（カザツク・キルギス・トルコマン・ウズベク・タジツク）があり、中央アジア・外カスピ・トルクシヤの諸鐵道があり、トルクシヤ鐵道は新疆省との境に近接してゐるため、新疆地方に於けるソ聯の勢力強化に與つて力があつた。

【注】 シベリヤの各圖を参照せよ。

(4) 都市では、タシケント・サマルカント・メルヴ等が重要である。

(5) コーカシヤは、高峻なコーカサス山脈（エルブルズ山, 5600米）によつて、南北の二部に分れる。北部の地方は内コーカシヤと呼ばれ、ロシア共和國の一部で、概ね草原をなしてゐる。山脈以南の地域には三つの共和國（ジョルジア・アルメニヤ・アゼルバイジャン）があつて、農耕と養蠶とが行はれ、又石油の大産地である。バクーは油田の中心地で、原油は送油管によつて黒海岸のバツームに送られる。バクー・チフリス・バツーム間に鐵道が通じてゐる。チフリスは本地域の中心都市である。

【注】 西アジアの地勢鳥瞰圖を参照せよ。

### 【練習問題】

- (1) 中央アジアとコーカシヤの地勢を比較して見よ。
- (2) 中央アジアの主な鐵道をあげて見よ。
- (3) バクーの石油は如何にして輸送されてゐるか。
- (4) 中央アジアの産業の状態はどうか。
- (5) カスピ海は如何にして出来た湖か。

### 【問題】

- (1) トルクシヤ鐵道の政治・軍事上の意義について記せ。
- (2) 中央アジアの住民・産業・交通について説明せよ。



### 印度の地勢鳥瞰圖

(1) 印度は地勢の上から三つの区域に分けられることを観察せよ。即ち北のヒマラヤ山地、南のデカン高原及び中間のヒンドスタン平原である。

(2) ヒマラヤ山脈は世界最大の褶曲山脈で、主脈と南の平原との間には低い前山が横たはる。主脈の中には世界最高のエヴェレスト峯(8882米)が聳えて、

幾度かの人類の挑戦を斥けて来た。このエヴェレストの固有の名はチョモロングマといひ、國の神母の義であるといふ。脈中これに次ぐものはカンチンジャンガ山(8580米)で、それ等の高峯には壯大な氷河が懸つてゐる。カラコルム脈中にはゴツドウインオーステン山(K2峯ともいふ、これは測量番號による名稱)が8620米に達してゐる。ヒマラヤ山脈の背後には世界最高の西藏高原が控へる。

(3) 次が南のデカン高原、これは古い地塊で、一帯の高臺をなし、東西の縁に東ガッツ・西ガッツの低い山脈がある。高原の西北部、ボンベ



イの背後一帯の地域は玄武岩の熔岩臺地で、玄武岩の分解によつて生じた黒土が堆積して、棉花の栽培に適してゐる。(左圖を見よ)

(4) 中間のヒンドスタン平原は、ガンジス・インダス兩河のつくつた大平原で、地味豊沃實に印度の首脳部である。

その西方にはタール沙漠がある。

(5) 河川では、インダス・ガンジスに注目する。チベット高原から流下するブラマプトラ川はカンジス川と合して大きなデルタをつくつて、ベンガル灣に注いでゐる。海岸線は一般に單調で、南のセイロン島は土地が相當に高い。

#### 【練習問題】

- (1) ヒマラヤ山脈の地貌を語れ。
- (2) デカン高原は如何なる臺地であるか。
- (3) ブラマプトラ川はどこから流れ出して來るのか。

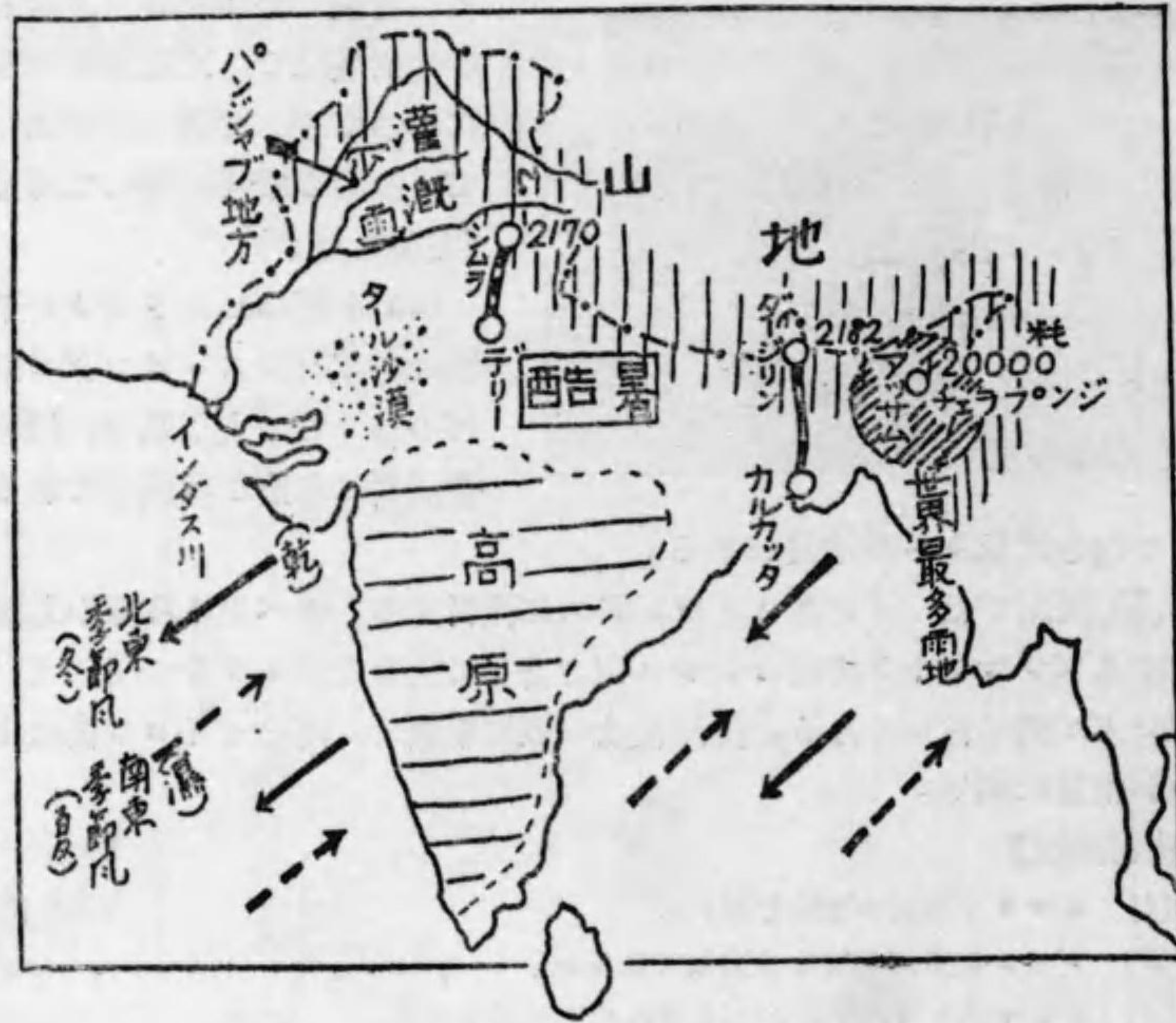
#### 【問題】

- (1) 印度の地勢の特色について述べよ。
- (2) 印度の南北断面圖を作つて、その地勢の大要を説明せよ。

### 印度の氣候圖

(1) 印度は一般に氣温が高く、季節風がよく發達して、雨季(夏)と乾季(冬)の別が明かである。印度の東部のアツサム丘陵地は降雨甚だ多く、同地方のチェラプンジの年降水量は12,000 耗にも達し、實に世界最多雨地である。然し冬になると、半島の東南部以外には雨が少い。





殊に西部は四季共に雨が少く、タル沙漠のやうな土地が出来る。

(2) 印度の氣候は、一口に云へば、高温・多濕であるが、場所によつて大きな相違がある。従つて別圖に示すやうに、この地には人工灌漑が必要となる。デカン高原の中部から東部にかけてもさうだし、特にインダス流域に人工灌漑地が廣い。インダス上流のパンジャブ地方は灌漑の發達によつて始めて小麦の大産地となつたのである。

(3) 各圖について、風向と地勢及び降水量の間の關係を調べて欲しい。印度では冬と夏の季節風の影響が顯著なのであるから。(夏季・冬季の降水量分布圖を見よ)

(4) 印度の低地は實に暑い。土着の印度人にとつては、さしたる苦痛でもあるまいが、こゝに来てゐる英人(彼等は暑熱に甚だしく弱い、元來が北方の民族であるから)にとつては全く地獄の苦しみである。夏になると逸早く彼等はヒマラヤ山腹の避暑地へと逃げ出す。圖に示すやうにデリーに対するシムラ、カルカッタに対するダーズリンがある。避暑地の海拔高度も圖で見えて貰ふ。之等の避暑地の諸設備は完備して居る。一年の約半ばはデリーの印度政廳は空家同然となる。

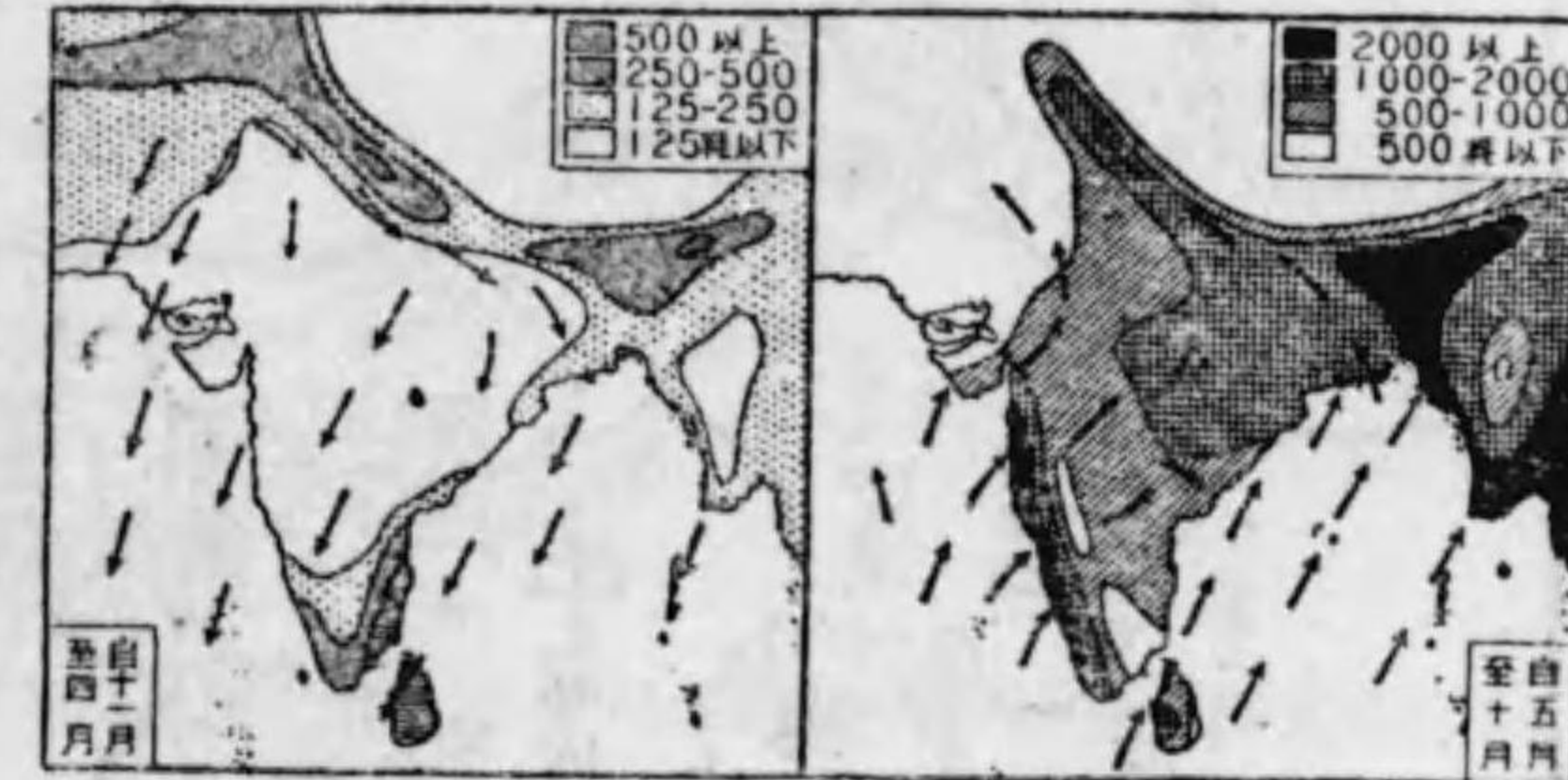


【練習問題】

- (1) 印度の氣候は、一口でいふと何と言つたら宜しいか。
- (2) 印度に於て季節風の影響を観察せよ。
- (3) 印度に於ては、一方に於てアッサム地方のやうな多雨地があり、他方クル沙漠のやうな乾燥地が存在するのは何故か。
- (4) 印度の避暑地はどこにあるか。

【問題】

- (1) 季節風なるものを説明し、それが印度の氣候に及ぼす影響について述べよ。(專檢)

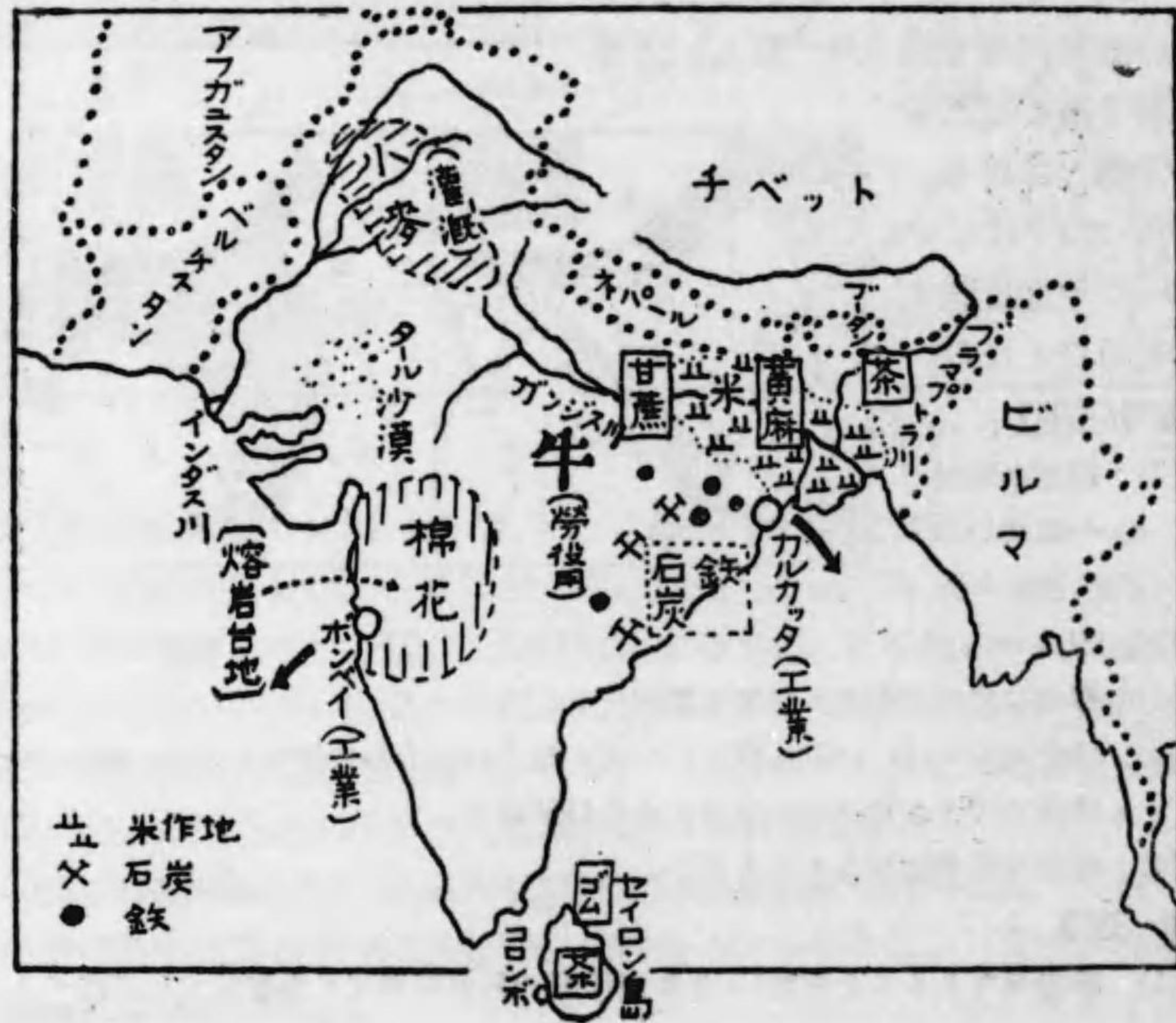




(2) サハラと印度とは略々緯度を等しくせるにも拘らず、前者は大沙漠となり、後者は著名の多雨地となれる理由を説明せよ。(新高)

**印度の産業圖**

(1) 高温多雨であり、降雨の配分宜しきを得ない部分には人工灌漑が発達して、農業は極めて盛大である。住民の70%以上が農民である。ガンジス・ブラマプトラ河流域の沃野には甘蔗・黄麻・茶・米等の産が夥しい。インダス川の流域は乾燥地であるが、人工灌漑の設備が進んで、小麦の大産地となつた。更にデカン高原は米國に次ぐ棉花の大産地であ



る。これは土質との関係が深いことは前項で述べた。(前圖参照) セイロン島には良質の茶の外に、ゴムも多く出る。

(2) 家畜には牛・山羊・水牛等があり、殊に牛の頭数は世界第一であるが、この牛は主として勞役に用ひてゐる。

(3) デカン高原の東北部の鑛産に注意しなければならぬ。そこには石炭と鐵とが多量に出る。

(4) 工業には、綿・黄麻等の纖維工業が発達し、カルカッタ(黄麻工業)とボンベイ(綿工業)とは工業上の二大中心であることに注意する。

**練習問題**

- (1) 印度の重要産物は何か。産業と氣候との関係を見よ。
- (2) デカン高原の西北部が棉花の大産地となつてゐるのは何故か。
- (3) 印度と英本國との貿易上の関係を考察せよ。

**問題**

- (1) 我國から見て重要な印度の産業を説明せよ。(廣高師)
- (2) 日印貿易について記せ。(七高, 海兵)
- (3) 印度の人文地理を説き、それと自然との関係について述べよ。(東高師)

**印度の住民政治圖**

(1) 人口は3億5000萬に達し、支那と共に人類の最大の集團をなしてゐる。ドラヴィダ族は原住民で、マレー人種に屬し、今ではヒンヅ族に追はれて、印度の東南部に居住してゐる。ヒンヅ族は印度の西北方(圖に矢印で示す)から侵入して來たもので、ヨーロッパ人種に屬してゐる。印度の主要部に居住し、住民の大部分を占めてゐる。古代印度文明を建設したのは彼等の祖先である。

(2) ヒンヅ族には階級制度が嚴重である。今日の印度の種姓はその數三千にも及び、ブラーマン(僧族)・クシャトリヤ(士族)・ヴァイシヤ(商工業者)・スードラ(奴隸)の四種姓から分派したものである。その起



原は種族的もの、職業的のもの、宗教的のものなど種々に互つてゐる。この種姓の別は抜くべからざる門閥・階級の制度となり、社會の融和、國民の統一を害し、文化の發達、産業の進歩を阻害することが甚大である。

(3) 印度は英國の直轄植民地で近時聯邦自治法の統治法が制定されて、自治強化への機運に向つてゐる。直轄地は州に分れ、他に約700の大小の土侯國に分れてゐる地域が全土の三分の一を占める。その主なものは圖に示したハイダラバード・カシミル・ラジプタナ等の諸邦で、これ等土侯の中には極めて富裕なものがない。

(4) セイロン島は、印度帝國とは別個の英國の直轄植民地で、總督が駐在する。北方のネパールとブータンの二小國は獨立してゐるが英國の勢力下にある。

【練習問題】

- (1) 印度に古代文明が興つたのは何故か。
- (2) 印度に行はれる宗教は何か。
- (3) 印度の原住民は何か、今日彼等はどの方面に居住してゐるか。



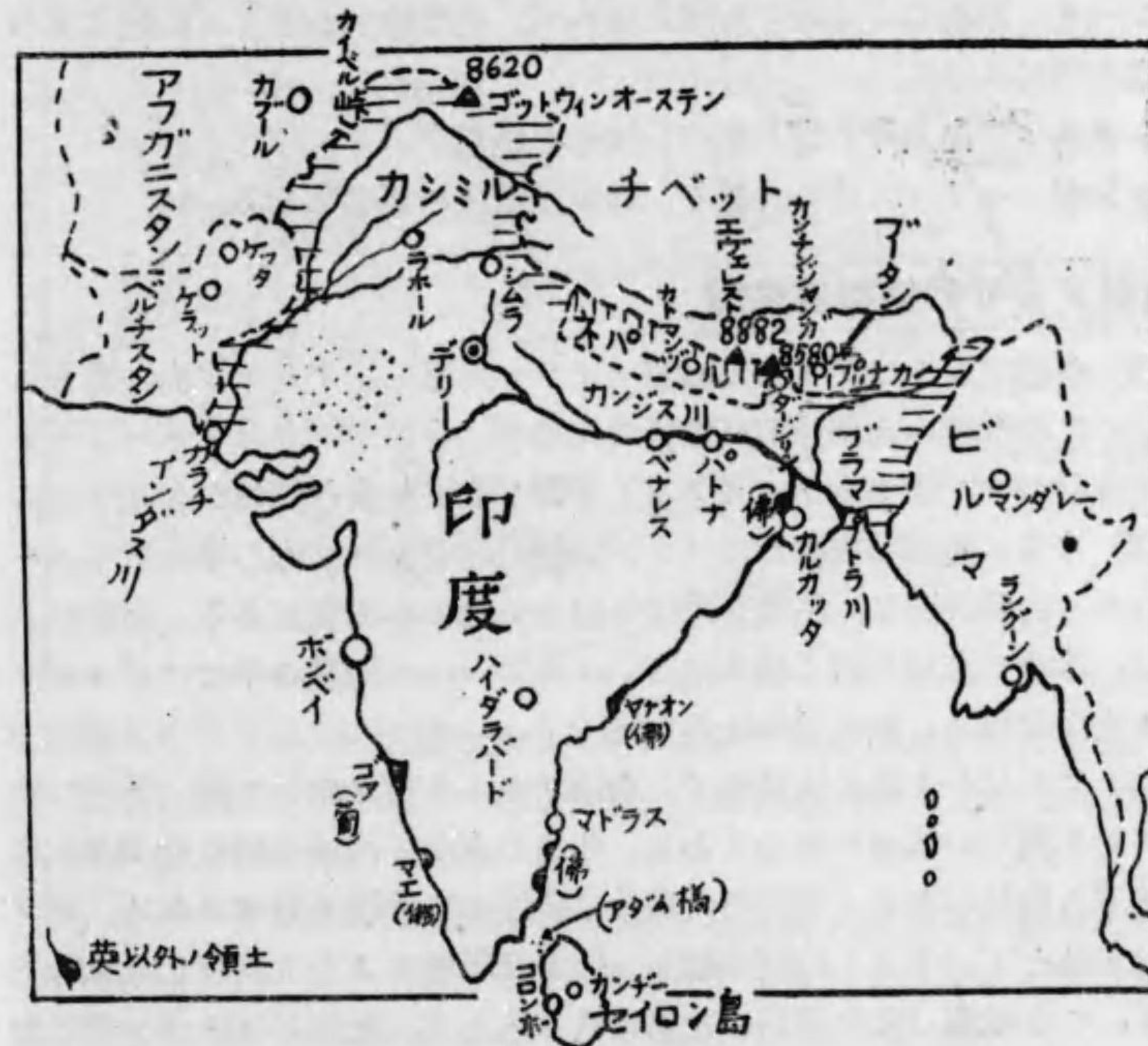
- (4) 印度とセイロン島との政治上の關係如何。
- (5) 種姓とは何か。

【問題】

- (1) 印度の住民の種類を問ふ。(東高師)
- (2) 印度の住民の分布・種族・宗教・特性について述べよ。(水高)

印度の都邑圖

(1) 先づ半島の海岸に斷片的の小地域があつて、フランス或はポルトガル領になつてゐることを見る。これは曾て印度に於て活躍したそれ等





の國の根據地が残つてゐるものである。

(2) 主な都邑を拾つて見る。

**カルカッタ** ヒンドスタン平原の門戸で、商工業が盛に行はれる。

**パトナ** 農産物の大集散地。

**ペナレス** 印度教の靈地。

**デリー** 印度帝國の首府で、舊デリーの南に新市街ニユーデリーを建設し、こゝに印度政廳が設けられてゐる。

**ラホール** パンジャブ地方の中心地で、小麦の集散が多い。

**カラチ** インダス河口の港で、小麦の輸出が盛である。

**ボンベイ** 棉花の大産地を背後に控へて、その輸出が多く又紡績工業が盛に行はれる。

**マドラス** 半島東岸の貿易港で、皮革を積出す。

**コロンボ** セイロン島の首都で、印度洋航路の要點に當る。

### 西部アジャの地勢鳥瞰圖

(1) 西部アジャはアラビヤ高原・イラン高原・小アジャ半島の地方を含む。この地域の大部分が高原性の土地で、中にチグリス・ユーフラテス川流域のメソポタミヤ(イラク)平野や死海を含む低地が存在する。

(2) イラン高原の南縁にはイラン山脈、北邊カスピ海の岸に近くエルブールス山脈が走り、高原上には平行する幾多の山脈がある。高原の上には、沙漠や草地が廣く横たはる。エルブールス山脈の中にはダマヴェント火山が聳え、標高 5600 米を示す。

(3) アラビヤ半島も高原性で、土地は西から東に向つて漸次低下して、ペルシャ灣岸の低地に終つてゐる。半島の東南と西南の隅には 3000 米に達する山地がある。高原の大部分は乾燥せる沙漠や草地である。アラビヤ半島とアフリカとの間の細長い紅海は斷層によつて陥没した地溝であり、この地溝の北は半島の北部に入り込んで、死海とヨルダン川を含



む地溝となつてゐる。死海近傍の地勢は別圖で見て貰ふことにする。死海の湖面は海面下 394 米で、多量の鹽分 (25%, 海水の 7 倍に當る) を含み、魚は棲息しない。

(4) 小アジャ半島も亦高臺性の地域で、南にはタウルス山脈が走る。この地方はアナトリア高原と呼ばれる。小アジャからイラン・印度方面にかけても火山や地震がある。







〔アフガニスタン〕 山勝ちの地域で、獨立の王國ではあるが、英・蘇間の緩衝地帯をなしてゐることに注意せよ。見るべき産業も起つてゐないやうである。近時道路や鐵道の建設に當り、我が國に技術上の援助を求めてゐる。首府をカブールといふ。

〔ベルチスタン〕 國の東北部は印度帝國の直轄州でケツタが中心都邑である。他の大部分はケラツトの酋長が統治する、英國の保護地である。

〔イラン〕 もとペルシヤと呼ばれた王國で、獨裁王リザ・カン・パーラヴィの治世になつてから諸般の進歩を見てゐる。リザ・カンは一兵士から身を起して陸軍大臣となり遂に王位を獲ち得た人物である。しかし古くから侵潤してゐる英・蘇の勢力は抜き難く、依然として緩衝國の域を脱し得ず、最近英蘇兩軍が侵入してゐる。國民の大部分は農牧に従事し又絹織物や高價なカーベットの製造を業とする。國の西部には豊富な油田があつて注目を惹き、その採掘は英國(アングロイラン石油會社設立)が殆んど獨占する所である。油田から送油管でアバダン島の大製油所に供給してゐる。久しく交通不便であつたこの國も、近年テヘランを通つてカスピ海岸とペルシヤ灣岸とを結ぶ縦貫鐵道が開通し、また各地に自動車交通が開けた。首府テヘランはダマヴェントの高峯を近く望み、隊商貿易の中心となつてゐる。

〔イラク〕 もと英國の委任統治地であつたが、後獨立國となつたものである。しかし事實上英國の植民地と大差がない。寡雨・酷熱で、沙漠が多いが、近時灌漑の發達と共に農産を増加した。棗椰子<sup>ナツメ</sup>の産が甚だ多い。更にこの國にとつて重要な點は、大油田が存在することである。この石油事業には英・米・蘭・佛諸國が投資してゐるが、英國が最も優勢である。モスル・キルクーク附近が主産地で、キルクークから長い送油管が沙漠の間を走つて一本はシリヤのトリポリへ、他の一本はパレスチナのハイファに達し、兩港からヨーロッパへ輸送される。最近の統計に據ると、イランは世界第四、イラクは第九位の石油産出地となつてゐる。

る。イラクの首府バグダードはチグリス川の中流に臨み、バグダード鐵道に沿ひ、交通・商業の要地で、昔時サラセン帝國の首府であつた所である。なほバグダードは歐亞連絡の定期航空路の要衝に當ることにも注意する。

【註】 圖について、バグダード鐵道を觀察せよ。この鐵道は近年全部竣工した。なほヘヂヤス鐵道も共に注意して見ておくこと。

#### 〔パレスチナとトランスヨルダニヤ〕(英委)

パレスチナは第一次世界大戰中英國遠征軍によつて占領され、1920年英國の委任統治地となつた。英國は1918年のバルフォア宣言の趣旨により、ユダヤ人に對し、彼等の古い郷土であるパレスチナの地にユダヤの民族的郷土を建設することを許した。かくて二千年來放浪の旅を續けたユダヤ人は各地から入り込み、近年ではその數40萬に達してゐる。經濟的に優位を占めてゐるユダヤ人とパレスチナ土着の生活程度の低い無智なアラビヤ人との抗争は1921年以來續き、屢々流血の慘を見てゐる。首府はイエルサレムで、キリストの墳墓の地である。

トランスヨルダニヤ(ケラク)はパレスチナ東方の地で、住民の大部分はアラビヤ人である。

〔シリヤ〕 フランスの委任統治地であるが、現時英軍の占領する所となつてゐる。ダマスクスはシリヤの中心都市、ベイルートは地中海の良港市、アレツボはバグダード鐵道とヘヂヤス鐵道の分岐點であり、トリポリはイラクから來る石油輸送管の一端に當る港市である。

〔サウジアラビヤ〕 アラビヤ半島の大部分を占める王國である。無人の地域が多いから、國境は明瞭でない。國王は有名なイブン・サウドで英國の勢力に反抗してゐる。住民は遊牧の民で、草原にはアラビヤ馬を産する。

リヤドは半島の略々中央にあつて、首府で王城がある。メツカはマホメットの生れた處、メヂナはその歿した處で、共に回教徒の巡禮者が雲集



する。

〔其の他〕 紅海の口に近いアデンは英國に屬し、港市アデンは水に乏しい荒寥たる市街である。オーマンは英國の保護地であり、ペルシヤ灣のパーレイン諸島は英領で、石油の産地として注目され、他に眞珠の産もある。

〔トルコ〕 トルコ共和國は、前大統領ケマル・アタチュルク（ケマルパシヤ）の努力によつて舊態を脱して近代的國家に變つて來た。住民は牧羊を主業とし、羊毛・山羊皮の産が多く、又煙草・果實等を産し養蠶も行はれる。

アンゴラ（アンカラ）はその首府で、スミルナ（イズミル）は主要な商港である。

#### 【練習問題】

- (1) 西アジャに於ける油田について見よ。その原油は如何なる方法によつて搬出されるか。
- (2) 西アジャに於ける重要な鐵道をあげよ。
- (3) 本地方に於て地溝帯の位置を考察せよ。また地溝帯とは如何なる成因によるものか。
- (4) 本地方の沙漠地域に於ては、如何なる交通機關が発達してゐるか。
- (5) イラン・アフガニスタン兩國の國情の似てゐる點は何か。

#### 專檢の問題

專檢の問題は文部省が選定し、現行の高等學校入試問題の選定法と類似した點がある。従つて專檢受験者のみならず一般の人々にも参考にならうと考へる。よつて最近十個年間の問題の内からアジャに關するものを拾つて見る。

- (1) 滿洲國の氣候と農牧業との關係を述べよ。
- (2) マレー半島について記せ。

- (3) 佛領印度支那について記せ。
- (4) アジャに於ける民族分布を説明せよ。
- (5) 中華民國の主要鐵道を圖示し、且之を説明せよ。
- (6) 日本・滿洲・支那の三國が産業上提携すべき地理的理由を説明せよ。
- (7) 北・中・南支那の氣候及び農産を比較せよ。
- (8) 南支那の主な港市を擧げて説明せよ。
- (9) 北支那に於ける礦物資源に就きて述べよ。
- (10) 我が國の北洋漁業に就きて述べよ。
- (11) 揚子江が支那の文化に及ぼす影響を述べよ。
- (12) 中部支那に於ける産業及び交通を説明せよ。
- (13) 揚子江流域にある主な盆地・平野を擧げ、各々の中心都會に就きて記せ。
- (14) シヤム（タイ）の國情に就きて述べよ。
- (15) マレー諸島と我が國との關係の重要性を記せ。
- (16) 滿洲國の開発と我が國の人口問題との關係に就きて記せ。
- (17) 地名に關する問題

京漢鐵道	滿洲里	カイバル越(カイバー峠)		
漢口	天津	厦門	ハノイ	マニラ
サイゴン	チチハル	重慶	津浦鐵道	大冶
ダヴァオ	租界	新南群島	雲南(昆明)	アツサム



## 後 記

(1) 最近の世界情勢の動きは、明日の豫測すらも許されない程である。ヨーロッパ戦局の推移は直にアジアに多大な影響をもたらすのである。

(2) 東亞に於ては、我國と佛印との間に共同防衛の協定が成立して兩者の關係は愈々密接となり、皇軍の南部佛印進駐は平和裡に行はれた。これに對抗して英・米諸國は我が資金を凍結するの手段に出で、蘭印また彼等に追隨するの妄動を敢てした。かくて英領マレー・蘭印・フィリピン等より我が國が求めてゐた物資の購入は社絶の状態に陥つてゐる。また英米がタイ國を種々の方法によつて壓迫してゐる事實は、我が國にとつて深い關心事である。

これより先、シンガポールの英米共同防衛が宣言され、米・英・重慶政權・蘭印間には軍事同盟が結ばれ、所謂 ABCD 線なる對日包圍陣を布くに至つた。この間にあつて我が國は、一億國民堅き團結の下に、「支那事變處理の完遂」と「大東亞共榮圈の確立」なる確固不動の目標に向つて一路邁進してゐる。

(3) 西部アジアに於ては、フランスの治下にあつたシリヤは目下英軍の侵略する所となり、英蘇兩軍は突如イランに侵入し、イラン政府はこれに屈服するといふやうな事態を生じてゐる。

## 附 録

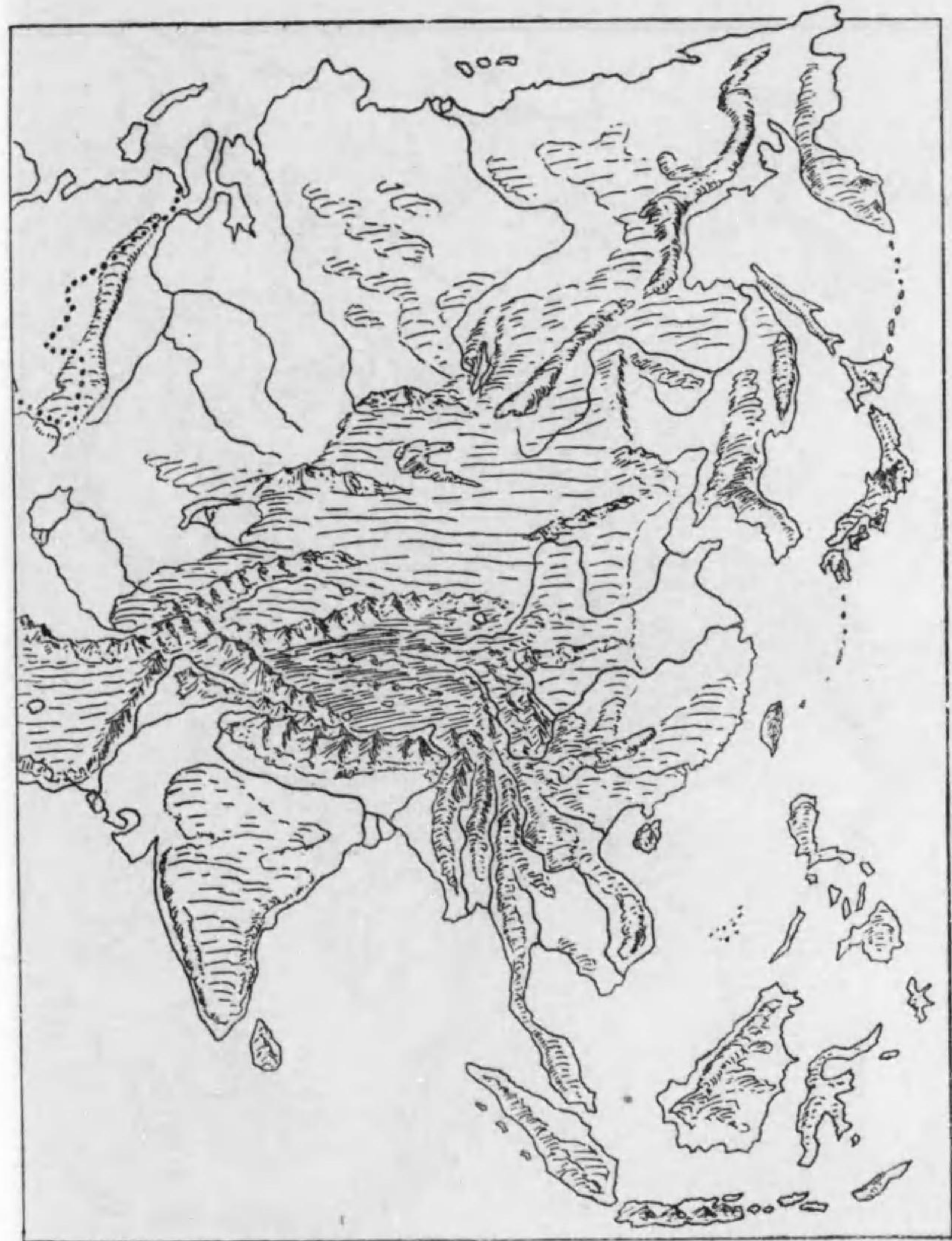
## 白地圖による練習

- (1) 地圖描出練習のため、こゝに數葉のアジヤ全圖と東亞地圖とを添付した。同圖は薄墨色にて概略の地勢を鳥瞰式に描き出した、特殊な白地圖である。
- (2) 地勢鳥瞰圖は勿論正確なものではないが、地勢を等高線で表はしたものが一目でその地勢を掴むことに困難であるのに反して、鳥瞰圖の方はその點一目瞭然たるものがある。
- (3) 地勢はその地の氣候・産業・交通・人口分布・境界等諸般の事項に多大な關係をもつものである。  
地勢圖を作る場合には、白地圖をそのままインクなり鉛筆なりでなぞつて行き、必要な山脈・河川・平野・海洋等の名稱を記入すればよろしい。もつと簡単な方法は、薄く描き出してある地勢に該當するやうに山脈の位置を太い線にて明示し、その名稱を入れるといふやうなやり方である。なほ鳥瞰圖を適當に黄・茶・緑・青等に彩色して見ることは、地勢を明瞭ならしめる上に効果がある。この場合は巻頭の色刷の地勢鳥瞰圖を参照して欲しい。
- (4) 氣候圖や産業分布圖などは、白地圖の上へそのまま作ればよい。但し色彩は成るべく淡くして地勢を抹消しないやうに注意し、氣候や産業と地勢との關係を觀察し得るやうにする必要がある。
- (5) 國境線を入れて見ると、各國家のもつ地勢が判る譯である。また國境線の性質も明かになる。
- (6) この白地圖を、必要に応じて各種各様に利用されることを希望する。なほ参考のため、次に若干の練習問題を掲げるから、これに基づいて練習されることも甚だ結構である。



## 【練習問題】

- (1) 地勢鳥瞰図を作つて、山脈・山岳・高原・盆地・平野・河川・湖沼・海洋・島嶼等の名称を記入せよ。  
 上圖に於て山脈の走り方について観察せよ。  
 上圖に沙漠を記入し、その位置並に發達の原因について考察せよ。
- (2) アジアの氣候圖を作れ。  
 北極圈・北回歸線・赤道を記入し、氣候觀察上の手掛りとせよ。  
 季節風帶、大陸性氣候の區域、酷暑地帶、酷寒の地域等を圖に記入し、また季節風の方向を記して、アジアの氣候と地勢・風向との關係を見よ。  
 シベリヤが酷寒なのは何故か。また印度の東部に雨が極めて多いのは何に原因するか考察せよ。
- (3) アジアに於ける農業地域・牧畜地帯を記載し、これ等の産業と地勢との關係を見よ。  
 アジアに於ける鐵・石炭・石油の産地を記入せよ。  
 シベリヤの四帶を區劃し、地勢との關係に注意せよ。
- (4) アジアに於ける重要な鐵道を記入せよ。アジアに於て鐵道交通の發達してゐるのは何處か、圖上に示して見よ。  
 本大陸に就て、交通と地勢との關係を觀察せよ。  
 大陸各地に延びる我が航空路を描いて見よ。  
 本大陸の主な河川を青色にて明示し、その價值を吟味せよ。
- (5) 圖にアジア諸國の國境を赤線にて記入し、國境と地勢との關係を考察せよ。  
 アジアには概して山脈・河川等による自然的境界が多いことに注意せよ。  
 各國別に各種の色彩を淡く施して、各國の領域を明示し、且つその下に現はれる地勢によつて各國或は各地域が如何なる地勢をもつてゐるか觀察せよ。
- (6) 主要な都市を記入せよ。







昭和16年12月5日印 刷  
 昭和16年12月10日發 行

圖 解 アジャ地理粹	著作者印	不許複製	發行者印	停
				定價 金1圓也

著 作 者 河 田 四 郎  
 發 行 者 風 間 是 宏  
東京市神田區錦町一丁目三番地  
 印 刷 者 高 橋 郁  
東京市京橋區銀座西二丁目三番地

發 行 所 慶 文 堂 書 店  
東京市神田區錦町一丁目三番地  
 振替東京 28333 番・名古屋 10610 番 電話神田 1470 番

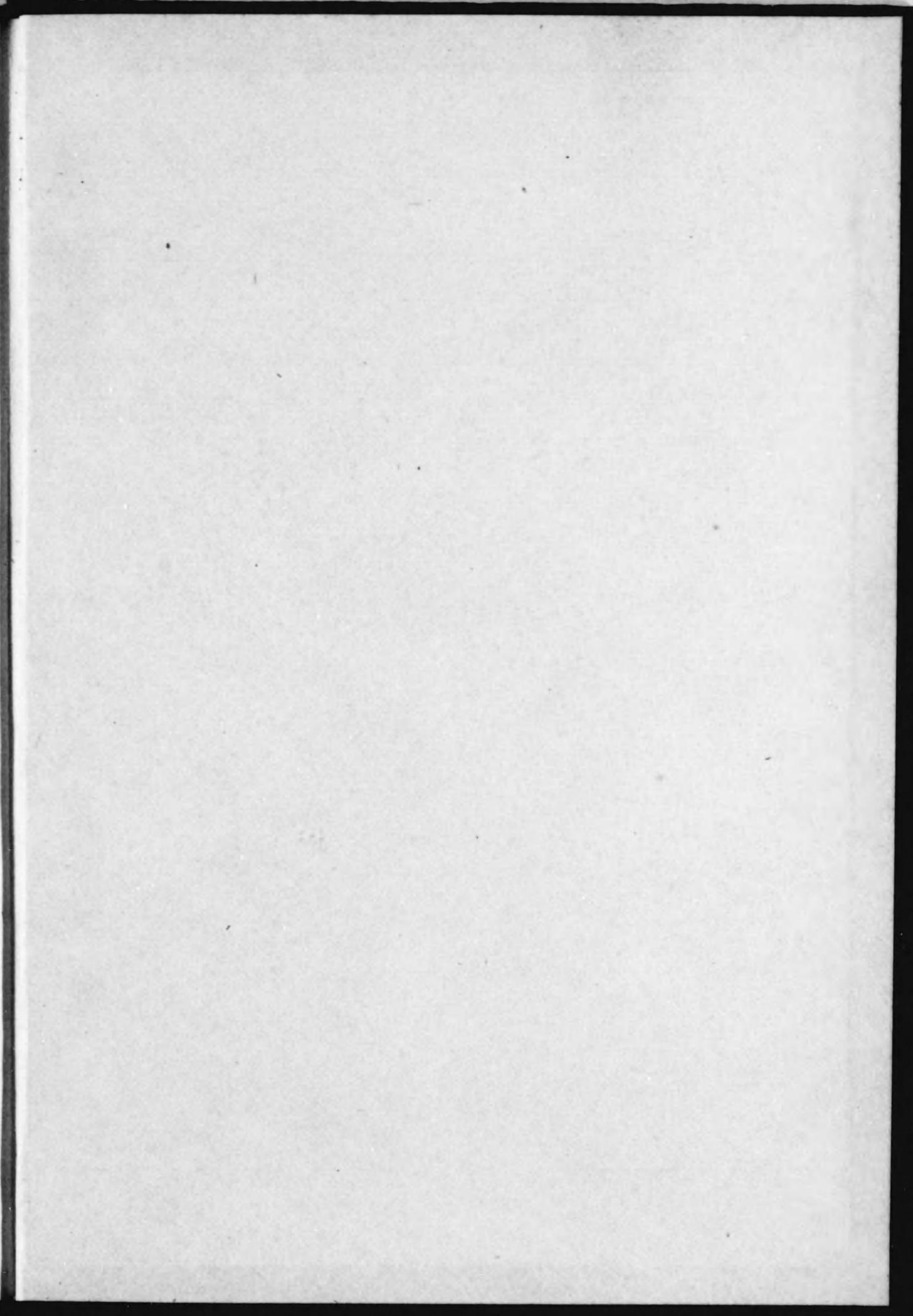
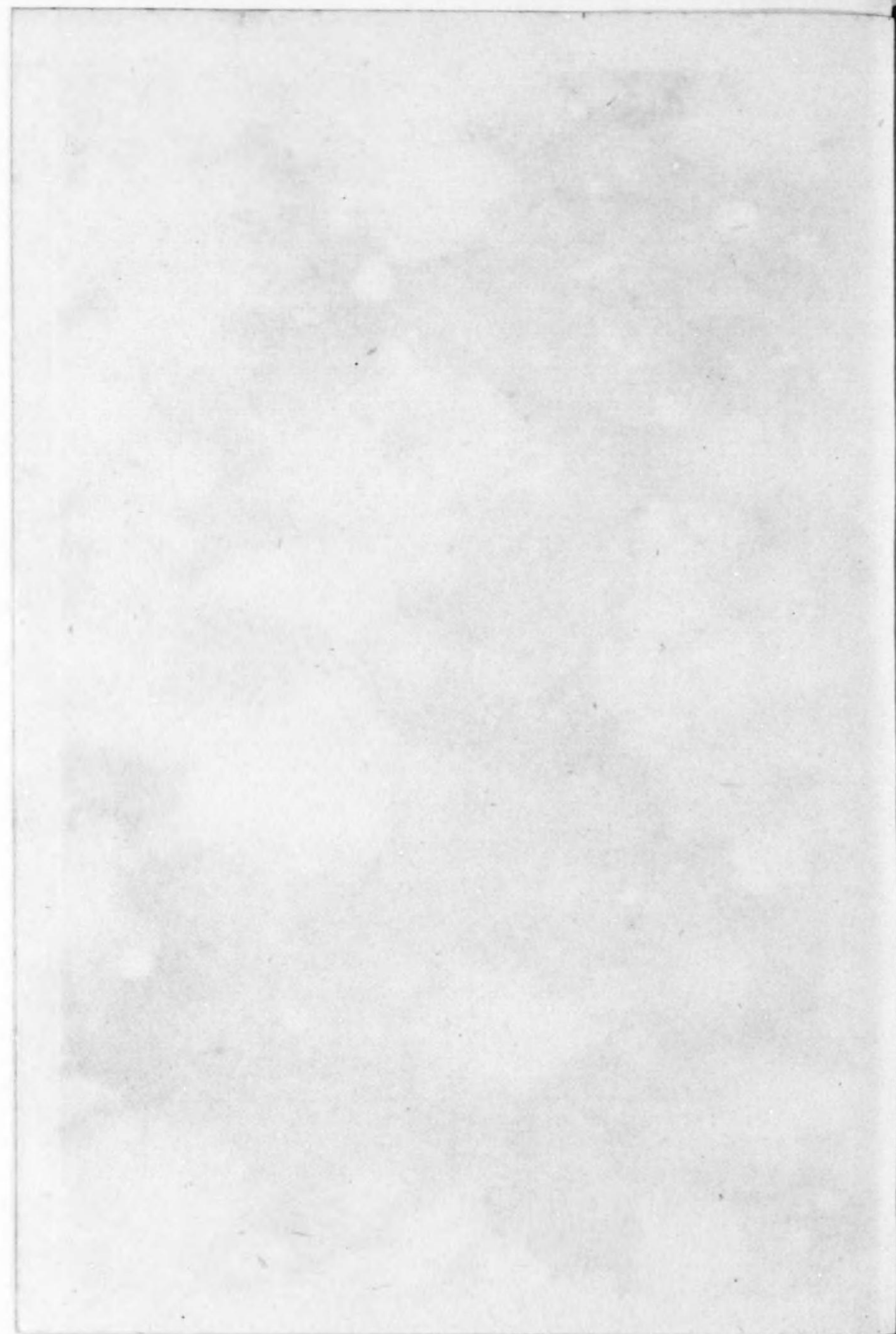
配 給 元 東京市神田區 日本出版配給株式會社  
淡路町二ノ九

(日本出版文化協會會員番號一〇九〇六六番)

(本書寸法國定規格B列六號)

(三協印刷株式會社印刷)









終